

羽幌町都市計画マスタープラン・立地適正化計画

まちづくりアンケート調査報告書

令和 8 年 3 月

羽 幌 町

目次

1. 調査の概要	1
1-1. 目的	1
1-2. 意識調査の概要	1
1-3. 配付・回収の方法	1
1-4. 配付対象者と配付数	2
1-5. 配付・回収のスケジュール	2
1-6. 配付回収結果	2
1-7. 集計結果の概要	3
1-8. 重要度と満足度による分析の説明	5
2. アンケート調査結果	7
2-1. あなたご自身についてお伺いします。	7
2-2. 現在のあなた自身の暮らしについてお伺いします。	12
2-3. 今後のまちづくりについてお伺いします。	19
2-4. 都市計画区域内のまちづくりについてお伺いします。	29
3. アンケート調査結果（自由記述）	66
4. 参考（アンケート調査票）	68

1. 調査の概要

1-1. 目的

本調査は、羽幌町都市計画マスタープラン及び羽幌町立地適正化計画を策定するにあたり、市民の意識調査を実施し、その基礎資料を作成することを目的とします。

1-2. 意識調査の概要

意識調査はアンケート方式により市民にお聞きしました。質問の概要は以下のとおりです、実際の調査票は「4. 参考（アンケート調査票）」に掲載しました。

図表 1-1 アンケートの種類と概要

項目	設問の概要
個人属性	・性別、年齢、家族構成、居住地域、居住年数、職業、羽幌町以外の居住経験、自動車の保有状況
暮らし	・居住継続意向、住み続けたいと思う理由、移り住みたいと思う理由
今後のまちづくり	・羽幌町の将来像、人口減少・少子高齢化への不安内容、住み続けるために必要となる施設の場所、転居する場合の居住地域
都市計画区域内のまちづくり	【土地利用】 ・重要度と満足度、コンパクトなまちづくりの必要性 【道路・交通】 ・重要度と満足度、現在と将来の交通手段別の重要度 【水と緑】【その他の都市施設】 ・重要度と満足度 【都市防災】 ・重要度と満足度、ハザードマップの把握状況、災害危険区域の把握状況、災害への備えの状況
その他、まちづくりについての意見	

1-3. 配付・回収の方法

各アンケート票は、下表の方法で配付・回収を行いました。

図表 1-2 配付・回収の方法

配布・回収	配付・回収の方法
配布	・郵送
回収	・郵送または Web

1-4. 配付対象者と配付数

配付対象者は、15歳以上の全住民から以下の方法により無作為抽出を行いました。
配付数と抽出方法は以下のとおりです。

図表 1-3 配付数と抽出方法

項目	配付数	抽出方法
配布数	2,000 件	【行政区別】 ・町内全域の行政区に対して人口比により配付数を設定 【年齢階層別】 ・設定した配付数に対して、以下の年齢階層ごとに概ね同数となるように年齢別に配付数を計算 ・16～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上 ※計算した配付数が確保されない場合は、他の年齢に振り替えて配付

1-5. 配付・回収のスケジュール

アンケート票の配付・回収のスケジュールは以下のとおりです。

図表 1-4 配付・回収のスケジュール

配付日	回収期日
令和7年7月16日(水)	令和7年7月31日(木)

1-6. 配付回収結果

アンケート調査の配付回収結果は、以下のとおりです。

図表 1-5 配付回収数及び回収率

配付数	回収数(回収率)
2,000 件	郵送 308 件、Web158 件の計 466 件(23.3%)

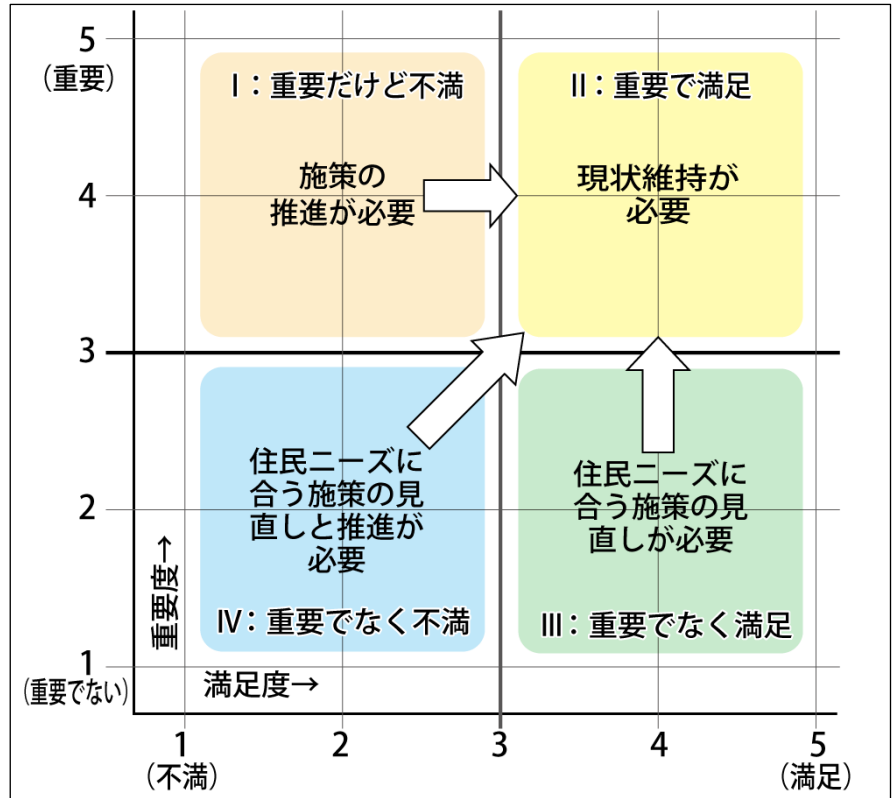
1-7. 集計結果の概要

設問	結果概要
1. 個人属性	
①性別	・「男性」、「女性」とも5割
②年齢	・「70歳以上」と「60歳代」が2割と最も多い
③家族構成	・「配偶者のみ」が最も多い
④居住地域	・「南〇条〇丁目」が2割強と最も多い
⑤居住年数	・「25年以上」が4割と最も多い
⑥職業	・「無職」が3割弱、「公務員・団体職員」が2割強の順で多い
⑦町外の居住	・「町外に住んだことがある」が7割強と最も多い
⑧自動車の有無	・「あり」が9割強で、うち「1台のみ」が4割強とともに最も多い
2. 現在の暮らしについて	
(1)羽幌町に住み続けたいか	・「住み続けたい」が3割、「どちらかといえば住み続けたい」が3割弱の順で多い
(2)住み続けたい理由	・「住み慣れた土地」であることが最も多い
(3)住みたくない理由	・「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」、「日常の買い物が不便」の順で多い
3. 今後のまちづくりについて	
(1)まちの将来像	・「保健・医療・福祉の施設が充実したまち」が最も多い
(2)人口減少で不安なこと	・「医療・福祉サービスを受けづらくなること」が最も多い
(3)住み続けるために必要な施設	必要な施設と施設の位置 <ul style="list-style-type: none"> ・「自宅周辺」に「バス停留所施設」 ・「地域内」に「避難施設」 ・「町内の中心部」に「金融施設」 ・「町内」に「福祉施設」、「教育施設」及び「集会施設」など様々な施設
(4)仮に移り住む場所	・「行政施設・医療・福祉施設等の利便性が良いエリア」が最も多い
4. 都市計画区域内のまちづくりについて	
(1)土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・「商店街や街なかの魅力向上」は、全年齢階層、全居住地域において「特に施策の推進が必要なもの」となっている ・「街なかに点在する空き地の活用」は、60歳以上で「特に施策の推進が必要なもの」となっている
(2)コンパクトなまちづくりについて	・「公共施設の維持管理の合理化や集約・統合」が最も多い
(3)道路・交通	・「公共交通機関」と「バリアフリー化」は、概ね全年齢階層、全居住地域において「特に施策の推進が必要なもの」となっている

設問	結果概要
(4)現在・将来の移動手段の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・「自家用車」は現在・将来とも重要度が高い ・「公共交通機関」は将来の重要度が高い
(5)水と緑	<ul style="list-style-type: none"> ・「公園・緑地の整備、美しい街並み景観の形成」は、概ね全年齢階層、全居住地域において「特に施策の推進が必要なもの」となっている ・「羽幌公園やひばり公園等の公園・緑地の整備」は、40～59歳、概ね用途地域内において「特に施策の推進が必要なもの」となっている
(6)その他都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ・「公営住宅、公共施設等の建替え・適正な配置」は、概ね全年齢階層、全居住地域において「特に施策の推進が必要なもの」となっている
(7)都市防災	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが避難できる避難施設の整備」は、概ね全年齢階層、全居住地域において「特に施策の推進が必要なもの」となっている
(8)自宅の災害状況を把握しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・「羽幌町災害ハザードマップを保管しており、想定される災害の状況も把握している」が4割強と最も多い
(9)どの災害危険区域に該当するか	<ul style="list-style-type: none"> ・「危険区域に該当なし」が最も多いほか、災害では「津波災害」、「浸水災害」及び「土砂災害」の順で多い
(10)災害の備え	<ul style="list-style-type: none"> ・「住んでいる場所の危険性を把握している」が最も多い
5. その他のまちづくりについての意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・203件の意見があり、上位10件は以下のとおり 16件：【観光】 道の駅の魅力を向上させるため、温泉を含めた設備等を改善すべき 11件：【まちづくり】 飲食店や町内で買い物ができる店を増やして欲しい 11件：【医療】 医療施設や体制を充実させるべき 9件：【観光】 イベントをもっと増やして欲しい 9件：【経済】 安定して働ける環境を整備すべき 8件：【子育て・教育】 子どもが安全・安心して遊べる場所を整備して欲しい 6件：【行政】 行政施設（役場庁舎、中央公民館等）の建替えを進めるべき 6件：【まちづくり】 町の資源を活用したまちづくりを進めるべき 6件：【まちづくり】 誰もが快適に暮らせる環境を整備すべき 5件：【行政】 人口減少対策を行うべき 	

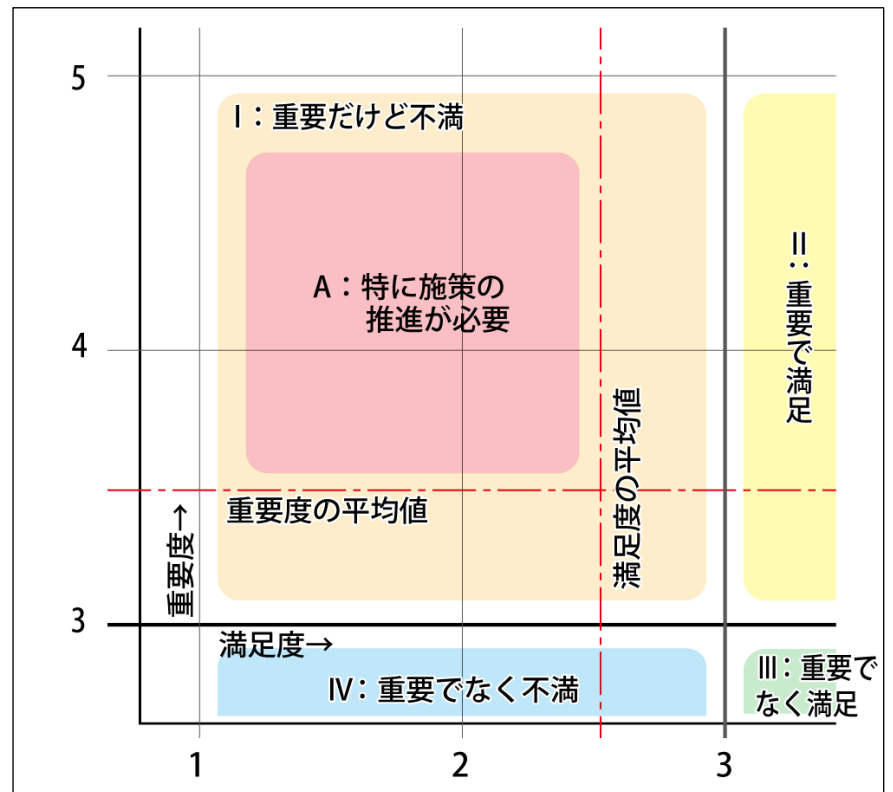
1-8. 重要度と満足度による分析の説明

「4. 都市計画区域内のまちづくりについて」の質問のうち、重要度と満足度の分析にあたっては、右図に示すとおり「施策の推進の必要性」と「施策の見直しの必要性」により評価を行います。



図表 1-6 重要度と満足度の分布図に関する説明図

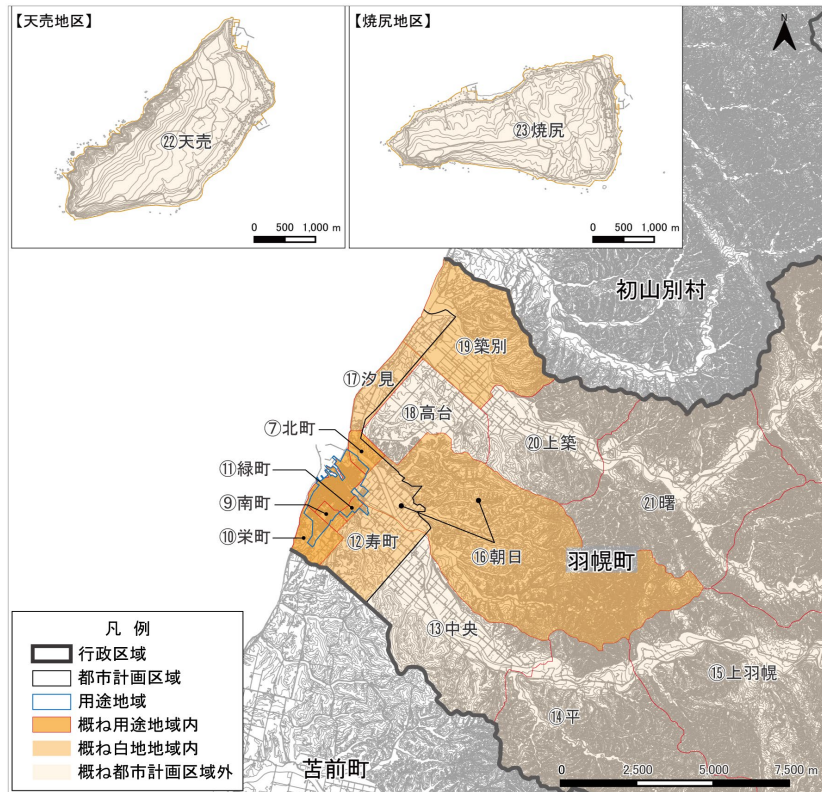
合わせて分野ごとの施策の平均値により「特に施策の推進が必要なもの」を抽出します。



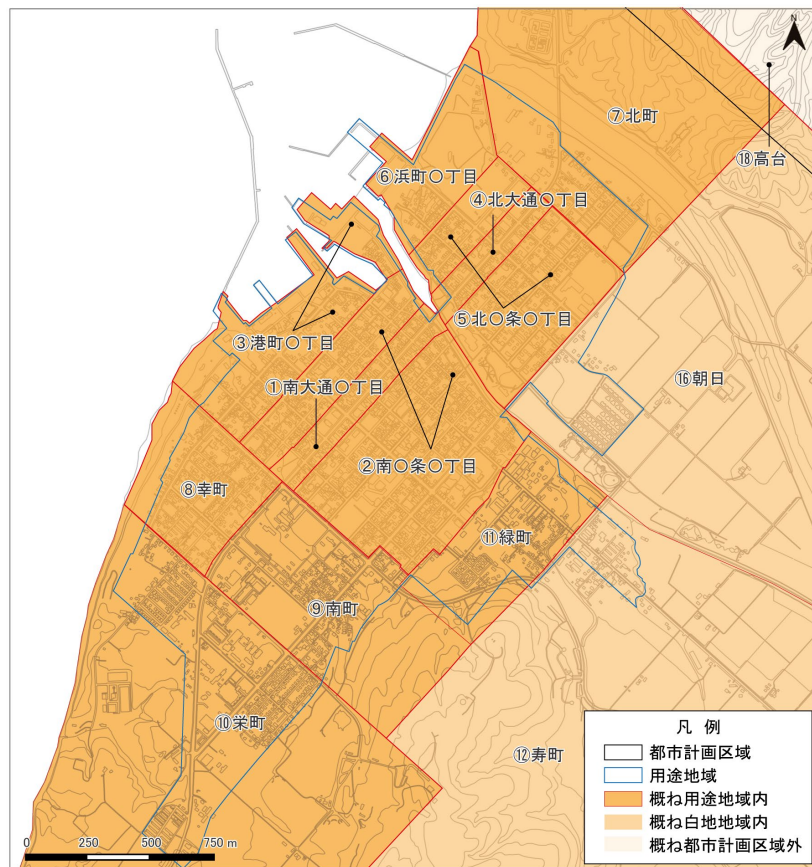
図表 1-7 重要度と満足度の分布図に関する説明図
(I: 重要だけど不満)

【居住地域別】

重要度と満足度での居住地域別の分析は、行政区と用途地域の外郭線及び都市計画区域が一致していないため、右図に示すとおり、行政区別に「概ねの用途地域内」、「概ねの白地地域内」及び「概ねの都市計画区域外」のいずれかを設定して集計を行います。



図表 1-8 居住地域別の説明図（広域）



図表 1-9 居住地域別の説明図（市街地）

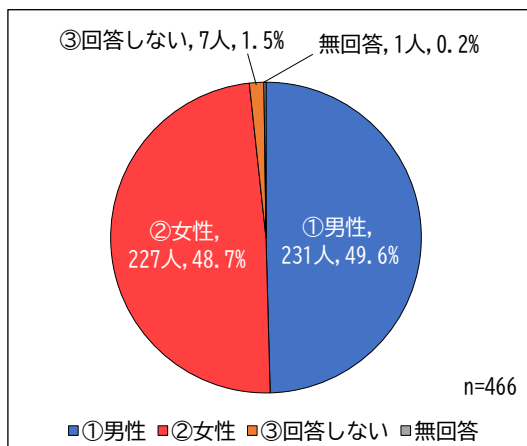
2. アンケート調査結果

2-1. あなたご自身についてお伺いします。

(1)ご自身のことについて該当する事項を選択(問1)

①性別

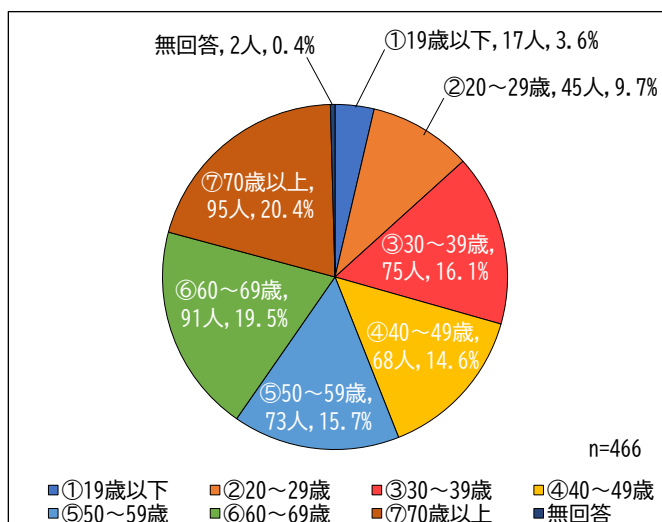
回答者の性別は、「①男性」が49.6%、「②女性」が48.7%で、ほぼ同率となりました。



図表 2-1 性別

②年齢

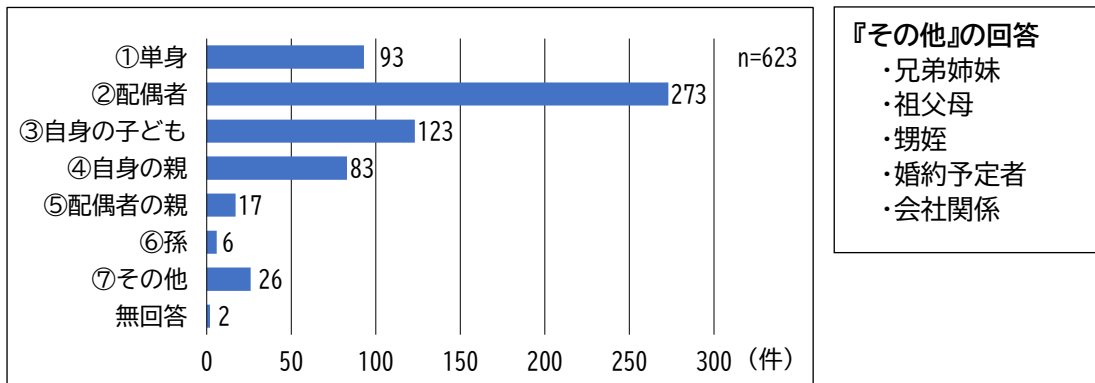
回答者の年齢は、「⑦70歳以上」が20.4%で最も多く、続いて「⑥60歳から69歳」が19.5%、「③30～39歳」が16.1%と、概ね年齢の高い順に回答が多くなりました。



図表 2-2 年齢

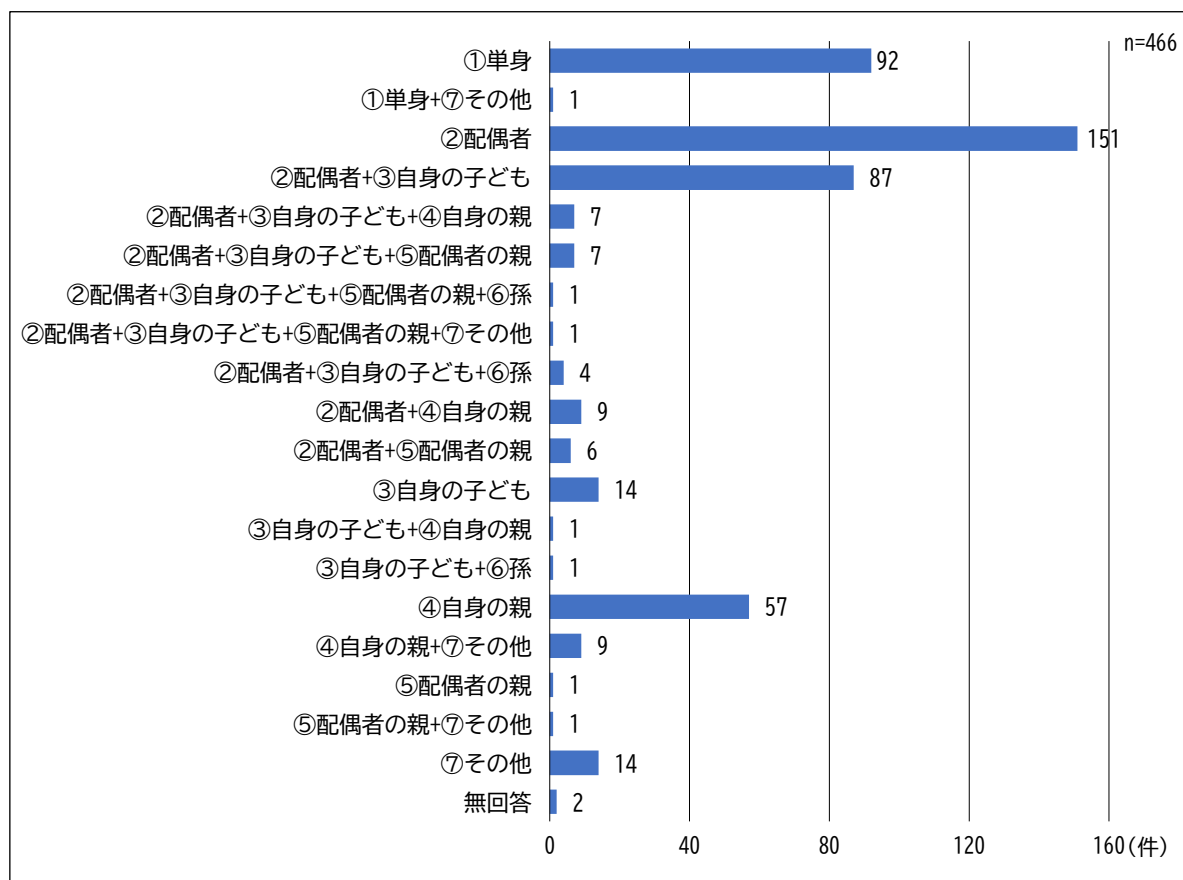
③家族構成

回答者の家族構成は、「②配偶者」が273件で最も多く、続いて「③自身の子ども」が123件、「①単身」が93件となっています。



図表 2-3 家族構成

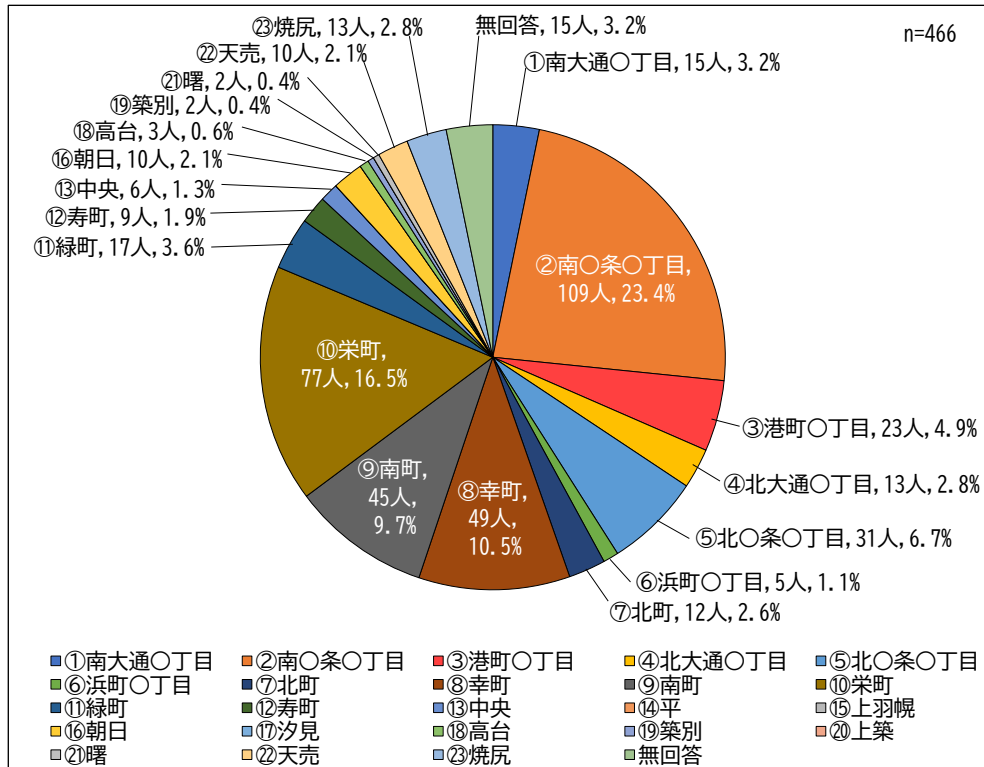
回答の組み合わせを見ると、「②配偶者」が151件で最も多く、続いて「①単身」が92件、「②配偶者+③自身の子ども」が87件となっています。



図表 2-4 家族構成 (個別集計)

④居住地域

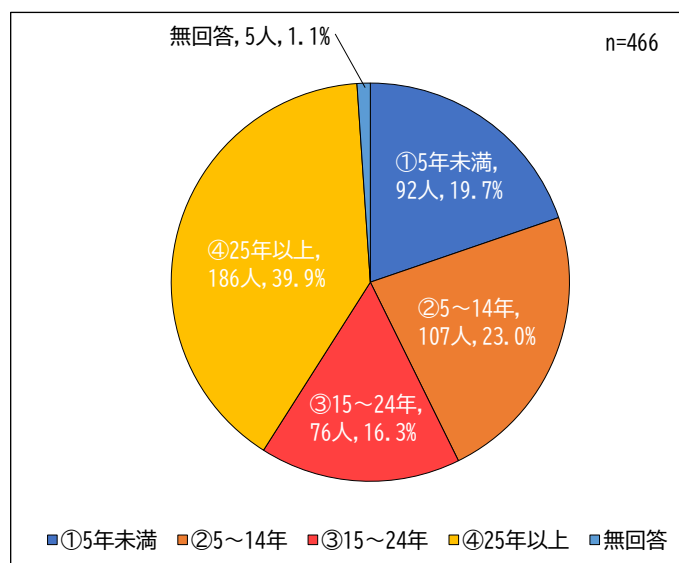
回答者の居住地域は、「②南〇条〇丁目」が23.4%で最も多く、続いて「⑩栄町」が16.5%、「⑧幸町」が10.5%となっています。



図表 2-5 居住地域

⑤居住年数

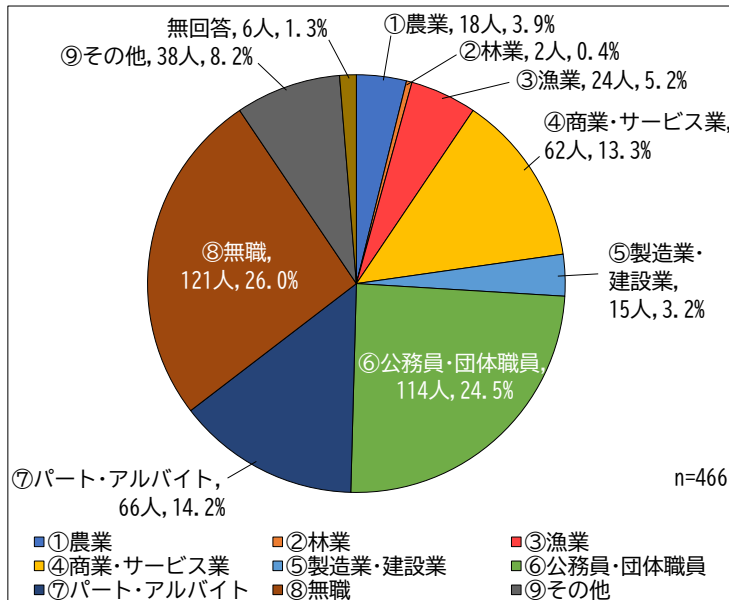
回答者の居住年数は、「④25年以上」が39.9%で最も多く、続いて「②5~14年」が23.0%、「①5年未満」が19.7%、「③15~24年」が16.3%となっています。



図表 2-6 居住年数

⑥職業

回答者の職業は、「⑧無職」が26.0%で最も多く、続いて「⑥公務員・団体職員」が24.5%、「⑦パート・アルバイト」が14.2%となっています。



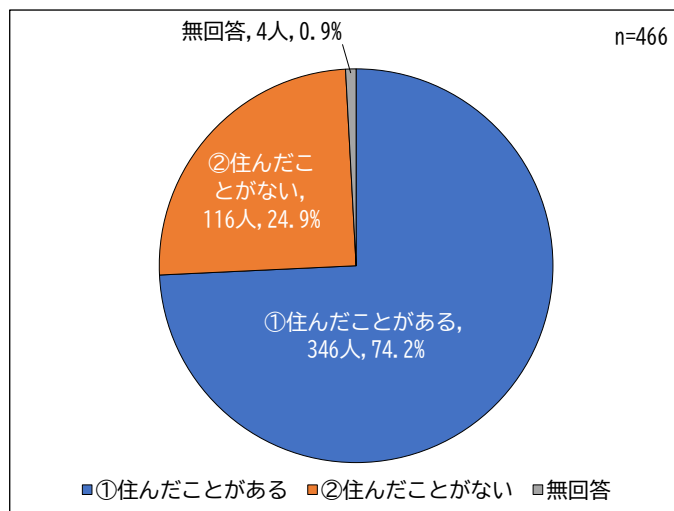
『その他』の回答

- ・運輸業
- ・宗教法人
- ・繁忙期のみ家業の手伝い
- ・医師
- ・学生
- ・施設管理
- ・答えたくない

図表 2-7 職業

⑦羽幌町以外に住んだことがあるか

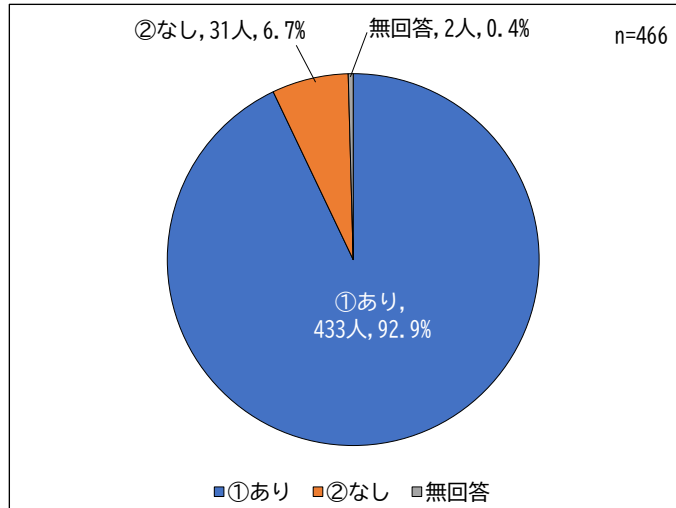
回答者のうち、「①羽幌町以外に住んだことがある」は74.2%で、「②住んだことがない」の24.9%を上回っています。



図表 2-8 町外への居住経験

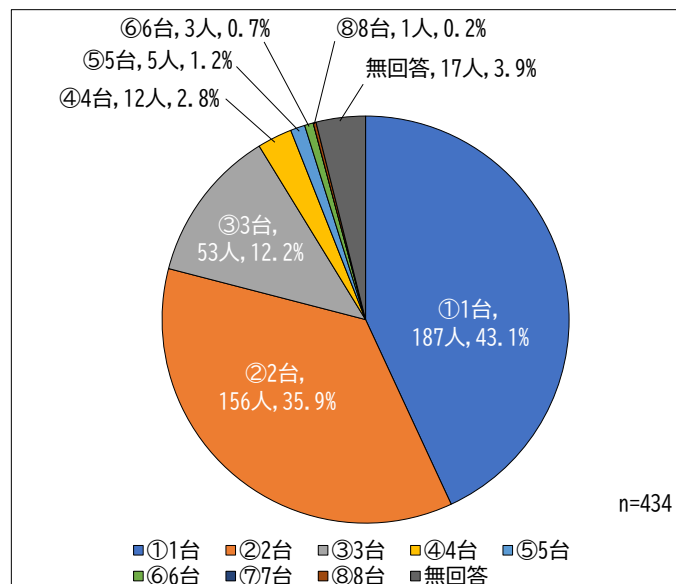
⑧ 自動車の有無

回答者のうち、「①あり（自動車を保有している）」は92.9%で、「②ない」の6.7%を上回っています。



図表 2-9 自動車保有状況

また、自動車の保有台数は「①1台」が43.1%で最も多く、続いて「②2台」が35.9%、「③3台」が12.2%となっています。

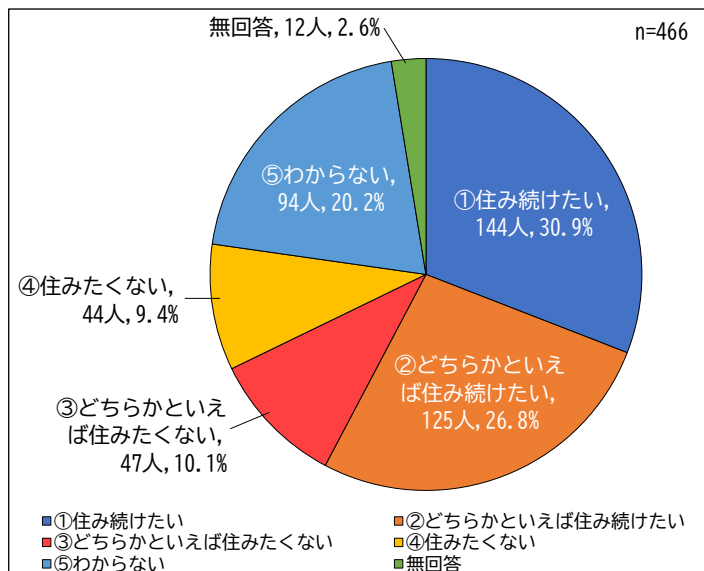


図表 2-10 自動車保有台数

2-2. 現在のあなた自身の暮らしについてお伺いします。

(1) 今後も羽幌町に住み続けたいと思うか、該当する事項を選択(問2)

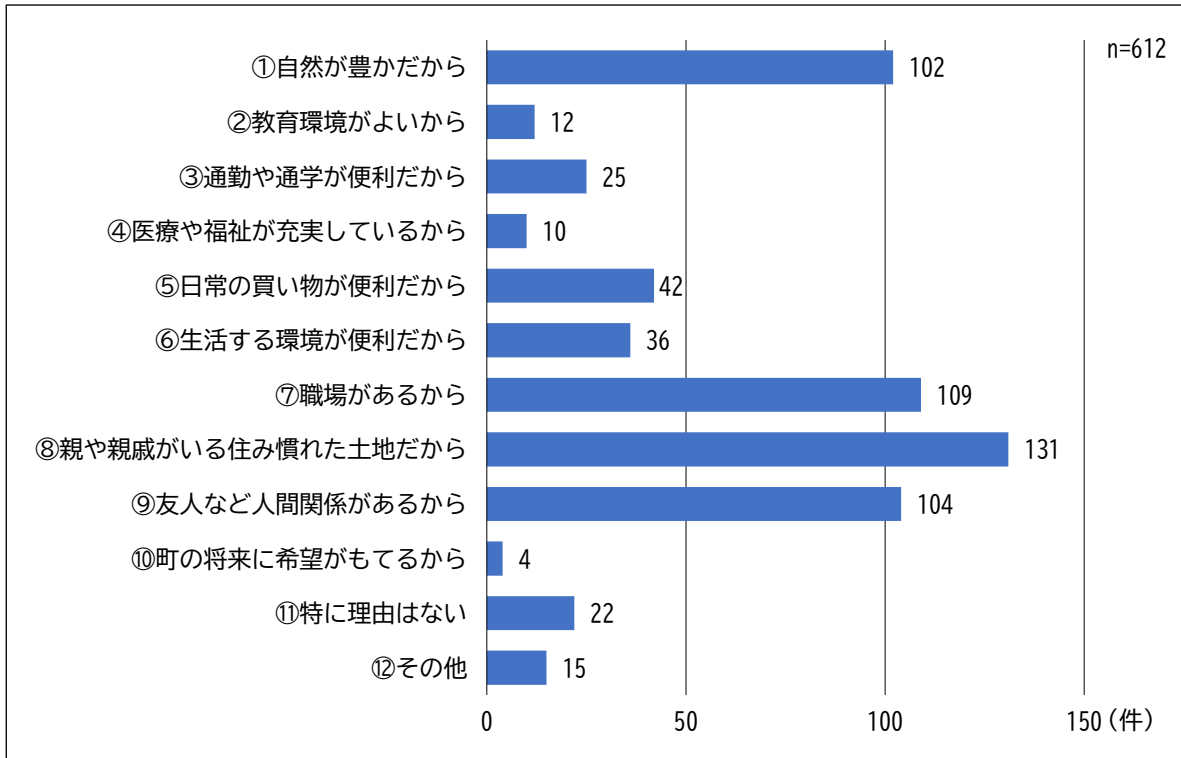
「①住み続けたい」が30.9%で最も多く、続いて「②どちらかといえば住み続けたい」が26.8%、「⑤わからない」が20.2%となっています。



図表 2-1 1 居住継続への意向

(2)問2で「①住み続けたい」「②どちらかといえば住み続けたい」を選択した回答者
住み続けたい理由について、該当する事項を全て選択（問3）

「⑧親や親せきがいる住み慣れた土地だから」が 131 件で最も多く、続いて「⑦職場があるから」が 109 件、「⑨友人など人間関係があるから」が 104 件となっています。



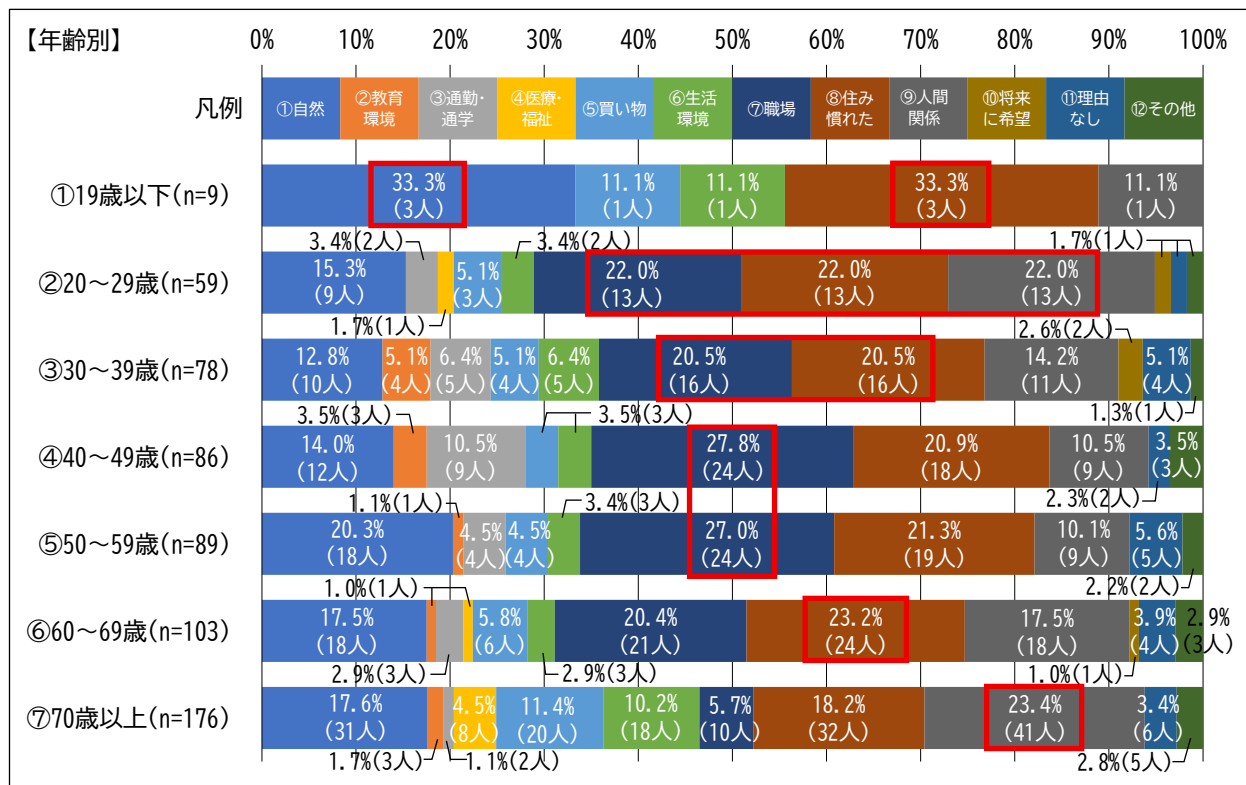
『その他』の回答

- ・家、畑があるから(3 件)
- ・災害が少ないから(2 件)
- ・引越しが大変だから
- ・子どもが近くにいるから
- ・心の底が温められる故郷だから
- ・私には捨てがたいコミュニティがあるから
- ・自分の役割をいかし地域に貢献したいから
- ・持家なのでペット飼いやすい環境だから
- ・美味しい食べ物が沢山あるから

図表 2-12 居住を継続したい理由

【年齢別】

「①住み続けたい」「②どちらかといえば住み続けたい」と回答した人を年齢別に見ると、「③30～39歳」以下と「⑥60～69歳」は「⑧住み慣れた」、「②20～29歳」から「⑤50～59歳」は「⑦職場」、「②20～29歳」と「⑦70歳以上」は「⑨人間関係」、「①19歳以下」は「①自然」の割合が多くなっています。



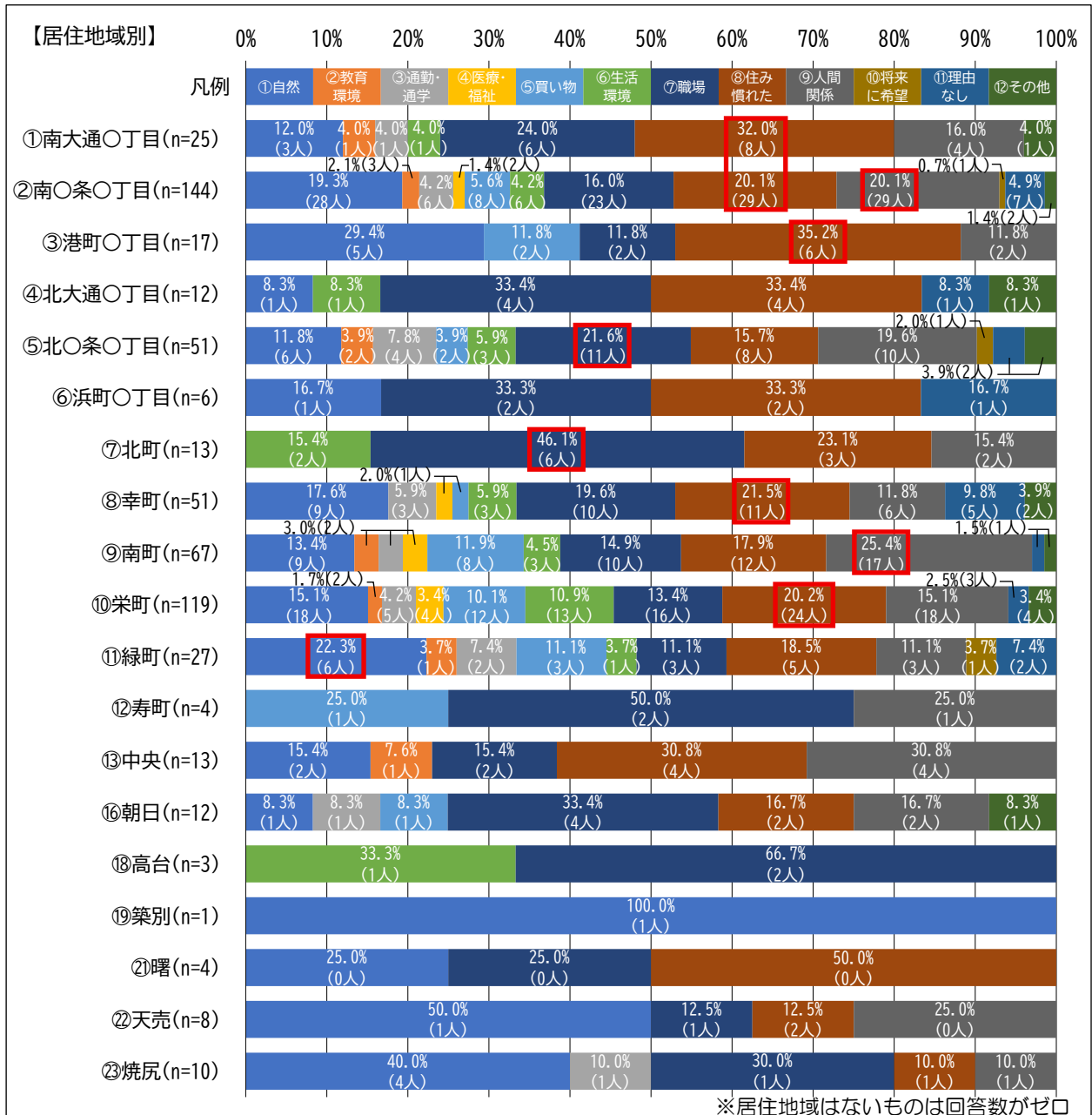
【①～⑫の選択肢の原文】

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

図表 2-13 居住を継続したい理由（年齢別）

【居住地域別】

居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると、「⑧住み慣れた」は「①南大通〇丁目」、「②南〇条〇丁目」、「③港町〇丁目」、「⑧幸町」及び「⑩栄町」、「⑦職場」は「⑤北〇条〇丁目」と「⑦北町」、「⑨人間関係」は「②南〇条〇丁目」と「⑨南町」、「①自然」は「⑪緑町」となっています。



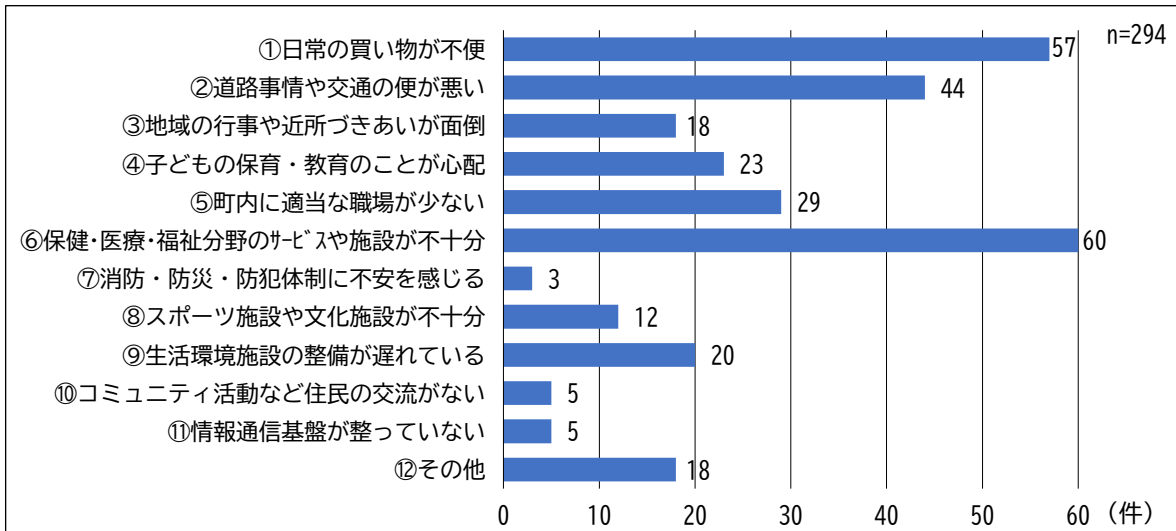
【①～⑫の選択肢の原文】

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

図表 2-14 居住を継続したい理由（居住地域別）

(3)問3で「③どちらかといえば住みたくない」「④住みたくない、他の市町村に移りたい」を選択した回答者 別の場所に移りたい理由について、該当する事項を全て選択（問4）

「⑥保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が60件で最も多く、続いて、「①日常の買物が不便」が57件、「②道路事情や交通の便が悪い」が44件となっています。



『その他』の回答

【商業・観光】

- ・食堂などなく、お客が来ても食べる出前のラーメンすらない
- ・道の駅もなくひどい

【居住】

- ・バス、トイレ(水洗)付の住居(アパート)が無い
- ・家が古い

【行政・まちづくり】

- ・羽幌町に観光や街を発展させようとする意思が見えない
- ・役場が良くない

【医療】

- ・子どもが生まれられないため仕事にならないし医者がこない
- ・普通の病院がない

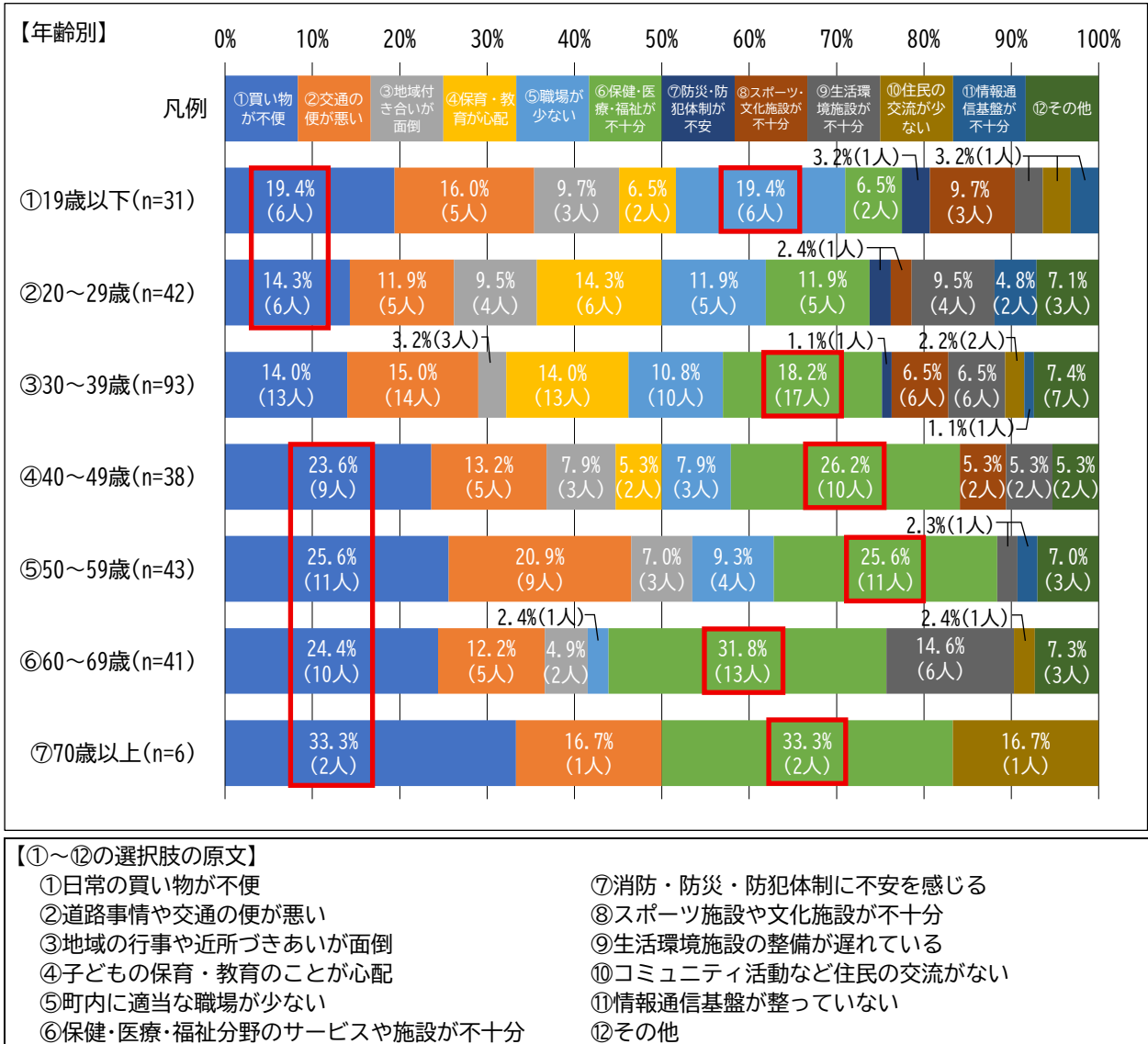
【その他】

- ・雪が多い
- ・町内会長にさせられ、都合も聞かず韓国に行けと言われる
- ・よさこい祭りがなく、明るい話題がないし、いじめが多すぎてボロボロな町で、自殺や離婚が多く、素晴らしい行動や楽しいことがなく、暗い人が多く、病院に産婦人科がなければ未来へ人材育成がなく、若手が少なすぎて高齢者に頼りすぎ、何もなくなげく観光客が多い
- ・クマが出るような町に住みたくない
- ・保育料が高い
- ・単身赴任で住んでいるだけ
- ・経済面

図表 2-15 居住を継続したくない理由

【年齢別】

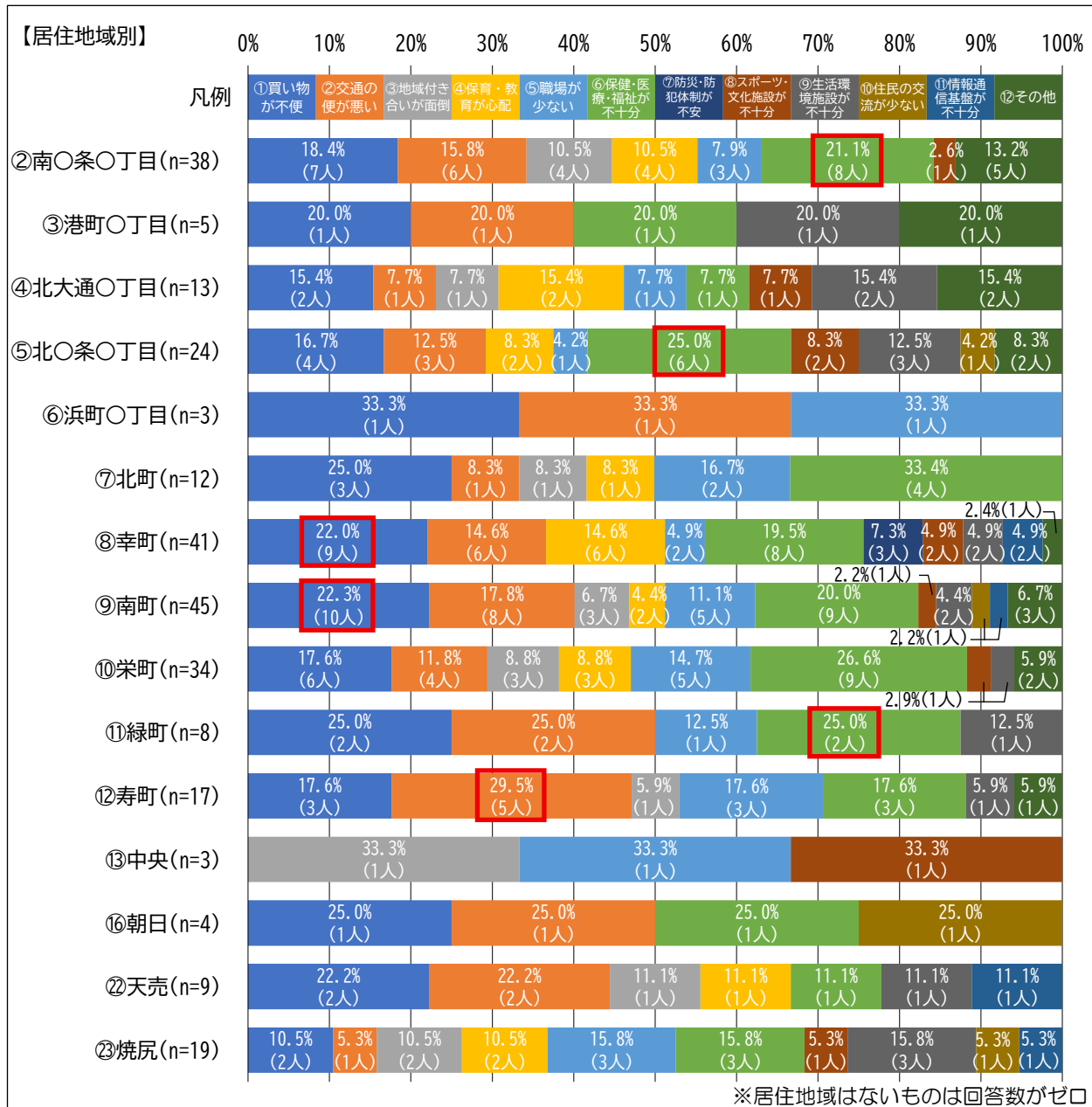
「③どちらかといえば住みたくない」「④住みたくない、他の市町村に移りたい」と回答した人を年齢別に見ると、「④40歳」以上は「①買い物が不便」と「⑥保健・医療・福祉が不十分」が20%を超えているほか、「①19歳以下」は「①買い物が不便」に加え、「⑤職場が少ない」の割合が多くなっています。



図表 2-16 居住を継続したくない理由（年齢別）

【居住地域別】

居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると、「⑥保健・医療・福祉が不十分」は「⑩栄町」、「⑤北〇条〇丁目」及び「②南〇条〇丁目」、「①買い物が不便」は「⑧幸町」と「⑨南町」、「②交通の便が悪い」は「⑫寿町」となっています。



【①～⑫の選択肢の原文】

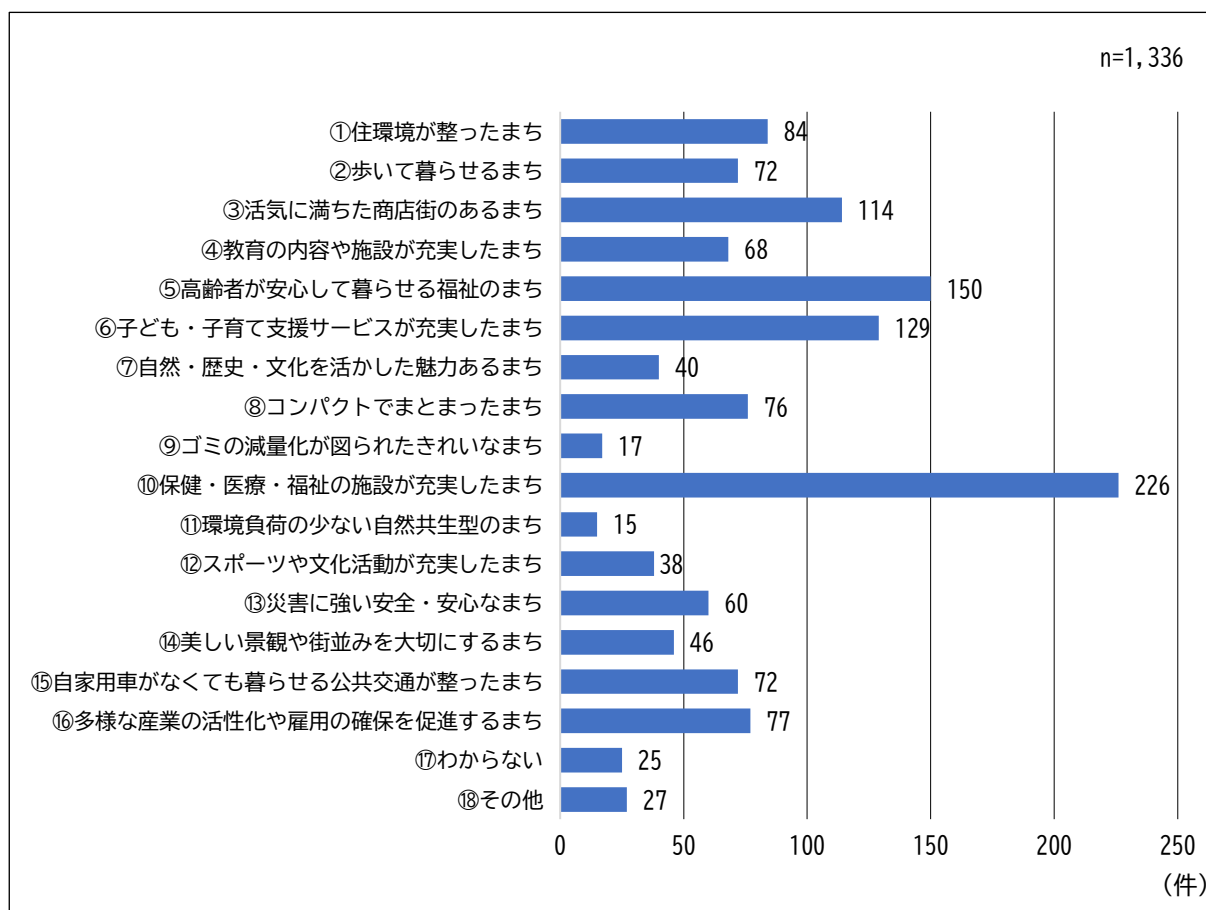
- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ①日常の買い物が不便 | ⑦消防・防災・防犯体制に不安を感じる |
| ②道路事情や交通の便が悪い | ⑧スポーツ施設や文化施設が不十分 |
| ③地域の行事や近所づきあいが面倒 | ⑨生活環境施設の整備が遅れている |
| ④子どもの保育・教育のことが心配 | ⑩コミュニティ活動など住民の交流がない |
| ⑤町内に適当な職場が少ない | ⑪情報通信基盤が整っていない |
| ⑥保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分 | ⑫その他 |

図表 2-17 居住を継続したくない理由（居住地域別）

2-3. 今後のまちづくりについてお伺いします。

(1)羽幌町の将来像について、該当する事項を3つ選択(問5)

「⑩保健・医療・福祉の施設が充実したまち」が226件で最も多く、続いて「⑤高齢者が安心して暮らせる福祉のまち」が150件、「⑥子ども・子育て支援サービスが充実したまち」が129件となっています。



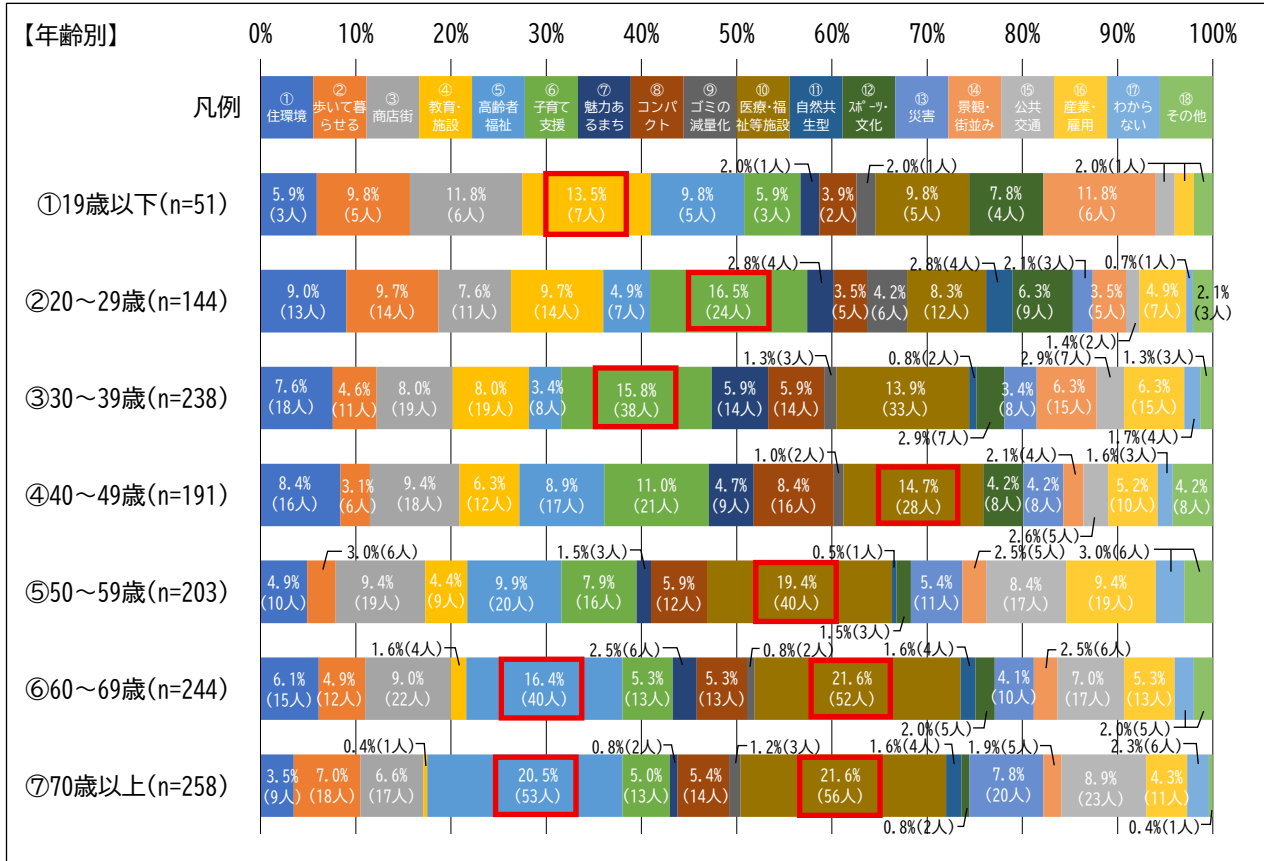
『その他』の回答

- ・公共料金が安いまち
- ・お金を落としてもらえる町、やる気のある町、おもしろい町
- ・たくさんのイベントで盛りあがるまち
- ・食材生産の一翼を担う町
- ・道立病院をもっと活発にしてほしい
- ・効率化のため公共施設は他町と合併し、インターネットを活用した福祉を充実
- ・若者が働ける場と仕事のあるまち
- ・子どもが安心して遊べる場や環境が整ったまち
- ・よさこい祭り
- ・研究や映画や鑑賞や恐竜博物館などのアンモナイト博物館
- ・キャンプ場(はぼろ緑の村で開拓、交流広場で音楽祭、芸術祭、おしばいなど)、山登り、温泉旅館
- ・生活に必要な物が調達できるまち、買い物難民のいないまち
- ・町内イベントの増加
- ・希望を持ちいきいきと暮らせるまち

図表 2-18 羽幌町の将来像

【年齢別】

「⑩医療・福祉等施設」は「④40～49歳」以上、「⑤高齢者福祉」は「⑥60～69歳」以上、「⑥子育て支援」は「②20～29歳」と「③30～39歳」及び「④教育・施設」は「①19歳以下」が多くなっています。



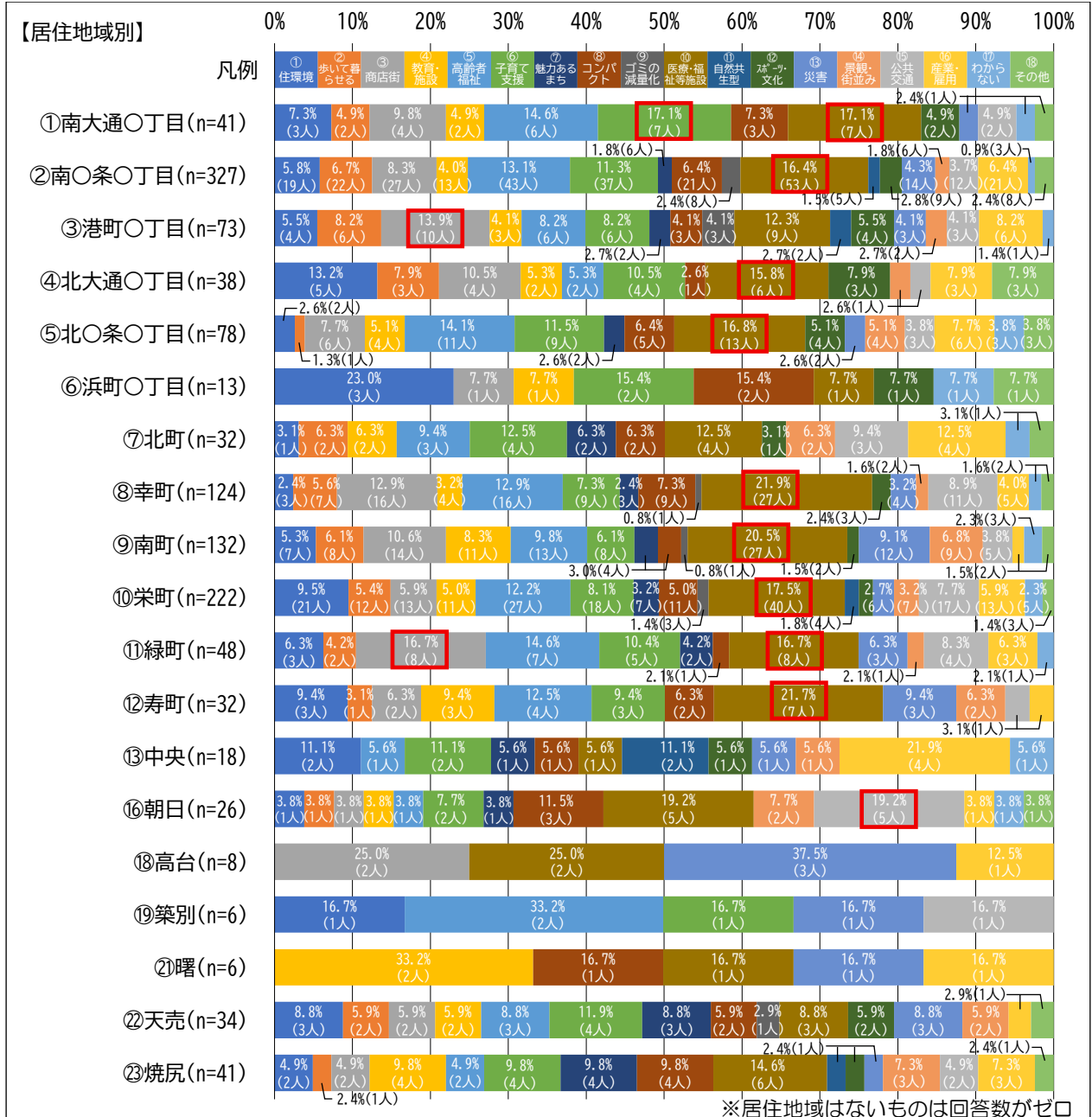
【①～⑱の選択肢の原文】

- ①住環境が整ったまち
- ②歩いて暮らせるまち
- ③活気に満ちた商店街のあるまち
- ④教育の内容や施設が充実したまち
- ⑤高齢者が安心して暮らせる福祉のまち
- ⑥子ども・子育て支援サービスが充実したまち
- ⑦自然・歴史・文化を活かした魅力あるまち
- ⑧コンパクトでまとまったまち
- ⑨ゴミの減量化が図られたきれいなまち
- ⑩保健・医療・福祉の施設が充実したまち
- ⑪環境負荷の少ない自然共生型のまち
- ⑫スポーツや文化活動が充実したまち
- ⑬災害に強い安全・安心なまち
- ⑭美しい景観や街並みを大切にすまち
- ⑮自家用車がなくても暮らせる公共交通が整ったまち
- ⑯多様な産業の活性化や雇用の確保を促進するまち
- ⑰わからない
- ⑱その他

図表 2-19 羽幌町の将来像（年齢別）

【居住地域別】

居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると、「⑩保健・福祉等施設」が「①南大通〇丁目」、「②南〇条〇丁目」、「④北大通〇丁目」と「⑤北〇条〇丁目」及び「⑧幸町」から「⑫寿町」、「③商店街」は「③港町」と「⑪緑町」、「⑥子育て支援」は「①南大通〇丁目」、「⑬公共交通」は「⑬朝日」となっています。



※居住地域はないものは回答数がゼロ

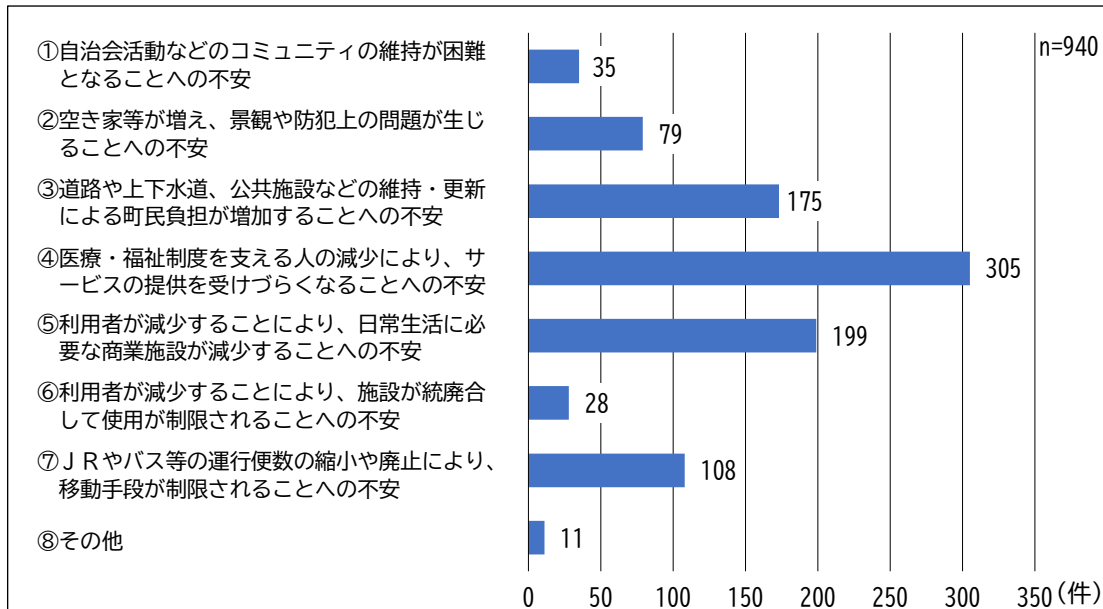
【①～⑱の選択肢の原文】

- ①住環境が整ったまち
- ②歩いて暮らせるまち
- ③活気に満ちた商店街のあるまち
- ④教育の内容や施設が充実したまち
- ⑤高齢者が安心して暮らせる福祉のまち
- ⑥子ども・子育て支援サービスが充実したまち
- ⑦自然・歴史・文化を活かした魅力あるまち
- ⑧コンパクトでまとまったまち
- ⑨ゴミの減量化が図られたきれいなまち
- ⑩保健・医療・福祉の施設が充実したまち
- ⑪環境負荷の少ない自然共生型のまち
- ⑫スポーツや文化活動が充実したまち
- ⑬災害に強い安全・安心なまち
- ⑭美しい景観や街並みを大切にすまち
- ⑮自家用車がなくても暮らせる公共交通が整ったまち
- ⑯多様な産業の活性化や雇用の確保を促進するまち
- ⑰わからない
- ⑱その他

図表 2-20 羽幌町の将来像（居住地域別）

(2)「生活する上で不安と思われる事」について、該当する事項を2つ選択(問6)

「④医療・福祉制度を支える人の減少により、サービスの提供を受けづらくなることへの不安」が305件で最も多く、続いて「⑤利用者が減少することにより、日常生活に必要な商業施設が減少することへの不安」が199件、「③道路や上下水道、公共施設などの維持・更新による町民負担が増加することへの不安」が175件となっています。



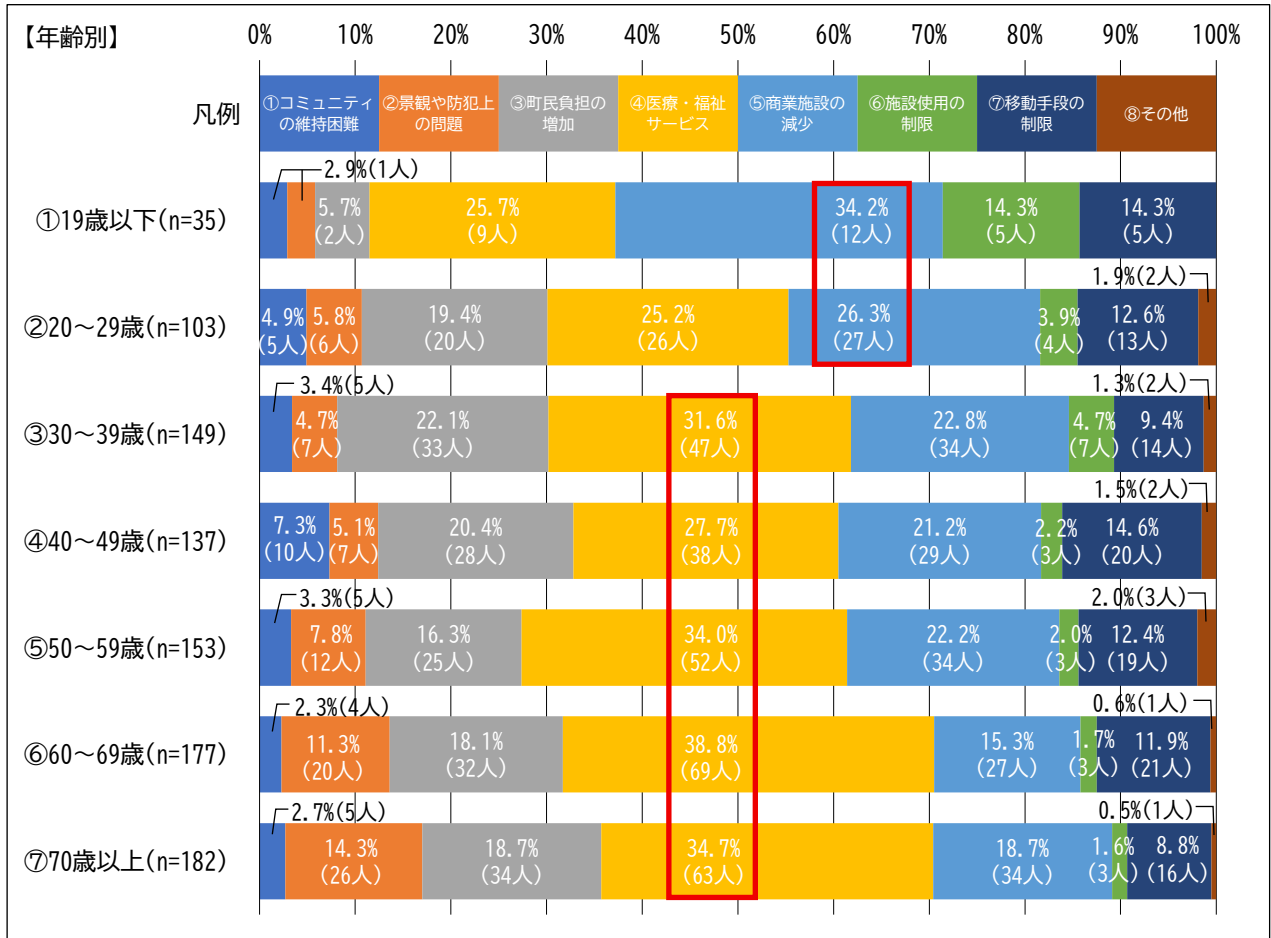
『その他』の回答

- ・いつまで雪かきができるか不安。
- ・道立羽幌病院の活性化。
- ・外資系が好き勝手やりた放題やられることが不安で、特に太陽光パネルや風力など。
- ・すべて不安ばかり。(2件)
- ・人口減少により仕事量(収入)が減ると生活していけない。
- ・いじめが多くやりすぎている。若手育成強化が足りない。暗い人が多く、嫌な思い出ばかりでどんどん出て行く。最高級の体験や思い出がいっぱいあれば羽幌町にもどって来る。感謝いっぱい貢献する恩返しが必要。
- ・外国人が増えているので治安の不安。
- ・新しい人材・若手がいなく、この町で育った子たちが町外に出てしまうことによって一次産業の衰退や新しい技術・考え方が生まれず時代にあった産業が生まれない。

図表 2-2 1 人口減少等に対する不安

【年齢別】

「④医療・福祉サービス」は「③30～39歳」以上、「⑤商業施設の減少」は「②20～29歳」以下が最も多く回答しています。



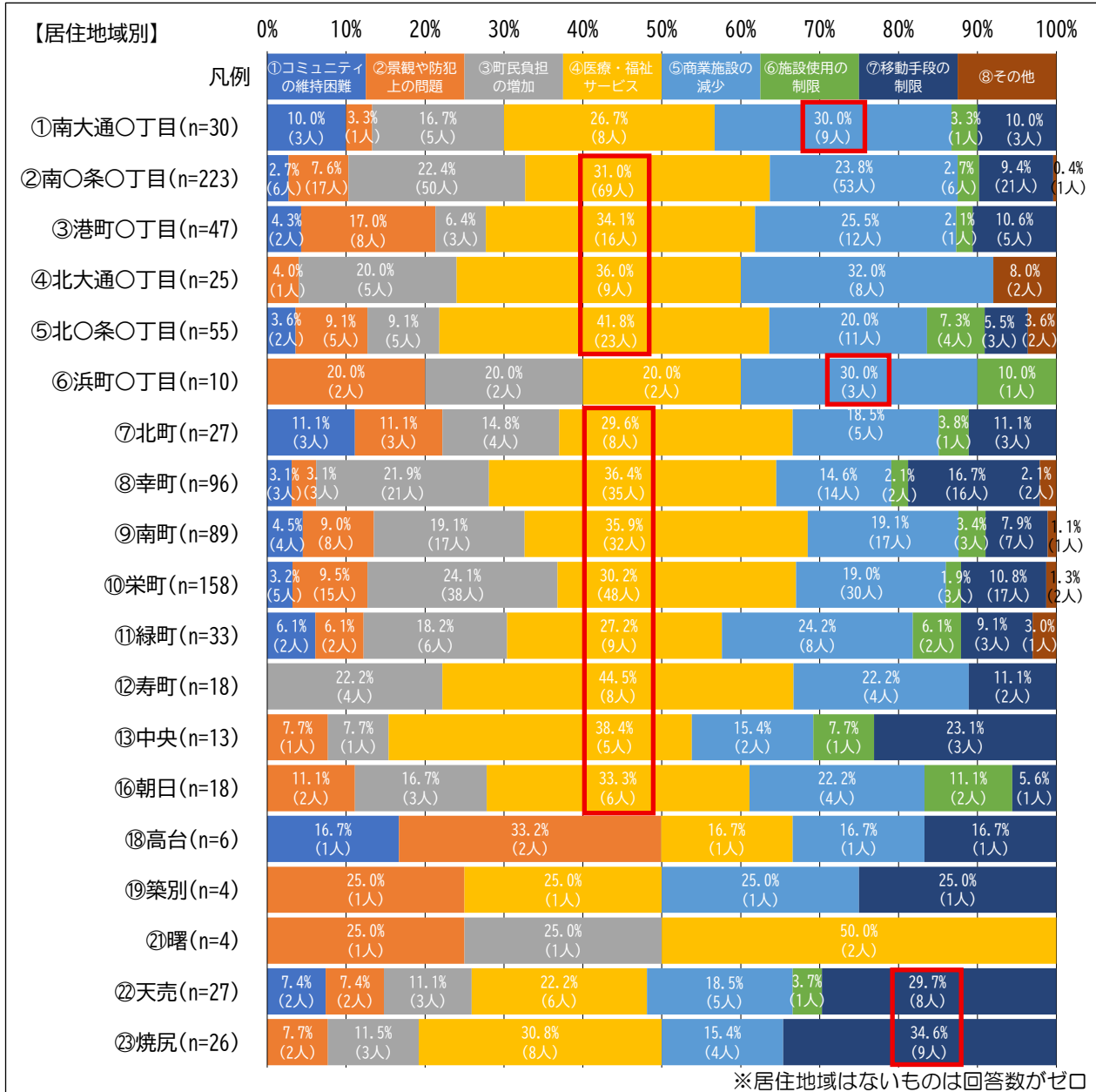
【①～⑧の選択肢の原文】

- ①自治会活動などのコミュニティの維持が困難となることへの不安
- ②空き家等が増え、景観や防犯上の問題が生じることへの不安
- ③道路や上下水道、公共施設などの維持・更新による町民負担が増加することへの不安
- ④医療・福祉制度を支える人の減少により、サービスの提供を受けづらくなることへの不安
- ⑤利用者が減少することにより、日常生活に必要な商業施設が減少することへの不安
- ⑥利用者が減少することにより、施設が統廃合して使用が制限されることへの不安
- ⑦バスやフェリー等の運行便数の縮小や廃止により、移動手段が制限されることへの不安
- ⑧その他

図表 2-22 人口減少等に対する不安（年齢別）

【居住地域別】

居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると、「④医療・福祉サービス」は「②南〇条〇丁目」から「⑤北〇条〇丁目」と「⑦北町」から「⑩朝日」、「⑤商業施設の減少」は「①南大通〇丁目」と「⑥浜町〇丁目」、「⑦移動手段の制限」は「⑫天売」と「⑬焼尻」が最も多くなっています。



【①～⑧の選択肢の原文】

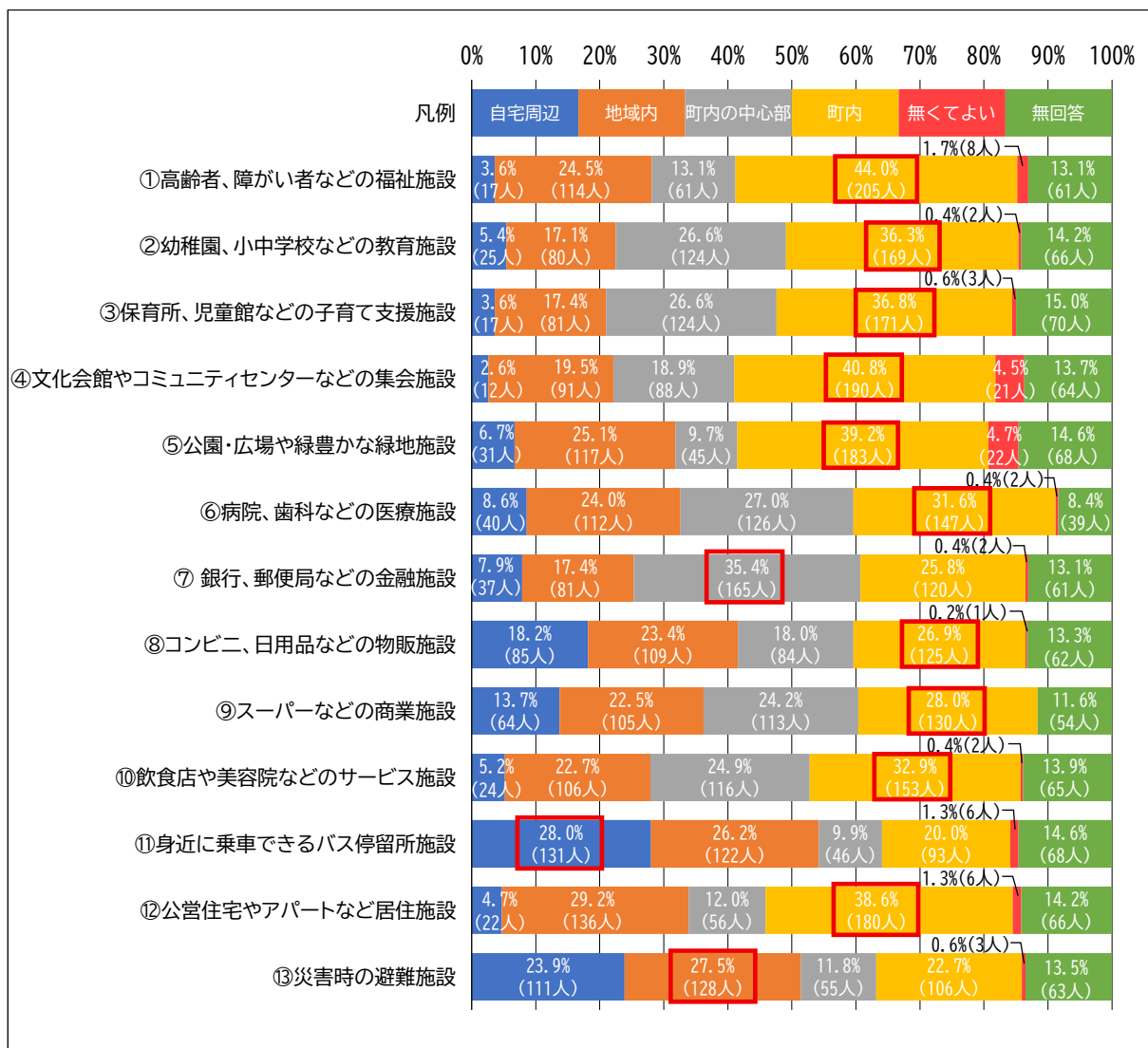
- ①自治会活動などのコミュニティの維持が困難となることへの不安
- ②空き家等が増え、景観や防犯上の問題が生じることへの不安
- ③道路や上下水道、公共施設などの維持・更新による町民負担が増加することへの不安
- ④医療・福祉制度を支える人の減少により、サービスの提供を受けづらくなることへの不安
- ⑤利用者が減少することにより、日常生活に必要な商業施設が減少することへの不安
- ⑥利用者が減少することにより、施設が統廃合して使用が制限されることへの不安
- ⑦バスやフェリー等の運行便数の縮小や廃止により、移動手段が制限されることへの不安
- ⑧その他

図表 2-23 人口減少等に対する不安（居住地域別）

(3)「これからも住み続けるために必要となる施設」について、項目ごとに1つ選択(問7)

必要な施設の位置について、「自宅周辺」は「⑪身近に乗車できるバス停留所施設」、「地域内」は「⑬災害時の避難施設」、「町内の中心部」は「⑦銀行、郵便局などの金融施設」、町内については次の10施設を望む回答が最も多くなっています。

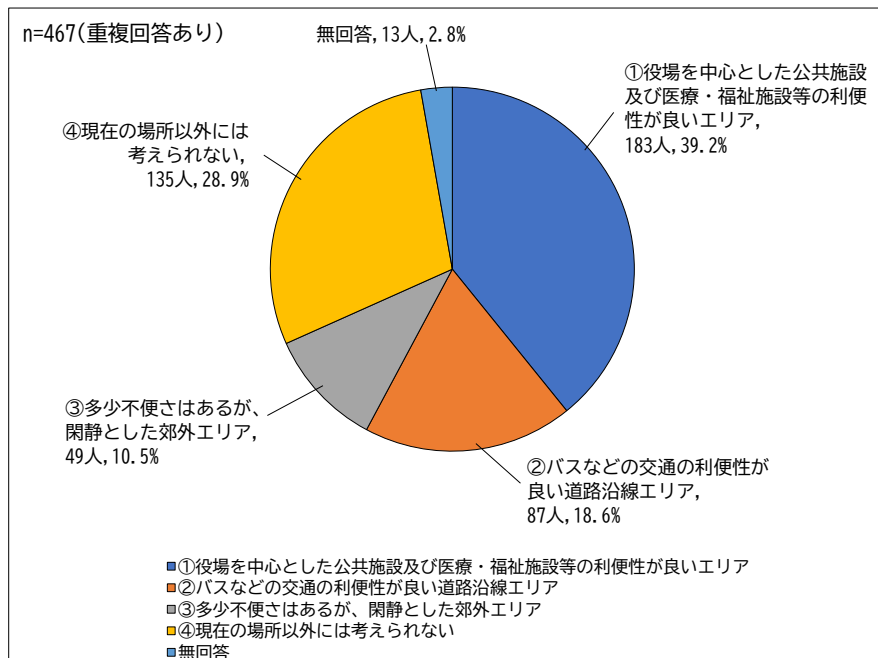
「町内の立地を望む施設」は「①高齢者、障がい者などの福祉施設」、「②幼稚園、小中学校などの教育施設」、「③保育所、児童館などの子育て支援施設」、「④文化会館やコミュニティセンターなどの集会施設」、「⑤公園・広場や緑豊かな緑地施設」、「⑥病院、歯科などの医療施設」、「⑧コンビニ、日用品などの物販施設」、「⑨スーパーなどの商業施設」、「⑩飲食店や美容院などのサービス施設」、「⑫公営住宅やアパートなど居住施設」となっています。



図表 2-24 住み続けるために必要となる施設の場所

(4)仮に町内の別の場所に移り住む場所について(問8)

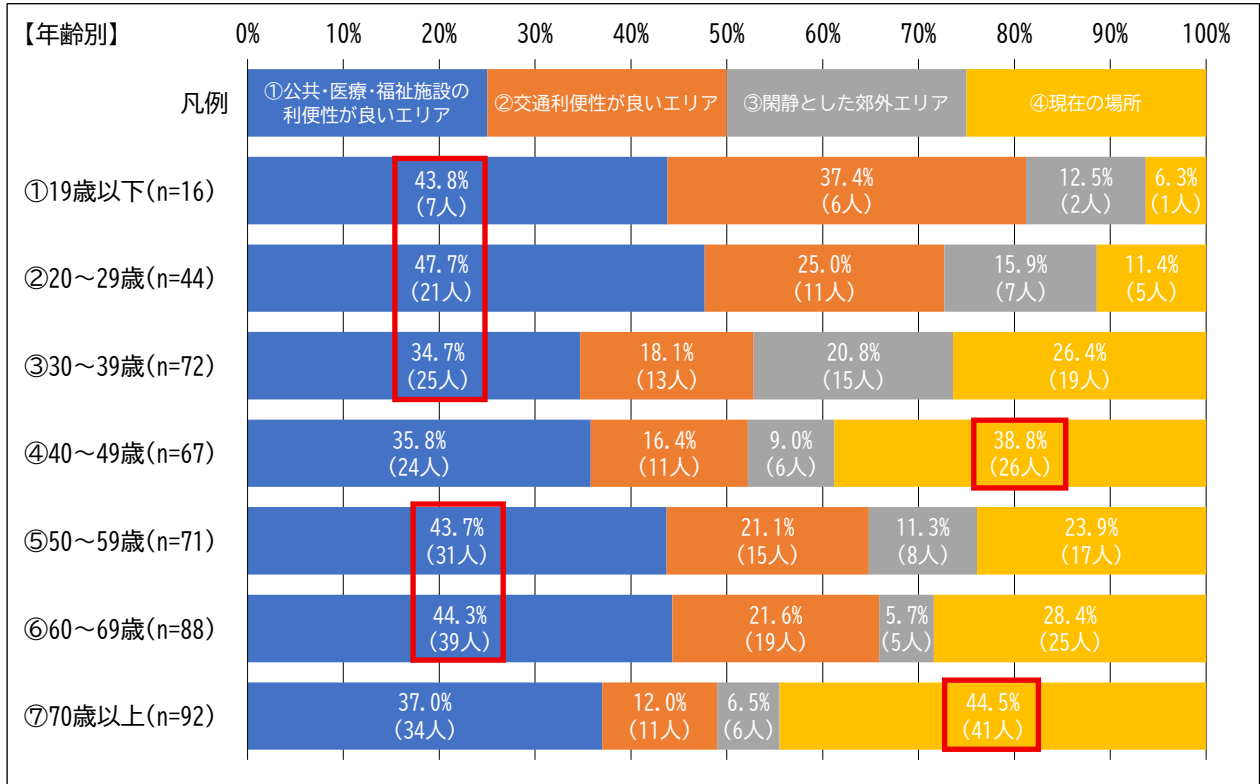
「①役場を中心とした公共施設及び医療・福祉施設等の利便性が良いエリア」が39.2%で最も多く、続いて「④現在の場所以外には考えられない」が28.9%、「②バスなどの交通の利便性が良い道路沿線エリア」が18.6%、「③多少不便さはあるが、閑静とした郊外エリア」が10.5%となっています。



図表 2-25 町内に転居する場合の居住地域

【年齢別】

回答者を年齢別に見ると、「①公共・医療・福祉施設の利便性が良いエリア」は「①19歳以下」から「③30～39歳」と「⑤50～59歳」及び「⑥60～69歳」、「④現在の場所」は「④40～49歳」と「⑦70歳以上」が最も回答が多くなっています。



【①～④の選択肢の原文】

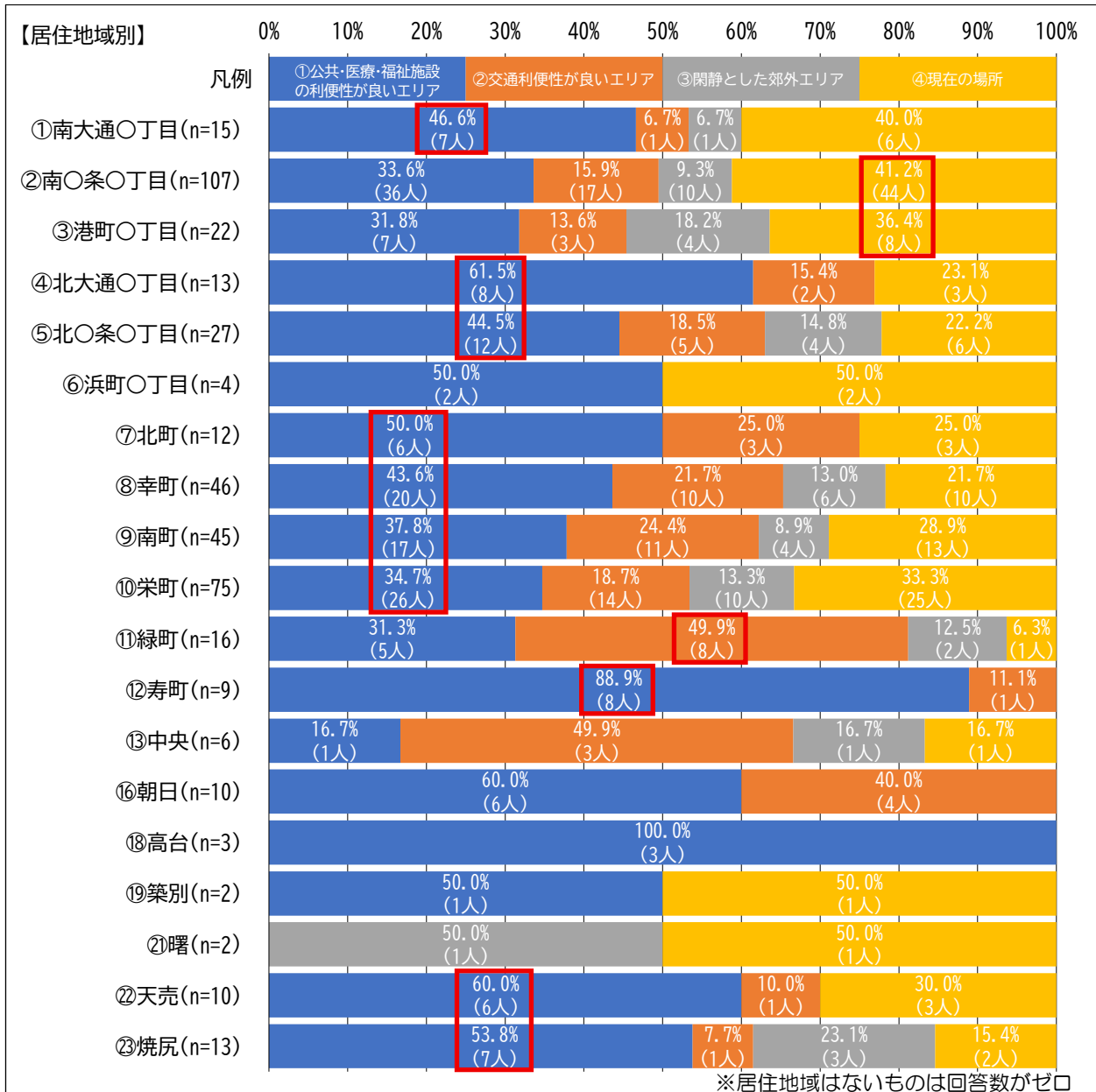
- ①役場を中心とした公共施設及び医療・福祉施設等の利便性が良いエリア
- ②バスなどの交通の利便性が良い道路沿線エリア
- ③多少不便さはあるが、閑静とした郊外エリア
- ④現在の場所以外には考えられない

図表 2-26 町内に転居する場合の居住地域（年齢別）

【居住地域別】

居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると、「①公共・医療・福祉施設の利便性が良いエリア」は次の11地域で、「④現在の場所」は「②南〇条〇丁目」と「③港町」、「②交通利便性が良いエリア」は「⑪緑町」となっています。

「①公共・医療・福祉施設の利便性が良いエリア」は「①南大通〇丁目」、「④北大通〇丁目」、「⑤北〇条〇丁目」、「⑦北町」、「⑧幸町」、「⑨南町」、「⑩栄町」、「⑫寿町」、「⑯朝日」、「⑳天売」及び「㉓焼尻」となっています。



【①～④の選択肢の原文】

- ①役場を中心とした公共施設及び医療・福祉施設等の利便性が良いエリア
- ②バスなどの交通の利便性が良い道路沿線エリア
- ③多少不便さはあるが、閑静とした郊外エリア
- ④現在の場所以外には考えられない

図表 2-27 町内に転居する場合の居住地域（居住地域別）

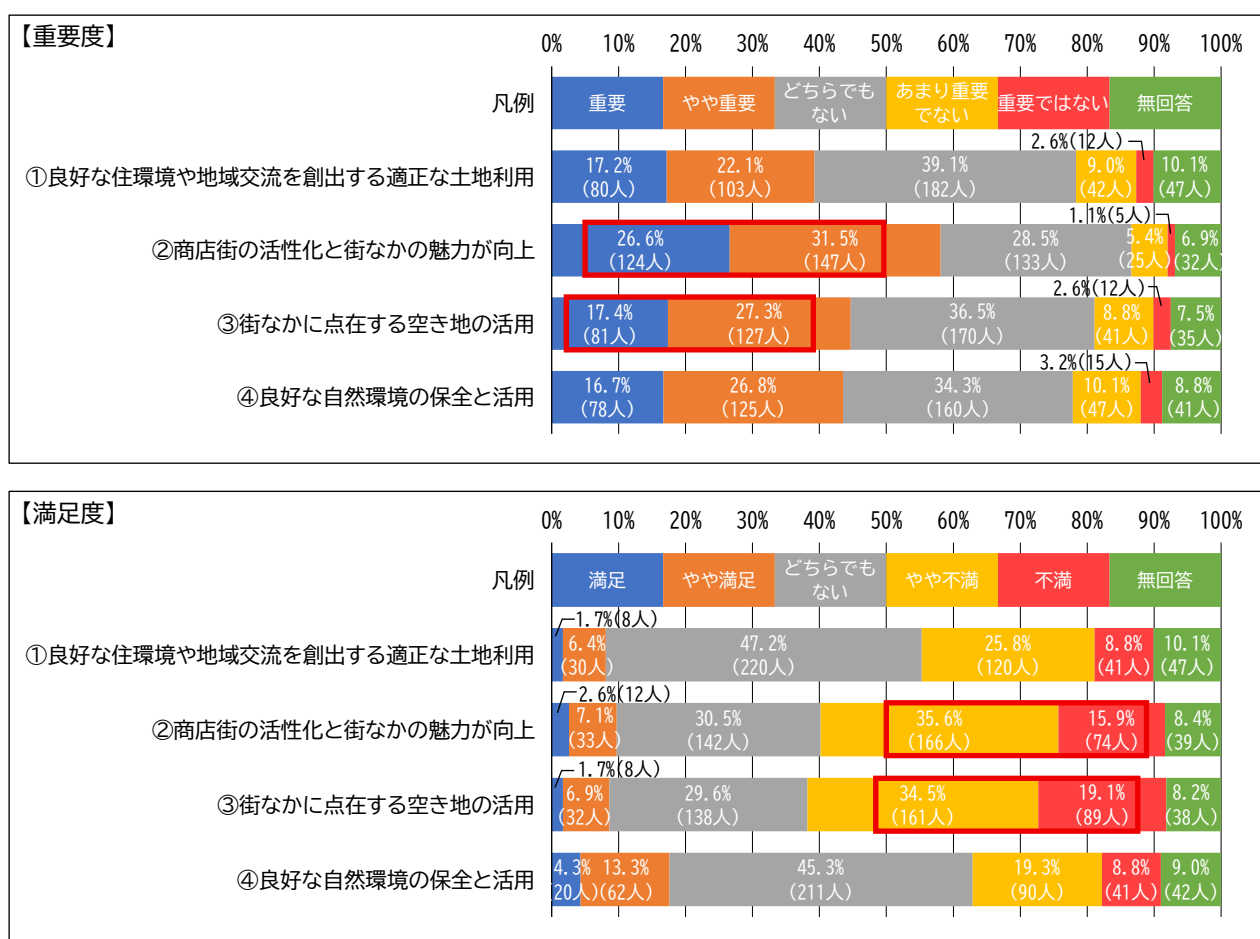
2-4. 都市計画区域内のまちづくりについてお伺いします。

(1)土地利用について(問9)

①重要度と満足度

重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「②商店街の活発化と街なかの魅力が向上」が58.1%と最も多く、続いて「③街なかに点在する空き地の活用」が44.7%、「④良好な自然環境の保全と活用」が43.5%の順となっています。

満足度で「不満」と「やや不満」の合計は、「③街なかに点在する空き地の活用」が53.6%と最も多く、続いて「②商店街の活性化と街なかの魅力が向上」が51.5%、「①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用」が34.6%の順となっています。



図表 2-28 重要度と満足度（土地利用）

『その他』の回答

- ・温泉と道の駅の設備の向上。
- ・空き地や商店街と言うまえに、宮坂をなんとかしたほうがいい。

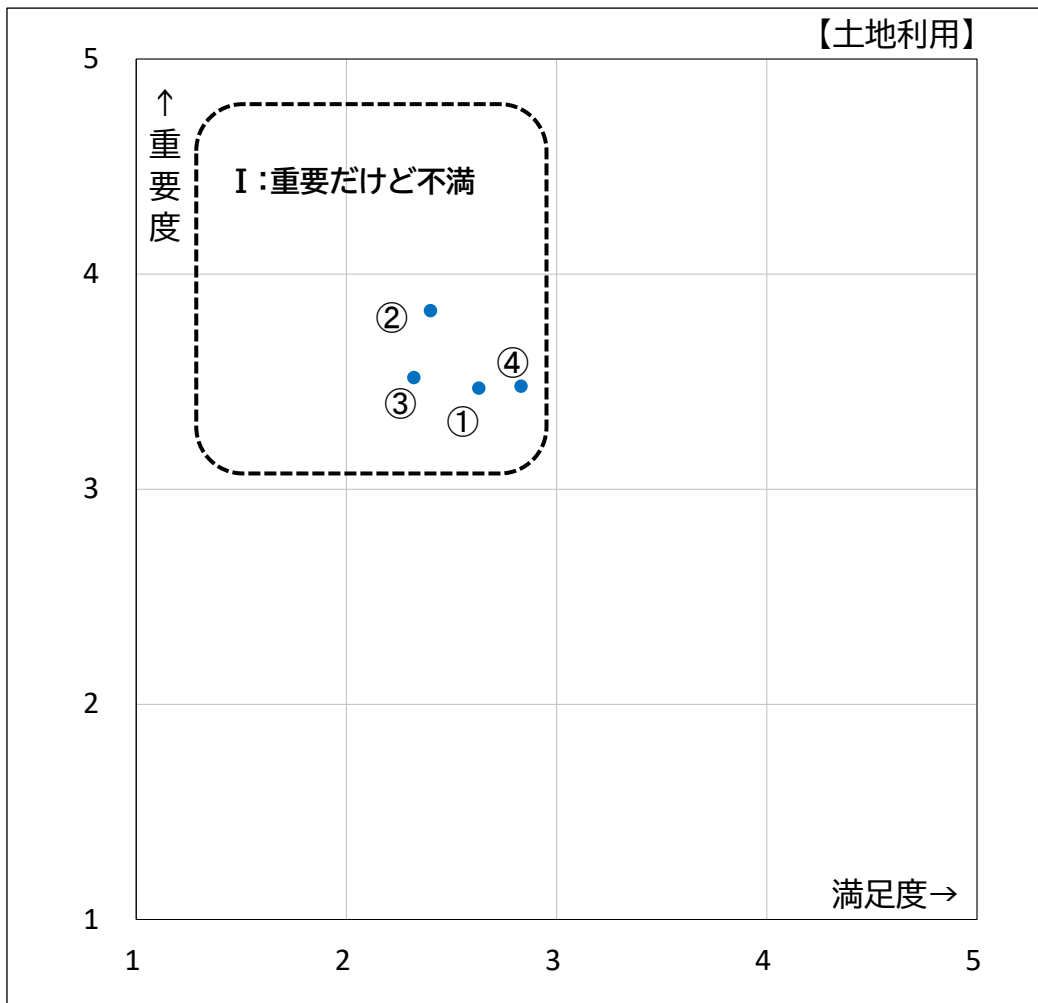
【分布図による分析】

土地利用に関する4つの施策については、重要度と満足度の平均値から全て「I：重要だけど不満」となります。

「I：重要だけど不満」となる施策は「施策の推進」が必要となります。

図表 2-29 重要度と満足度による判定（土地利用）

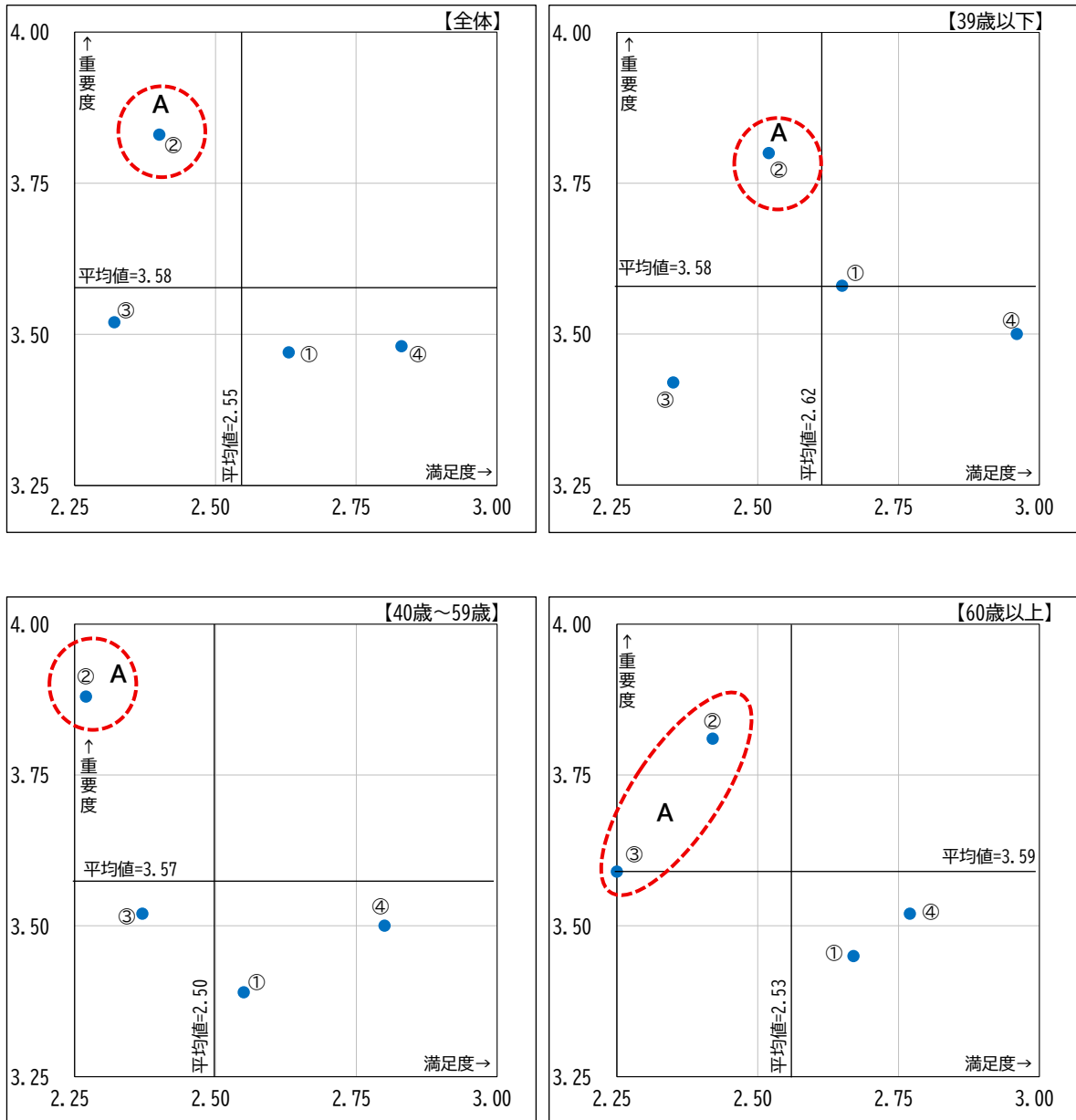
項目	重要度平均値	満足度平均値	判定
①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用	3.47	2.63	I
②商店街の活性化と街なかの魅力が向上	3.83	2.40	I
③街なかに点在する空き地の活用	3.52	2.32	I
④良好な自然環境の保全と活用	3.48	2.83	I



図表 2-30 重要度と満足度の分布図（土地利用）

【年齢別】

土地利用について「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を年齢別と合わせて見ると、全体及びどの年齢層も「②商店街の活性化と街なかの魅力が向上」となっているほか、「60歳以上」は「③街なかに点在する空き地の活用」も該当しています。



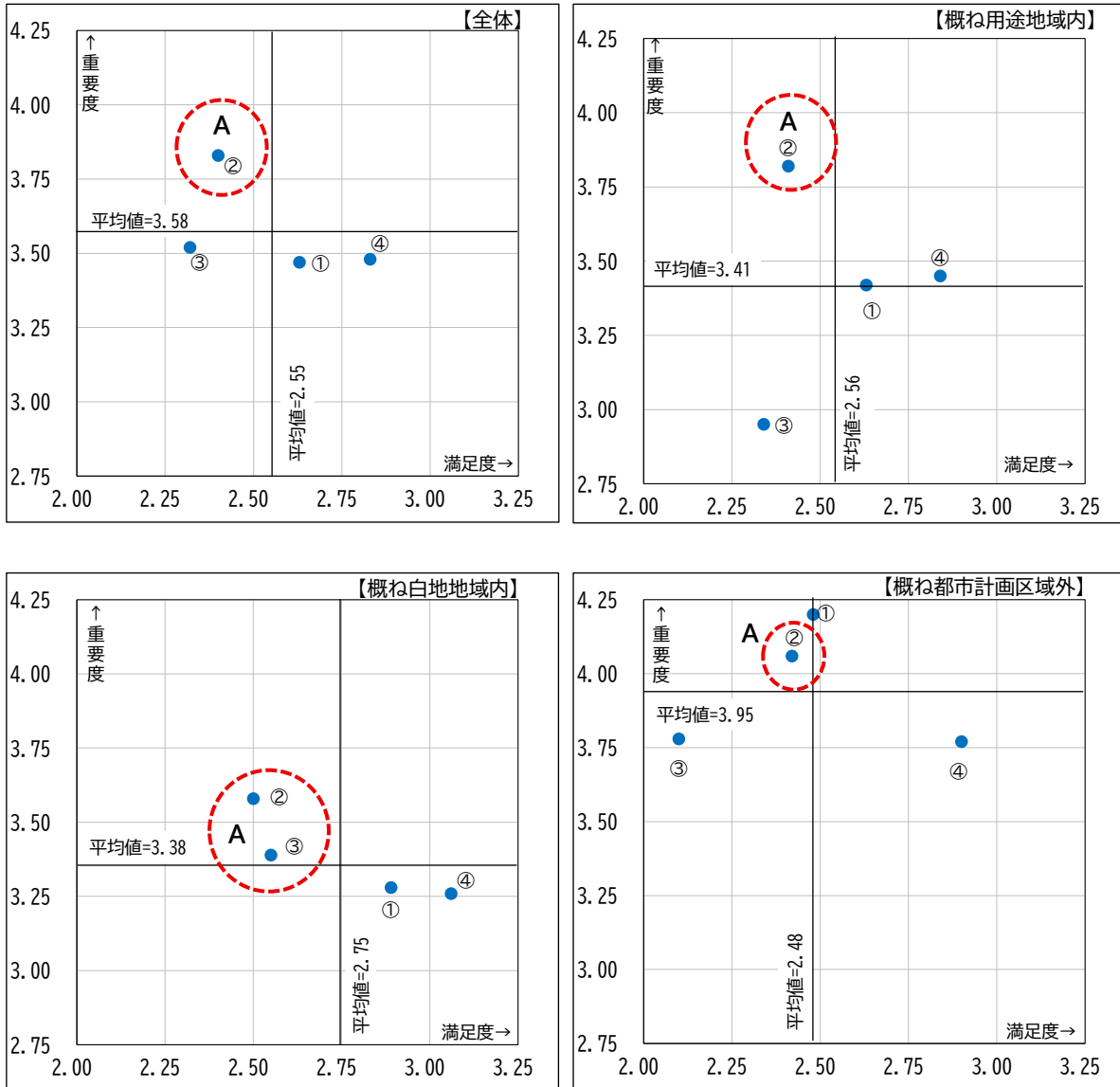
【①～④の選択肢の原文】

- ①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用
- ②商店街の活性化と街なかの魅力が向上
- ③街なかに点在する空き地の活用
- ④良好な自然環境の保全と活用

図表 2-3 1 重要度と満足度による分布状況 (土地利用) (年齢層別)

【居住地域別】

「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を居住地域別に見ると、全体及びどの地域も「②商店街の活性化と街なかの魅力が向上」となっているほか、「概ね白地地域内」は「③街なかに点在する空き地の活用」、「概ね都市計画区域外」は「①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用」も該当しています。



【①～④の選択肢の原文】

- ①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用
- ②商店街の活性化と街なかの魅力が向上
- ③街なかに点在する空き地の活用
- ④良好な自然環境の保全と活用

【居住地域の分類】

概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町

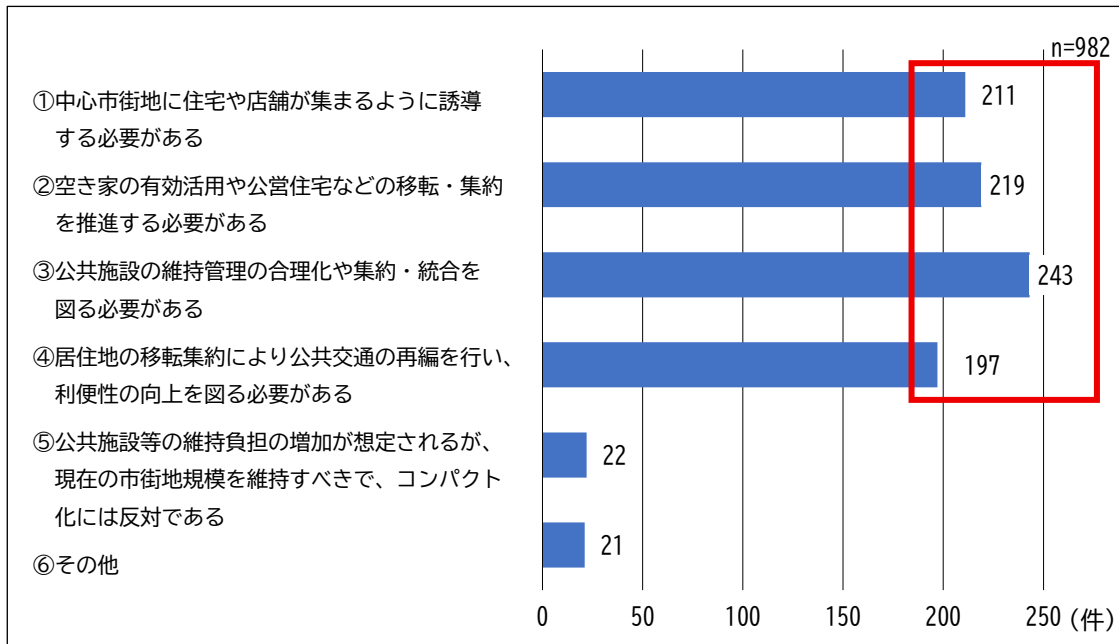
概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭汐見、⑮築別

概ね都市計画区域外：⑯中央、⑰平、⑱上羽幌、⑲高台、⑳上築、㉑曙、㉒天売、㉓焼尻

図表 2-32 重要度と満足度による分布状況 (土地利用) (居住地域別)

②「コンパクトなまちづくり」の考え方について、該当する事項を1つ選択

「③公共施設の維持管理の合理化や集約・統合を図る必要がある」が 243 件で最も多く、続いて「②空き地の有効活用や公営住宅などの移転・集約を推進する必要がある」が 219 件、「①中心市街地に住宅や店舗が集まるように誘導する必要がある」が 211 件、「④居住地の移転集約により公共交通の再編を行い、利便性の向上を図る必要がある」の 197 件の順で、この 4 項目はほぼ横並びの状況となっています。



図表 2-33 コンパクトなまちづくりの必要性

コンパクト化反対の理由

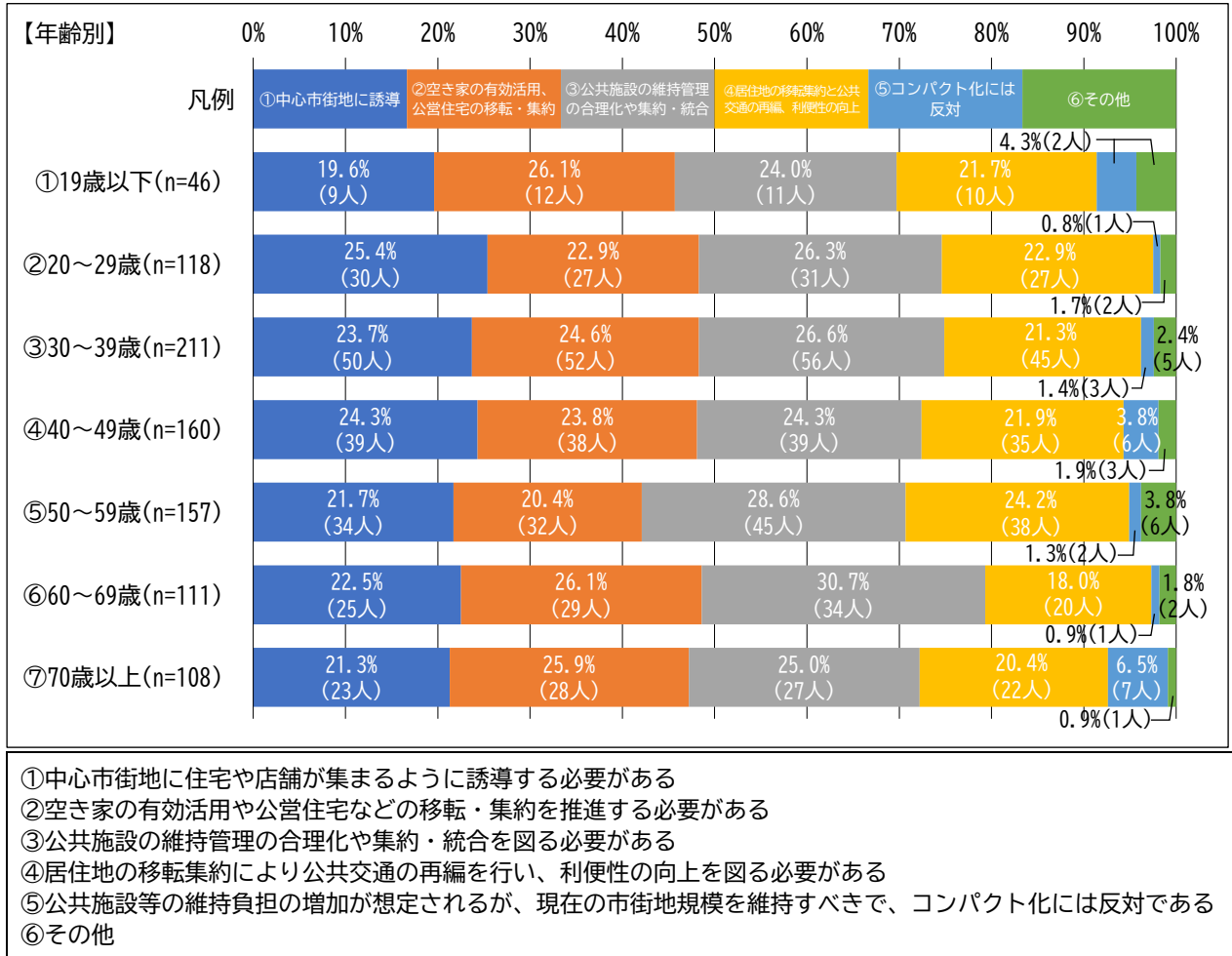
- ・移転は考えられない。
- ・なおさら若い人が出て行くと思う。
- ・地域が持つ強さや人の移動手段にも配慮してほしい。
- ・人口が余計に減ると思う。
- ・コンパクトな町になり子どもを産みにくくなり子どもたちは何もない町が嫌になりそう。
- ・今の状態がベストだと考えるから。コンパクト化に予算をかけるよりも Instagram に予算をかけた方が良いと思います。
- ・居住地が外れのため。
- ・コンパクト化より先に人口減少に歯止めをかけるべき。
- ・コンパクトな街づくりを目指す時点で人口減少に歯止めをかける気がないように思えるので、北海道第3の都市を目指すつもりで、より広大な土地を使った人口増大計画をすべき。

『その他』の回答

- ・空き家は目につき、気になる。
- ・基本的には良い考えであるが密集を考えすぎると冬の雪捨場の確保が難しくなる。自然環境も考えた計画が必要。
- ・空き家を活用した公共施設の増加や交通の利便性の向上が必要。
- ・必要な物をなるべく町内で買えるようにしたほうが良い。「財源がない」と言うならなおさらで、正直もったいないと思います。
- ・空き家スペースを住宅利用の土地にする。
- ・職場、働き手、出会いを増やして人口増加を図る。なんもない寂しいではなく、やりがいのある体験や最高の思い出となる娯楽、スポーツや祭りなどで盛り上げる。すばらしい貢献が未来を変える。
- ・現状維持ができるならいい。
- ・人口減少対策や子どもを増やすことを既にあきらめてはいないかでしょうか。やる気が感じられない。
- ・コンパクトなまちづくりの必要性を感じない。
- ・コンパクトなまちづくりとはどういうことかわからない。
- ・栄町地区に商業施設が集積しつつあることから、従来の中心市街地にこだわる必要はないと思います。栄町のスーパーでは苫前や小平の住民と会う機会も多いです。むしろ栄町地区には使っていない農地なども見られるので、開発を促進すべきではないでしょうか。
- ・中心市街地への住宅、店舗の集積・誘導に対して「すぐに移転する」ことはありえなく、考え方が甘い。
- ・近隣の道の駅みたいなまちづくりや、特産などのPR、イベントを開催してほしい。
- ・コンパクト化には賛成ですが、イメージできない。
- ・コンパクト化するよりも人口減少を止める為に働く場所や若者流出を防ぐ手立てを考えるべき。
- ・コンパクトなまちづくりの前に、まちの顔になる道の駅を考えた方がいい。意味がわからない道の駅、汚い温泉施設、これらをコンパクトにして綺麗な施設を作ったほうがいい。
- ・離島のことを考えていない。
- ・将来的な少子化、高齢化という辺りの危機感を感じない。既にその渦中にあるのだから、将来なんて棚上げせずすぐにでもやれることを講じるべき。

【年齢別】

回答者を年齢別に見ると、「①中心市街地に住宅や店舗が集まるように誘導する必要がある」から「④居住地の移転集約により公共交通の再編を行い、利便性の向上を図る必要がある」のいずれも概ね20%台となっているため、年齢別ではない全体と同様の傾向となっています。



図表 2-3 4 コンパクトなまちづくりの必要性 (年齢別)

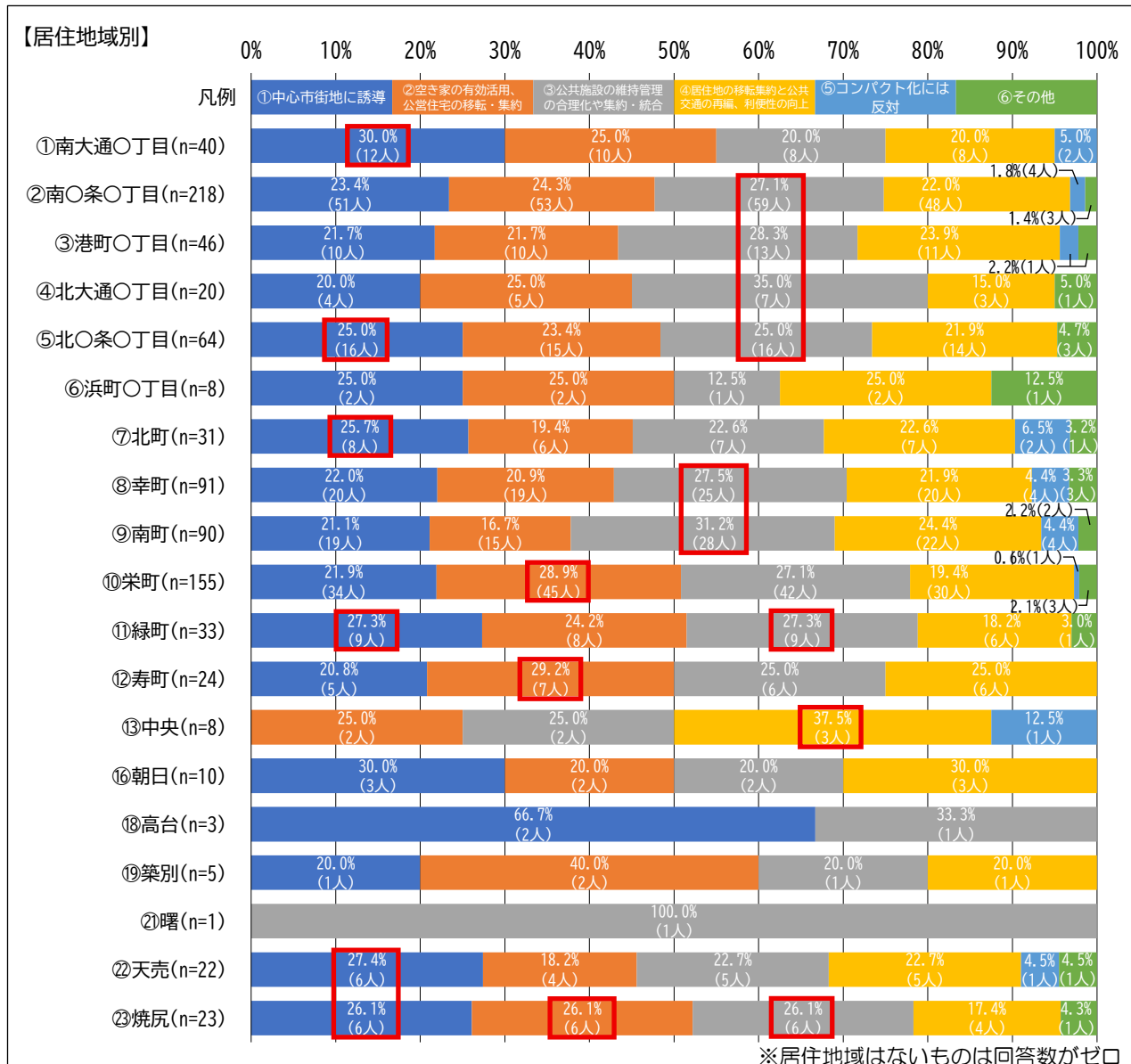
【居住地域別】

「③公共施設の維持管理の合理化や集約・統合」、「②空き家の有効活用、公営住宅の移転・集約」及び「①中心市街地に誘導」について、居住地域別に回答数が5件以上の最も多い回答を見ると次のとおりとなります。

「③公共施設の維持管理の合理化や集約・統合」は「②南〇条〇丁目」、「③港町」、「④北大通〇丁目」、「⑤北〇条〇丁目」、「⑧幸町」、「⑨南町」、「⑪緑町」及び「⑬焼尻」。

「②空き家の有効活用、公営住宅の移転・集約」は「⑩栄町」、「⑫寿町」及び「⑬焼尻」。

「①中心市街地に誘導」は「①南大通〇丁目」、「⑤北〇条〇丁目」、「⑦北町」、「⑪緑町」、「⑫天売」及び「⑬焼尻」。



- ①中心市街地に住宅や店舗が集まるように誘導する必要がある
- ②空き家の有効活用や公営住宅などの移転・集約を推進する必要がある
- ③公共施設の維持管理の合理化や集約・統合を図る必要がある
- ④居住地の移転集約により公共交通の再編を行い、利便性の向上を図る必要がある
- ⑤公共施設等の維持負担の増加が想定されるが、現在の市街地規模を維持すべきで、コンパクト化には反対である
- ⑥その他

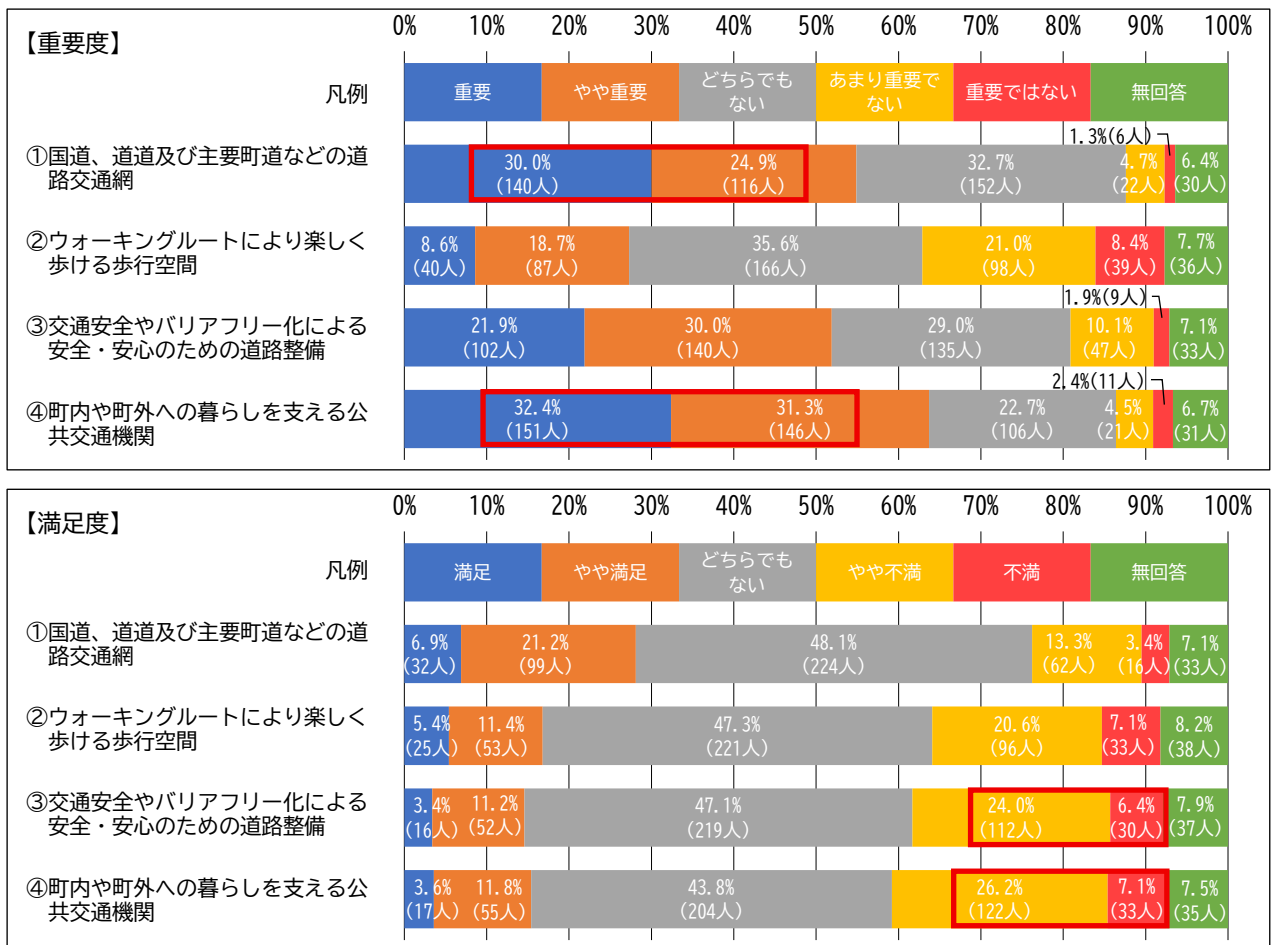
図表 2-35 コンパクトなまちづくりの必要性（居住地域別）

(2)道路・交通について(問 10)

①重要度と満足度

重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」が63.7%と最も多く、続いて「①国道、道道及び主要町道などの道路交通網」が54.9%、「③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備」が51.9%の順となっています。

満足度で「不満」と「やや不満」の合計は、「④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」が33.3%と最も多く、続いて「③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備」が30.4%、「②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間」が27.7%の順となっています。



図表 2-36 重要度と満足度 (道路・交通)

『その他』の回答

- ・冬期の除雪、排雪(2件)
- ・オンデマンドのタクシー、バスの助成、整備
- ・自転車コースやアトラクションコースなど
- ・飛行場の整備

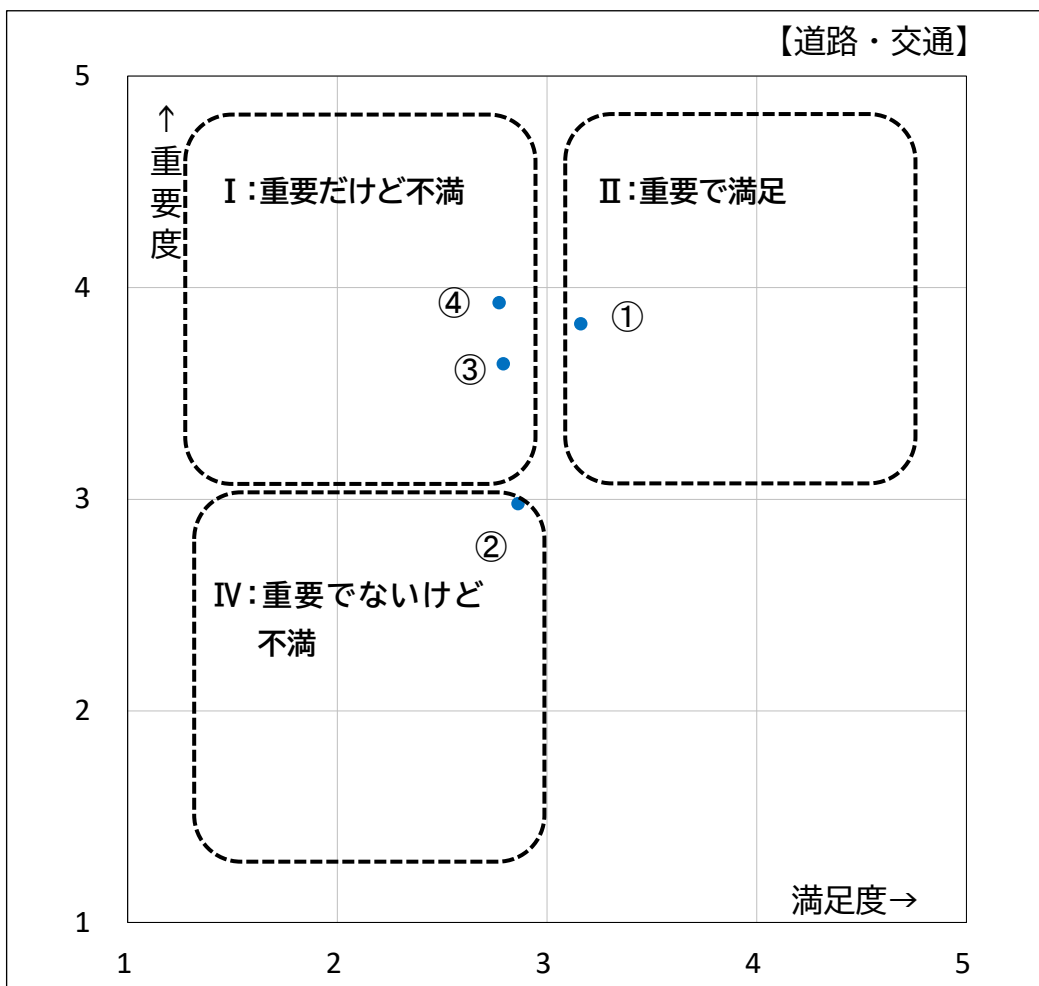
【分布図による分析】

道路・交通に関する4つの施策については、重要度と満足度の平均値から「③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備」と「④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」は「Ⅰ：重要だけど不満」、 「①国道、道道及び主要町道などの道路交通網」は「Ⅱ：重要で満足」及び「②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間」は「Ⅳ：重要でないけど不満」となります。

「Ⅰ：重要だけど不満」となる施策は「施策の推進」、 「Ⅱ：重要で満足」は「現状の維持」、 「Ⅳ：重要でないけど不満」は「住民ニーズに合う施策の見直しと推進」がそれぞれ必要となります。

図表 2-37 重要度と満足度による判定（道路・交通）

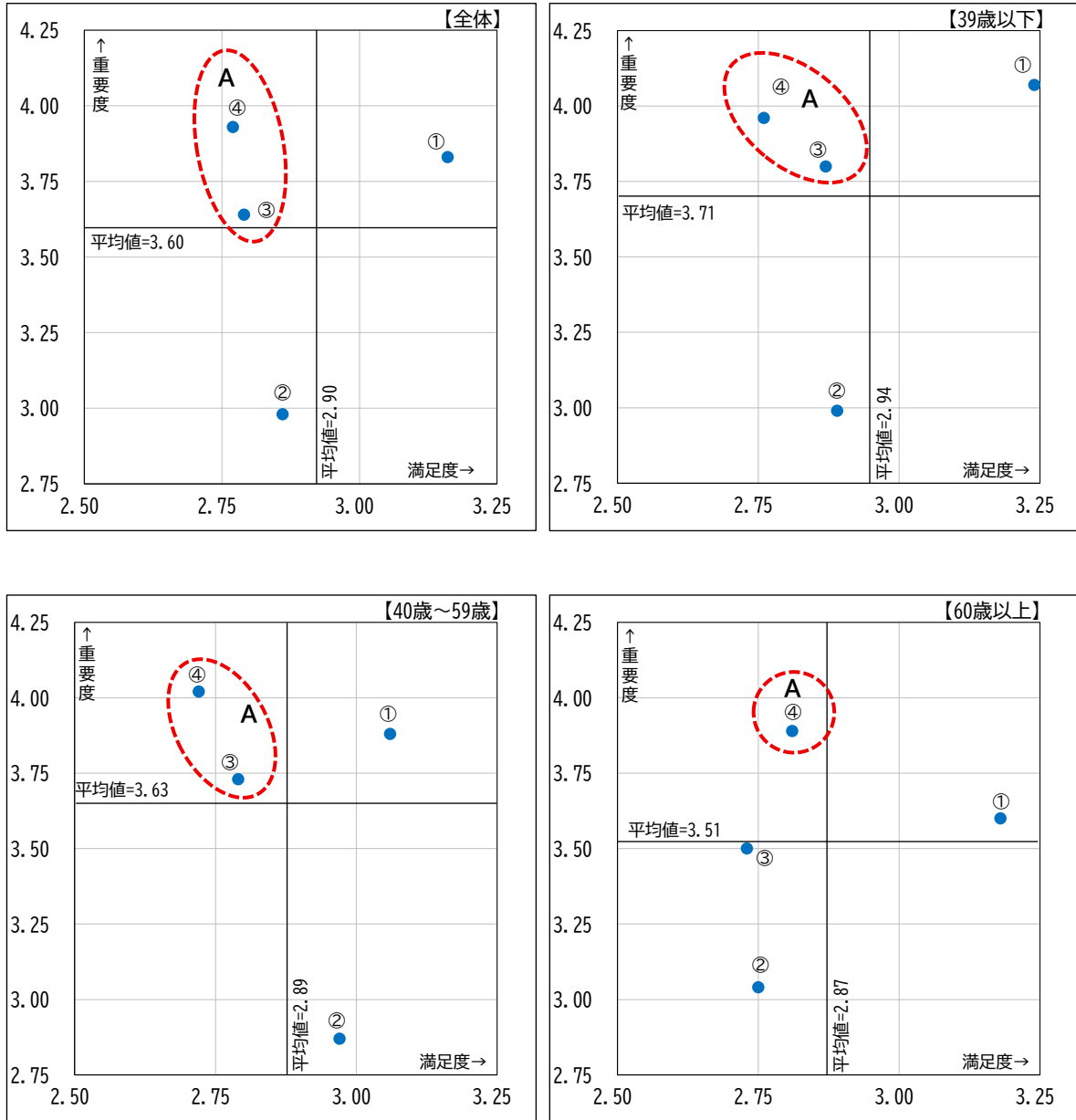
項目	重要度平均値	満足度平均値	判定
①国道、道道及び主要町道などの道路交通網	3.83	3.16	Ⅱ
②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間	2.98	2.86	Ⅳ
③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備	3.64	2.79	Ⅰ
④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関	3.93	2.77	Ⅰ



図表 2-38 重要度と満足度の分布図（道路・交通）

【年齢別】

道路・交通について「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を年齢別に見ると、どの年齢層も「④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」となっているほか、「60歳以上」を除いて「③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備」も該当しています。



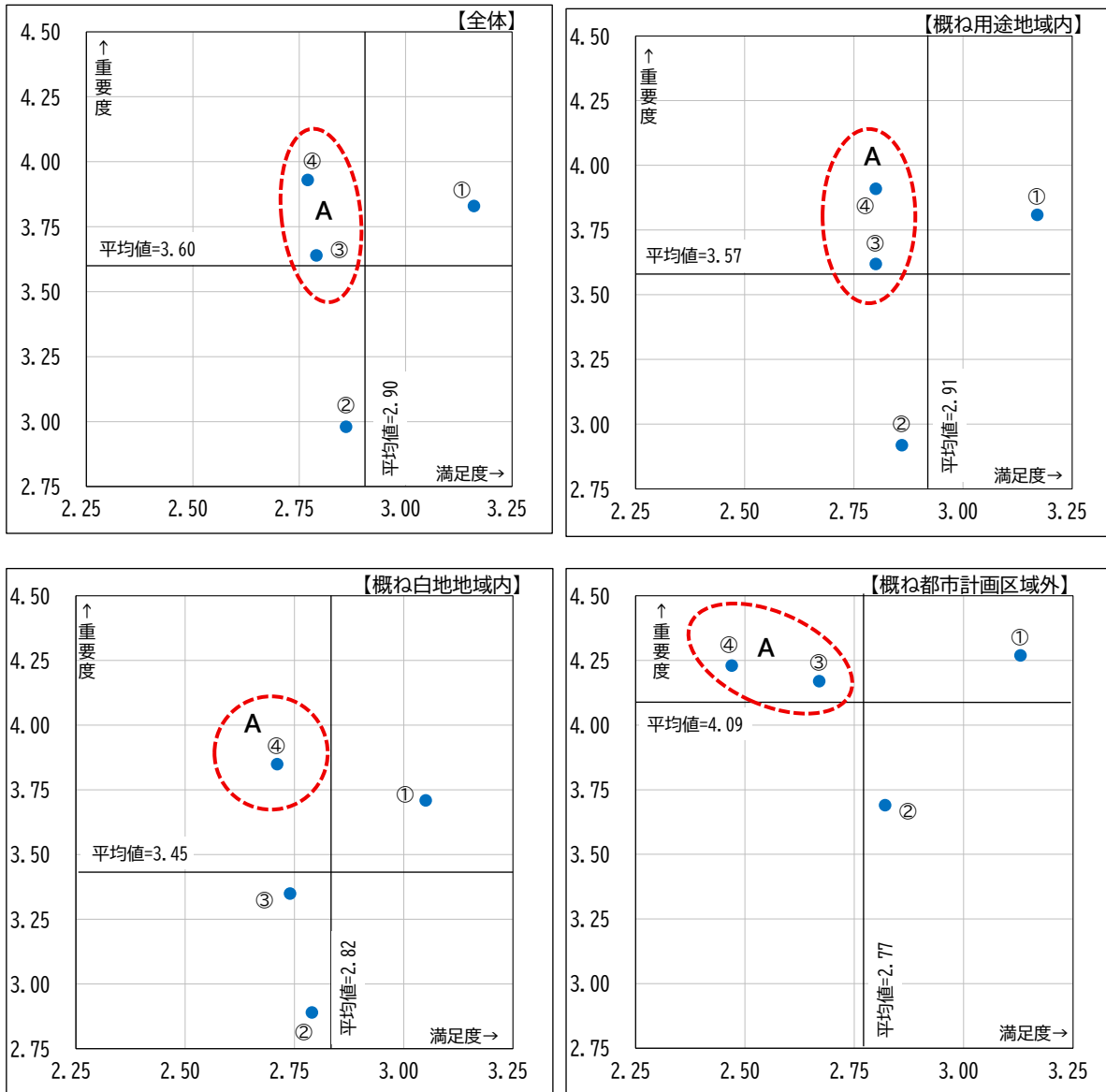
【①～④の選択肢の原文】

- ①国道、道道及び主要町道などの道路交通網
- ②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間
- ③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備
- ④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関

図表 2-39 重要度と満足度による分布状況 (道路・交通) (年齢層別)

【居住地域別】

「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を居住地域別に見ると、全体及び概ねどの地域も「③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備」、「④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」となっています。



【①～④の選択肢の原文】

- ① 国道、道道及び主要町道などの道路交通網
- ② ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間
- ③ 交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備
- ④ 町内や町外への暮らしを支える公共交通機関

【居住地域の分類】

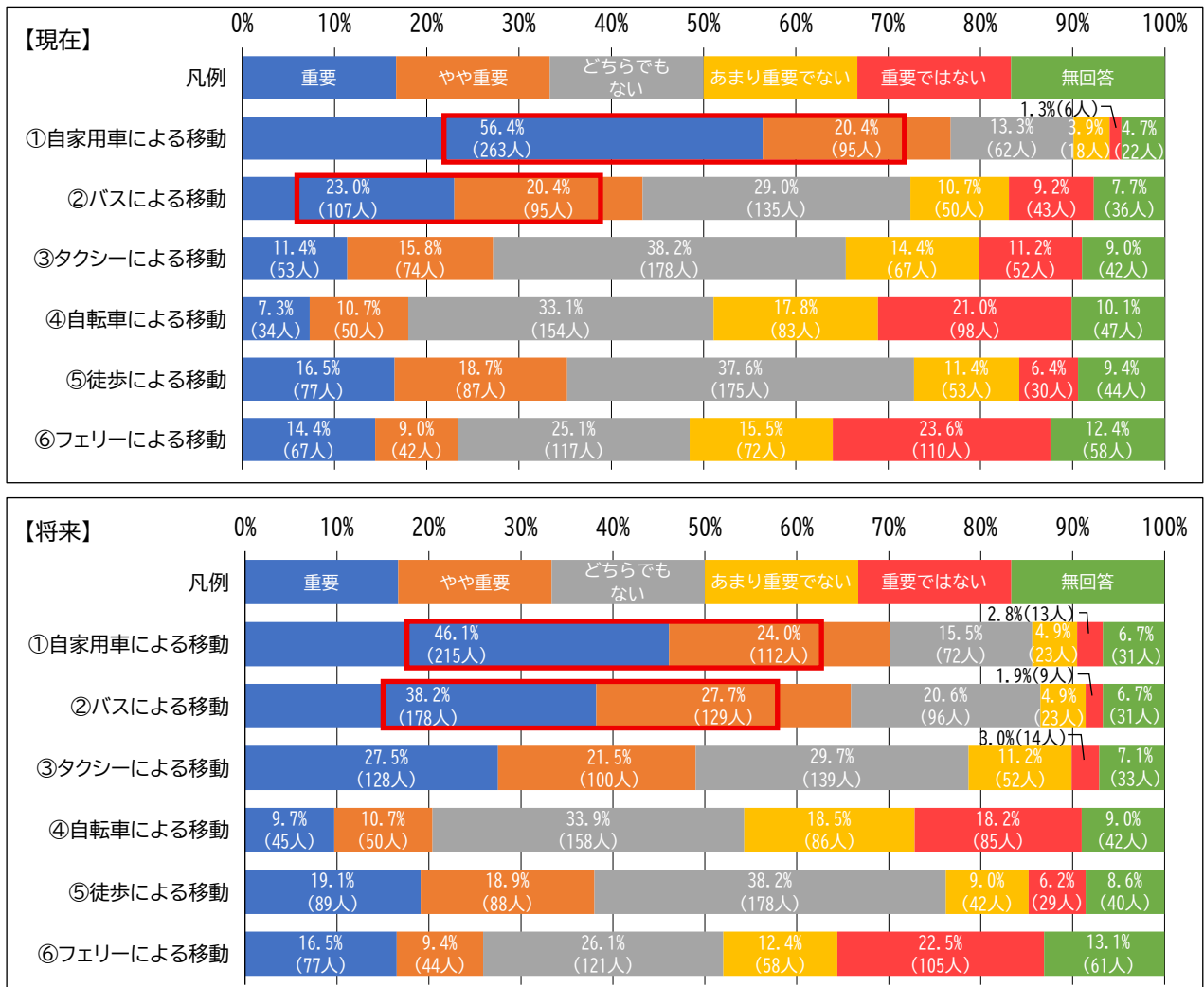
- 概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町
- 概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭汐見、⑮築別
- 概ね都市計画区域外：⑯中央、⑰平、⑱上羽幌、⑲高台、⑳上築、㉑曙、㉒天売、㉓焼尻

図表 2-40 重要度と満足度による分布状況（道路・交通）（居住地域別）

②「現在の移動手段の重要性」と「将来の移動手段の重要性」

現在の重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「①自家用車による移動」が76.8%と最も多く、続いて「②バスによる移動」が43.4%、「⑤徒歩による移動」が35.2%の順となっています。

将来の重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「①自家用車による移動」が70.1%と最も多く、続いて「②バスによる移動」が65.9%、「③タクシーによる移動」が49.0%となっています。

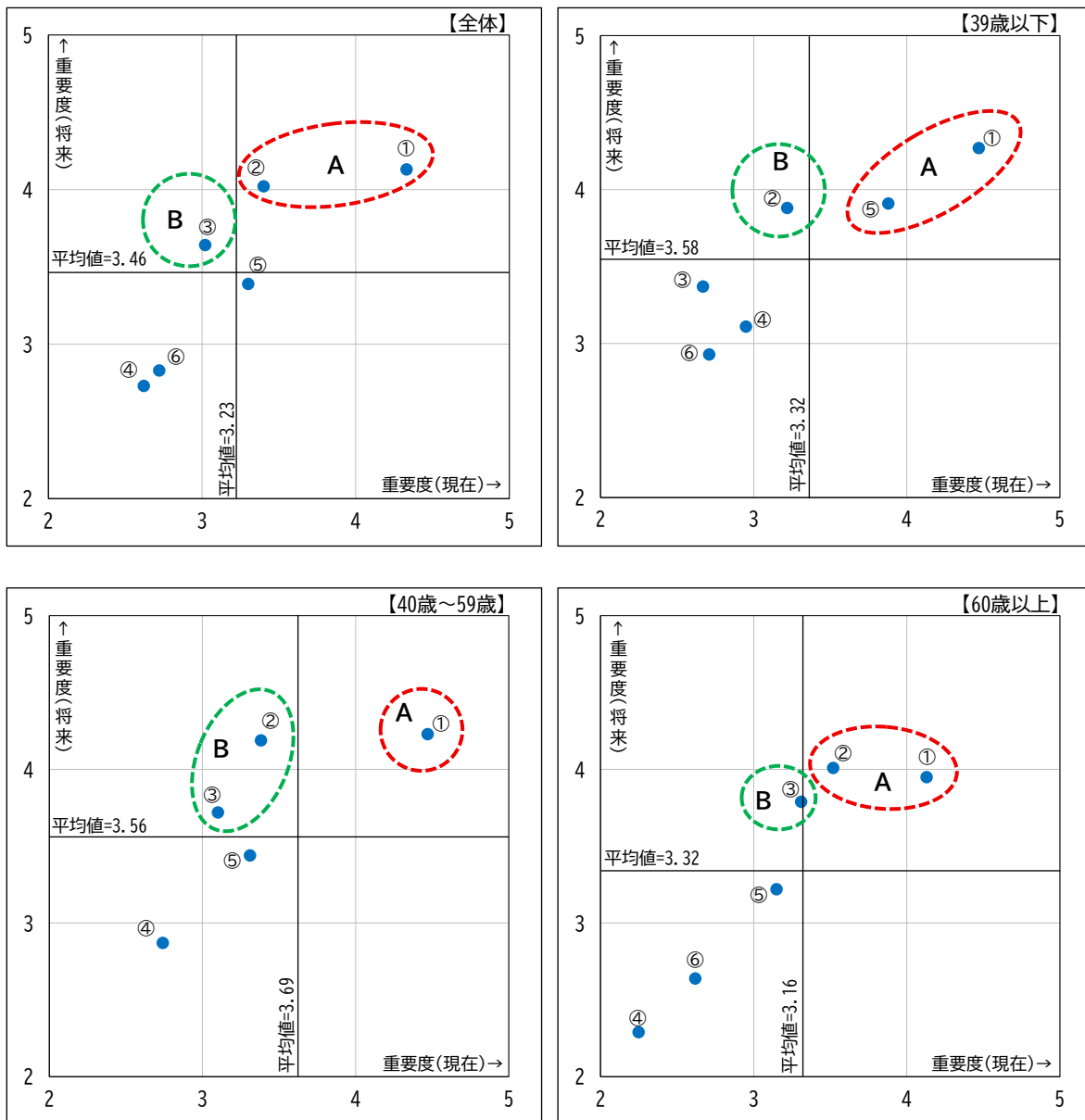


図表 2-4 1 現在と将来における各交通手段の重要性

【年齢別】

各交通手段の現在と将来における重要度を年齢別に見ると、現在・将来とも重要度が高い項目「A」は全体及びどの年齢層も「①自家用車による移動」となっているほか、全体及び「60歳以上」は「②バスによる移動」、全体及び「39歳以下」は「⑤徒歩による移動」が該当しています。

現在の重要度が低く（平均値程度）将来の重要度が高い項目「B」は全体及び「60歳以上」を除く年齢層で「②バスによる移動」と、「39歳以下」を除く年齢層で「③タクシーによる移動」となっています。



【①～④の選択肢の原文】

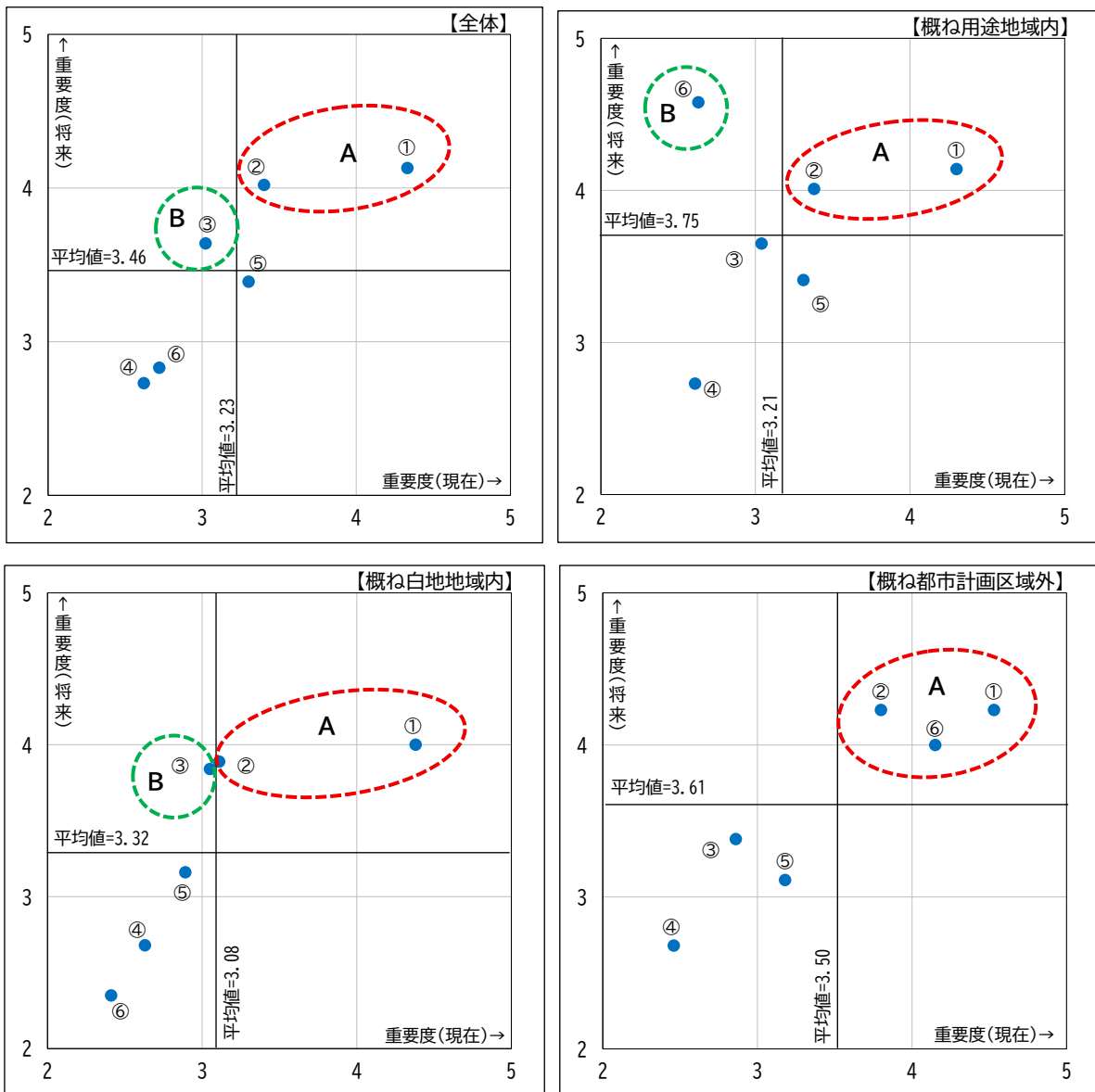
- ①自家用車による移動
- ②バスによる移動
- ③タクシーによる移動
- ④自転車による移動
- ⑤徒歩による移動
- ⑥フェリーによる移動

図表 2-4 2 各交通手段の現在と将来における重要性の分布状況（年齢層別）

【居住地域別】

居住地域別に見ると、現在・将来とも重要度が高い項目「A」はどの地域も「①自家用車による移動」と「②バスによる移動」となっているほか、「概ね都市計画区域外」は「⑥フェリーによる移動」が該当しています。

現在の重要度が低く将来の重要度が高い項目「B」は全体及び「概ねs路地地域内」が「③タクシーによる移動」となっているほか、「概ね用途地域内」が「⑥フェリーによる移動」が該当しています。



【①～⑥の選択肢の原文】

- | | |
|------------|------------|
| ①自家用車による移動 | ④自転車による移動 |
| ②バスによる移動 | ⑤徒歩による移動 |
| ③タクシーによる移動 | ⑥フェリーによる移動 |

【居住地域の分類】

概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町

概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭夕見、⑯築別

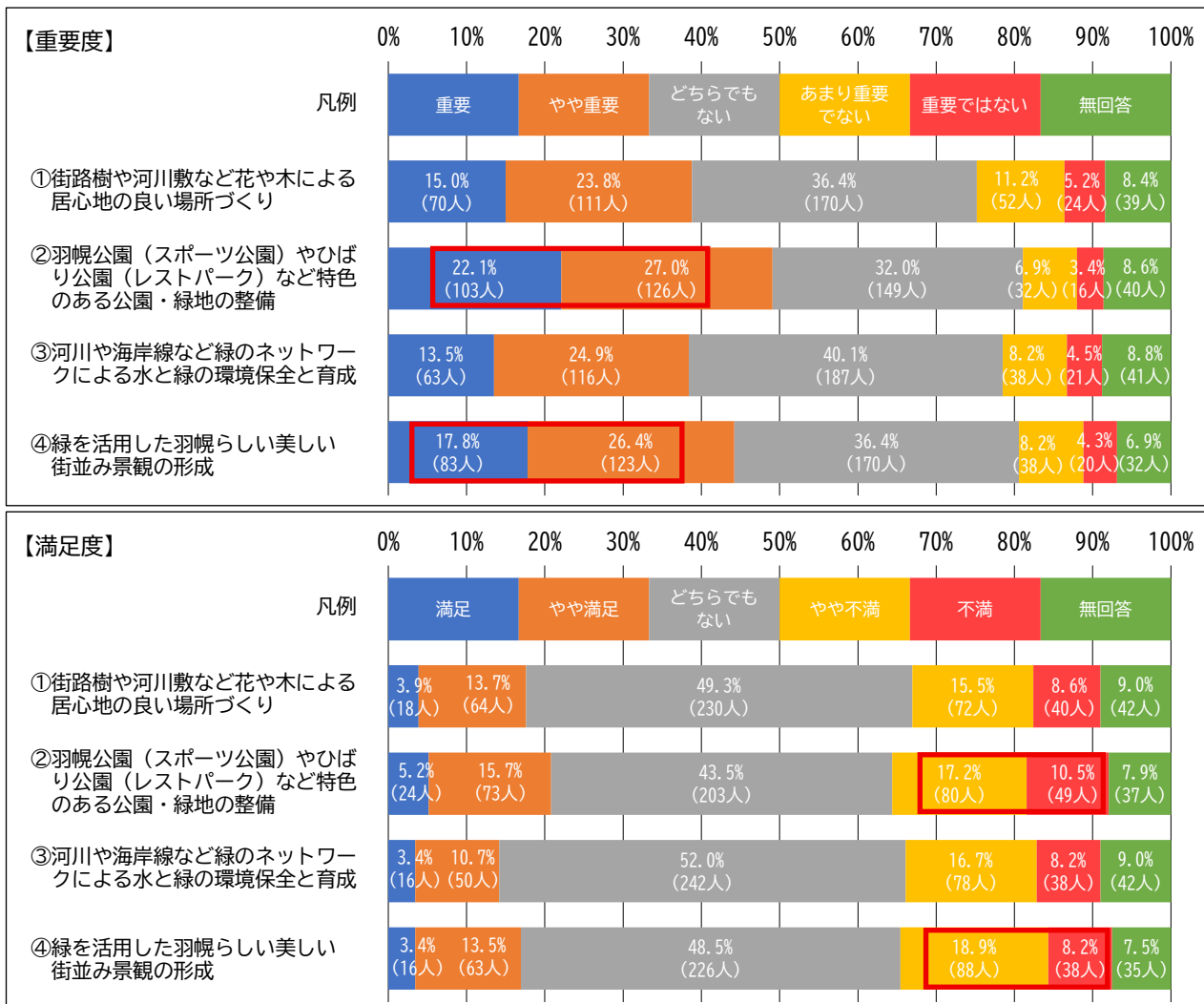
概ね都市計画区域外：⑬中央、⑭平、⑮上羽幌、⑯高台、⑰上築、⑱曙、⑲天売、⑳焼尻

図表 2-43 各交通手段の現在と将来における重要性の分布状況（居住地域別）

(3)水と緑について(問 11)

重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備」が49.1%と最も多く、続いて「④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成」が44.2%、「①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり」が38.8%の順となっています。

満足度で「不満」と「やや不満」の合計は、「②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備」が27.7%と最も多く、次いで「④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成」が27.1%、「③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成」が24.9%の順となっています。



図表 2-4 4 重要度と満足度（水と緑）

『その他』の回答

- ・公園は1箇所あればいい。
- ・津波による災害への対策。
- ・スポーツ公園サッカー場でサッカーをやっているのは子ども達です。野球を優遇してサッカーを差別するのはですか。日本国憲法を守れ(第 14 条)。子どもに投資しないで教育を語るのはいかがでしょうか。
- ・国道(232 号線)汐見・築別付近に風力電機の風車が乱立して建っているので景観上よくないと思う。
- ・水の都、森の庭園、素晴らしい景観が欲しい。
- ・福寿川の水質を良くしてほしい。
- ・現状、景観に対する統一的なコンセプトが感じられない。恵庭、東川、東神楽などを参考にすべき。
- ・来街者が多い離島の自然を利用した環境整備。

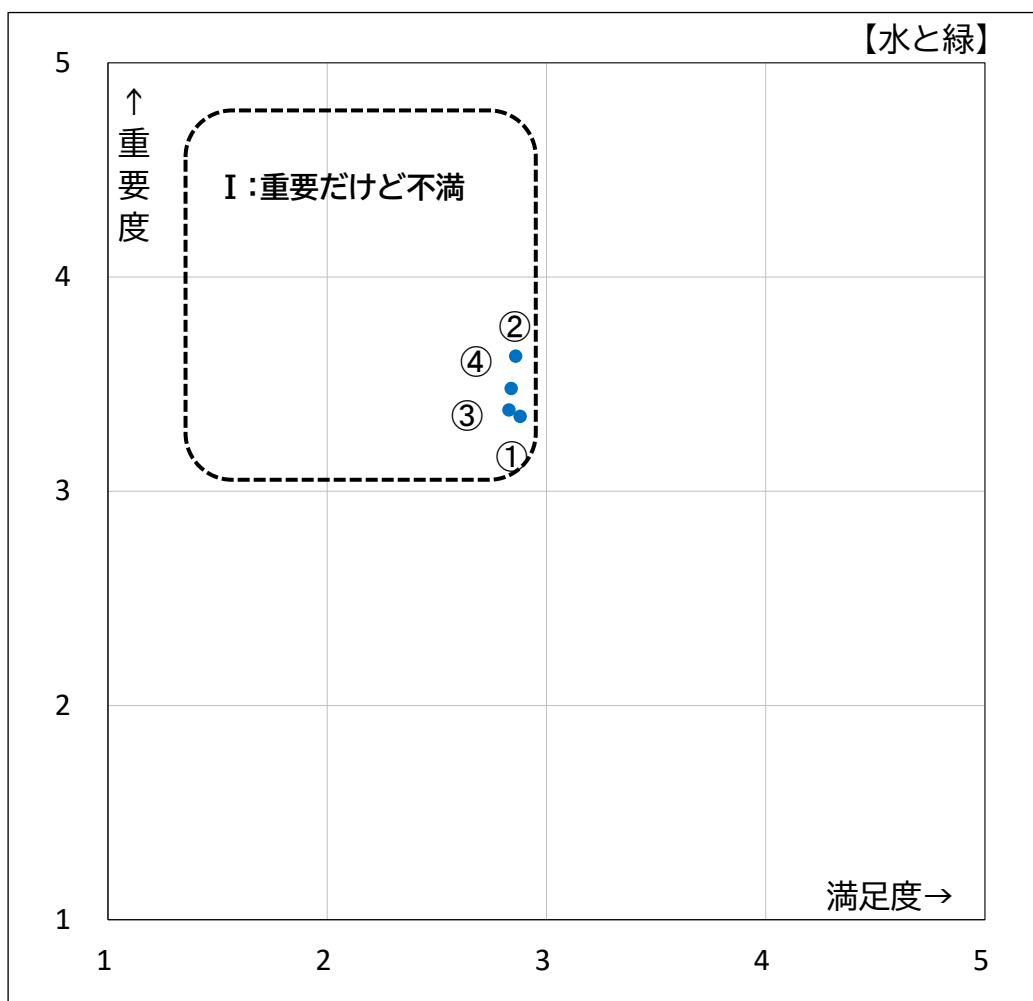
【分布図による分析】

水と緑に関する4つの施策については、重要度と満足度の平均値から全て「I：重要だけど不満」となります。

「I：重要だけど不満」となる施策は「施策の推進」が必要となります。

図表 2-45 重要度と満足度による判定（水と緑）

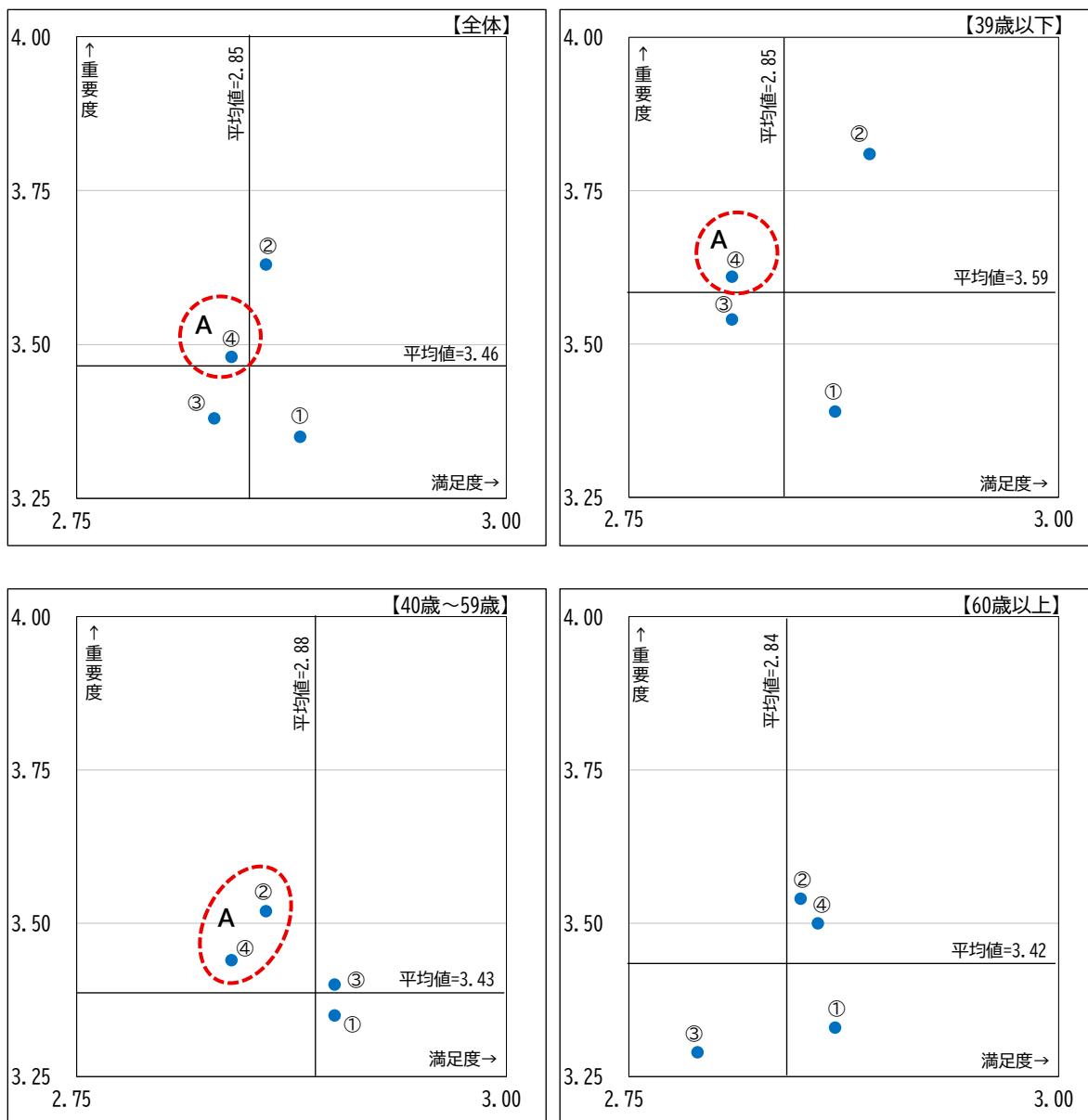
項目	重要度平均値	満足度平均値	判定
①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり	3.35	2.88	I
②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備	3.63	2.86	I
③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成	3.38	2.83	I
④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成	3.48	2.84	I



図表 2-46 重要度と満足度の分布図（水と緑）

【年齢別】

水と緑について「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を年齢別に見ると、「60歳以上」を除いて「④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成」となっているほか、「40～59歳」は「②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備」が該当しています。



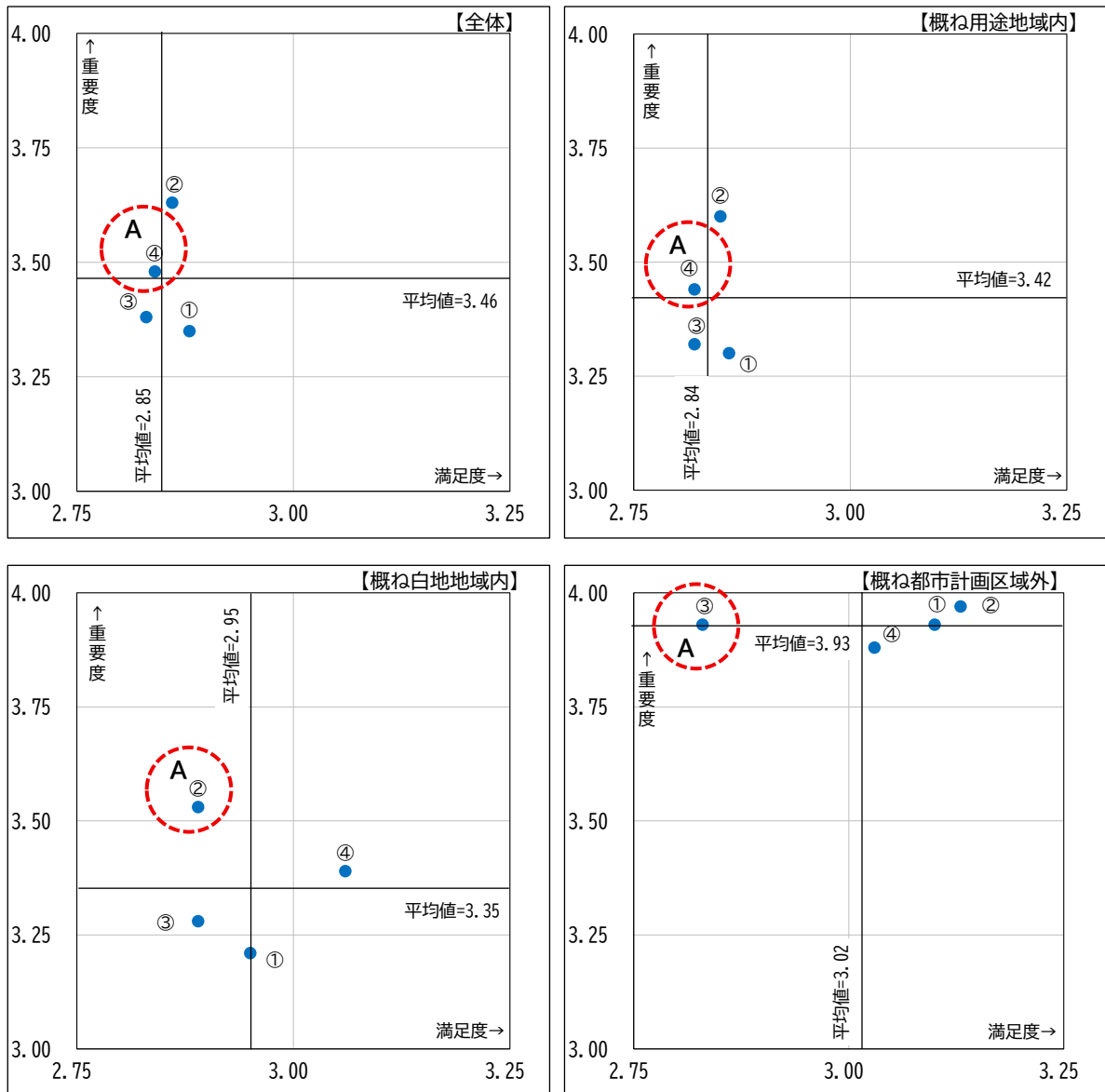
【①～④の選択肢の原文】

- ①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり
- ②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備
- ③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成
- ④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成

図表 2-47 重要度と満足度による分布状況（水と緑）（年齢層別）

【居住地域別】

「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を居住地域別に見ると、全体及び「概ね用途地域内」が「④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成」、「概ね白地地域内」は「②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備」、「概ね都市計画区域外」は「③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成」となっています。



【①～④の選択肢の原文】

- ①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり
- ②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備
- ③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成
- ④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成

【居住地域の分類】

概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町

概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭夕見、⑮築別

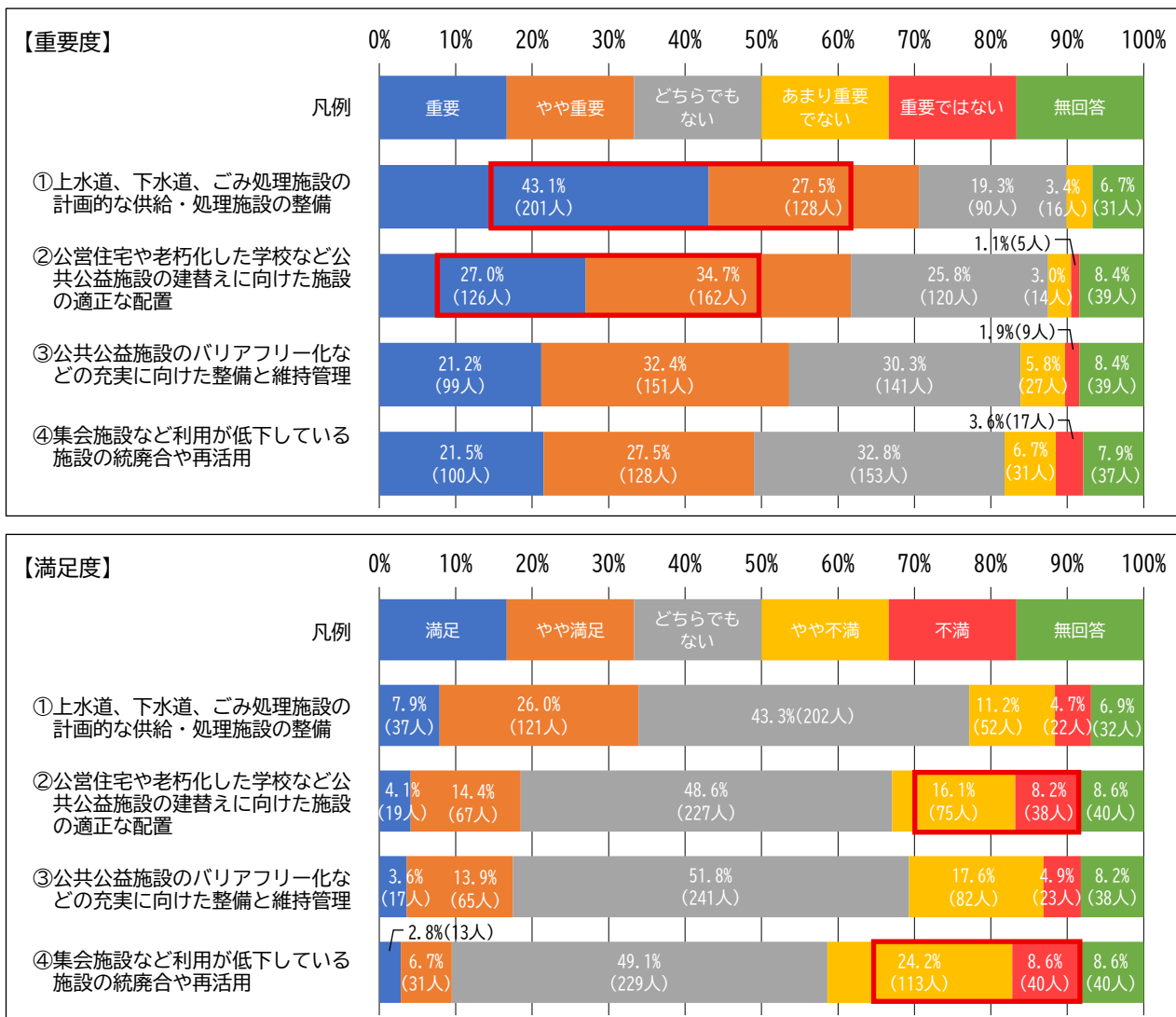
概ね都市計画区域外：⑯中央、⑰平、⑱上羽幌、⑲高台、⑳上築、㉑曙、㉒天売、㉓焼尻

図表 2-48 重要度と満足度による分布状況（水と緑）（居住地域別）

(4)その他の都市施設について(問 12)

重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備」が70.6%と最も多く、続いて「②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置」が61.7%、「③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理」が53.6%の順となっています。

満足度で「不満」と「やや不満」の合計は、「④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用」が32.8%と最も多く、続いて「②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置」が24.3%、「③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理」が22.5%の順となっています。



図表 2-49 重要と満足度 (その他の都市施設)

『その他』の回答

- ・ゴミの分別に不満がある

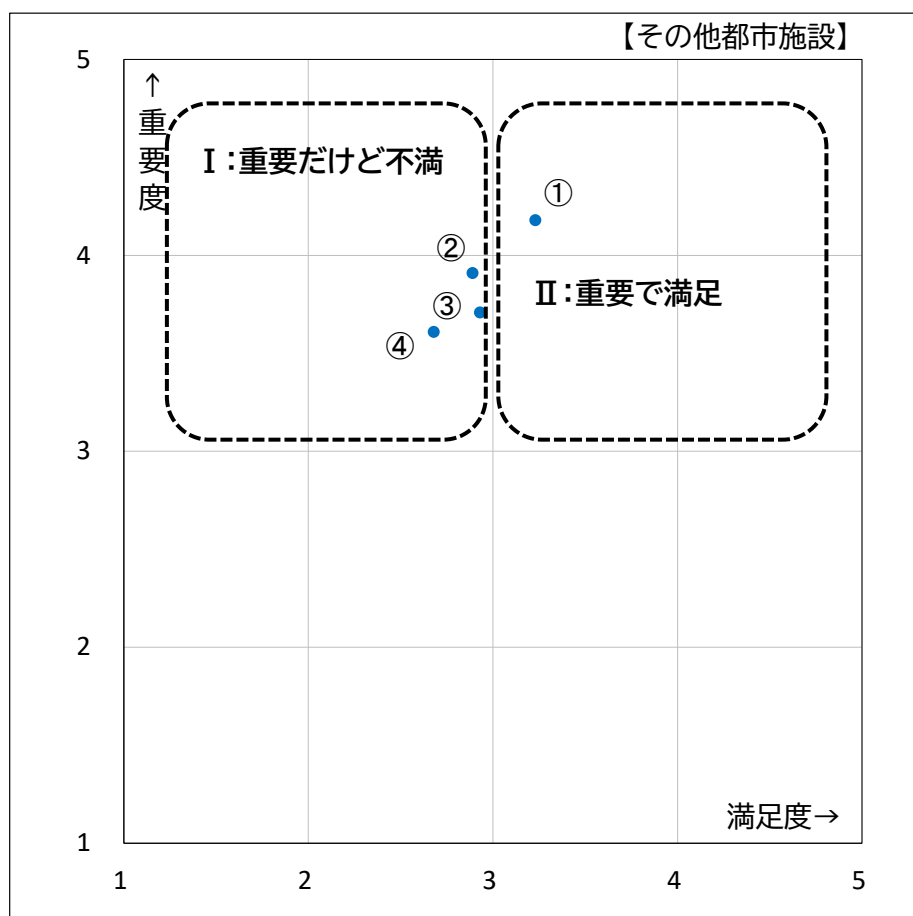
【分布図による分析】

その他の都市施設に関する4つの施策については、重要度と満足度の平均値から「①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備」は「Ⅱ：重要で満足」で、他の3つの施策は「Ⅰ：重要だけど不満」となります。

「Ⅰ：重要だけど不満」となる施策は「施策の推進」、「Ⅱ：重要で満足」は「現状の維持」がそれぞれ必要となります。

図表 2-50 重要度と満足度による判定（その他の都市施設）

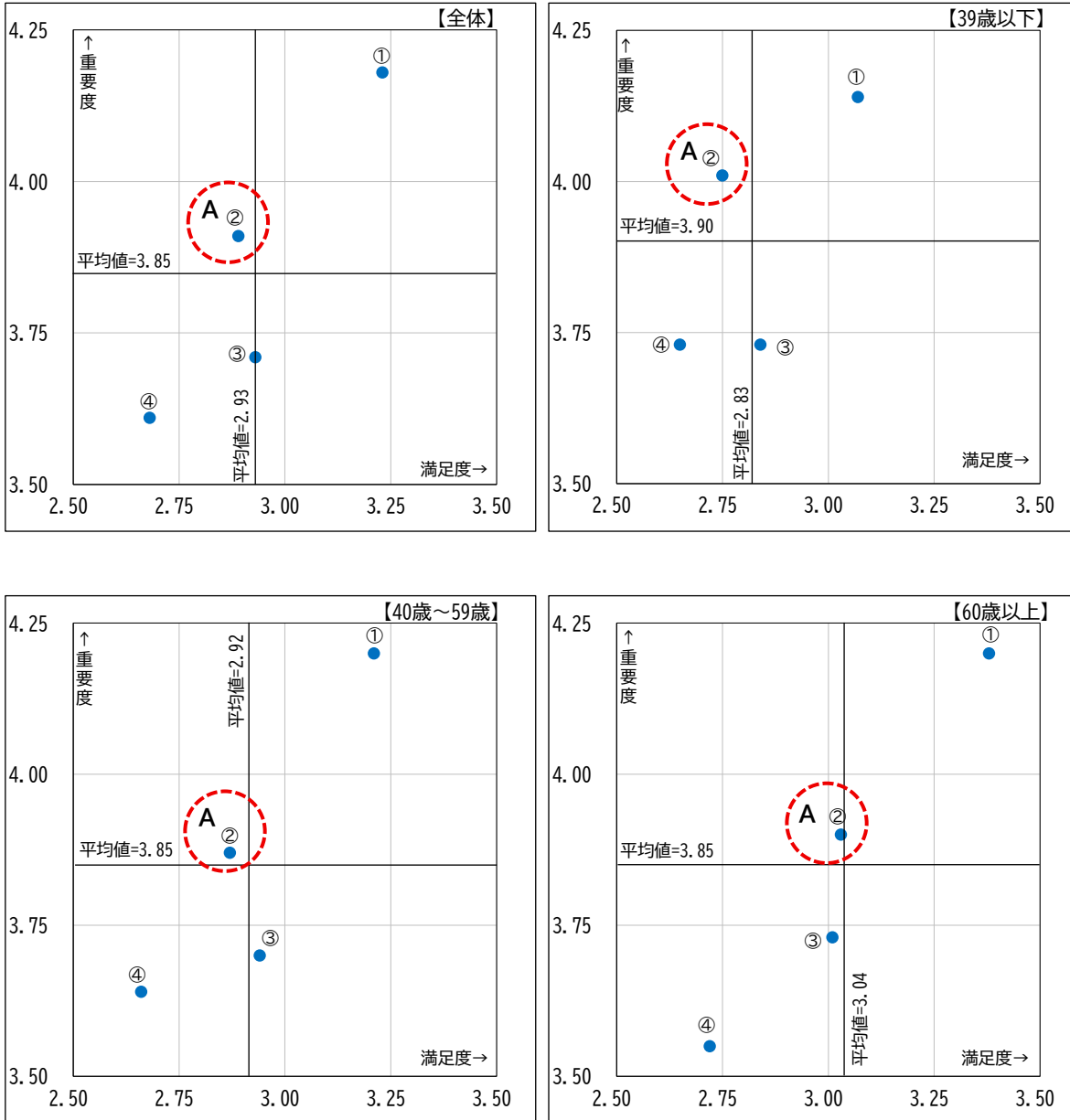
項目	重要度 平均値	満足度 平均値	判定
①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備	4.18	3.23	Ⅱ
②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置	3.91	2.89	Ⅰ
③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理	3.71	2.93	Ⅰ
④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用	3.61	2.68	Ⅰ



図表 2-51 重要度と満足度の分布図（その他の都市施設）

【年齢別】

その他都市施設について「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を年齢別に見ると、全体及びどの年齢層も「②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置」となっています。



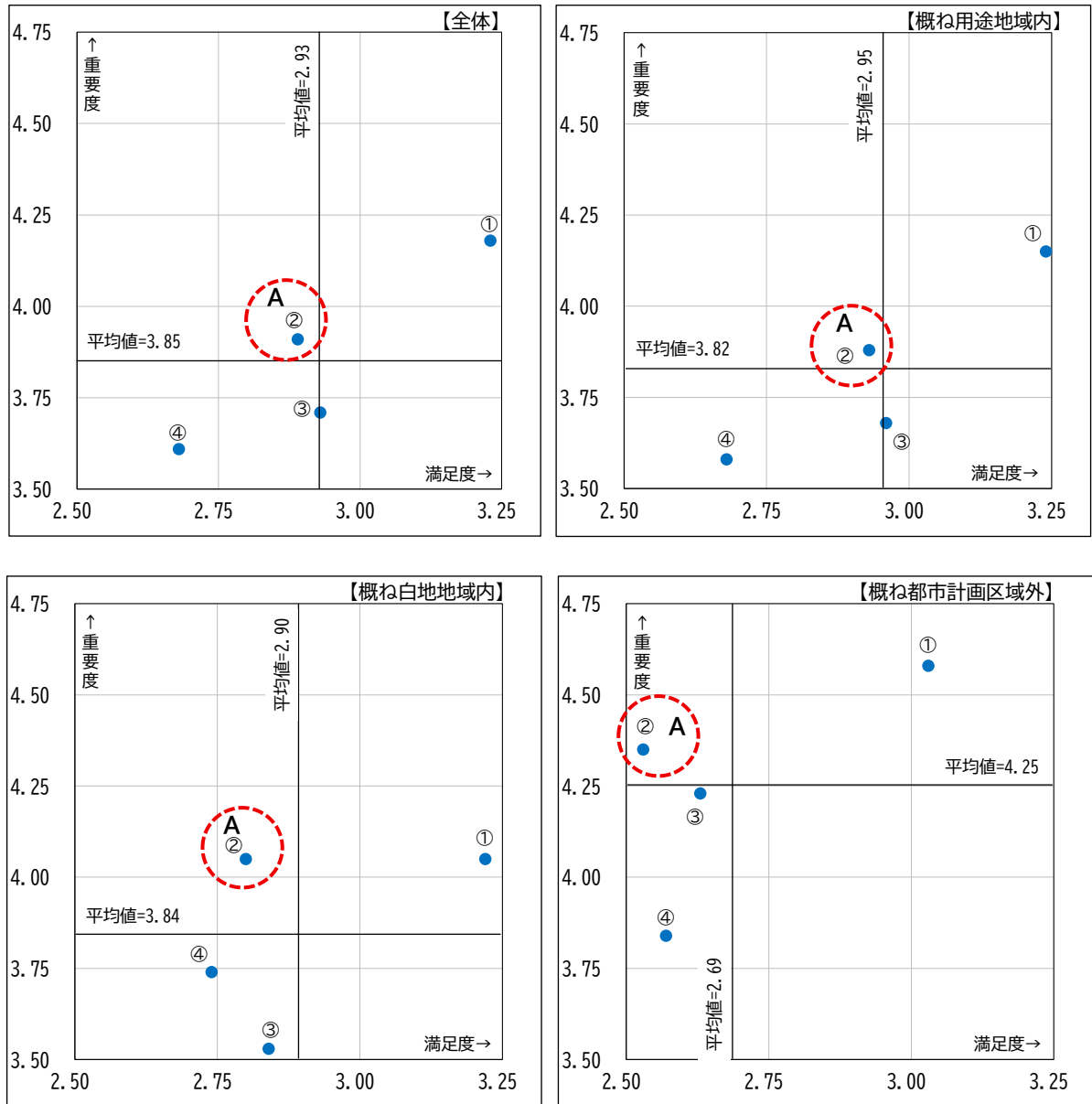
【①～④の選択肢の原文】

- ①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備
- ②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置
- ③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理
- ④集会所など利用が低下している施設の統廃合や再活用

図表 2-52 重要度と満足度による分布状況（その他の都市施設）（年齢層別）

【居住地域別】

「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を居住地域別に見ると、全体及びどの地域も「②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置」となっています。



【①～④の選択肢の原文】

- ①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備
- ②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置
- ③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理
- ④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用

【居住地域の分類】

- 概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町
- 概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭汐見、⑮築別
- 概ね都市計画区域外：⑯中央、⑰平、⑱上羽幌、⑲高台、⑳上築、㉑曙、㉒天売、㉓焼尻

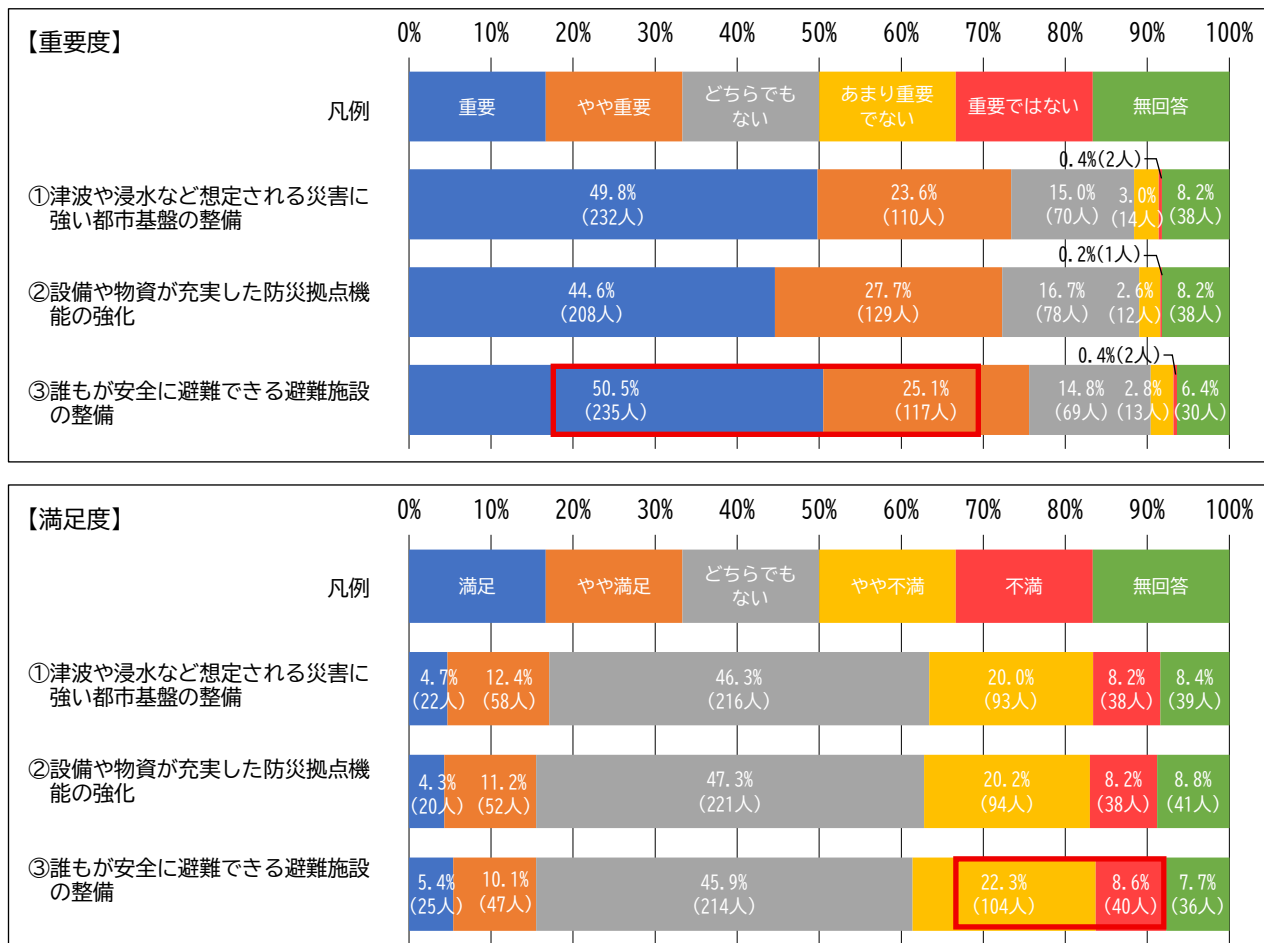
図表 2-53 重要度と満足度による分布状況 (その他の都市施設) (居住地域別)

(5)都市防災について(問 13)

①重要度と満足度

重要度で「重要」と「やや重要」の合計は、「③誰もが安全に避難できる避難施設の整備」が75.6%と最も多いものの、「①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備」、「②設備や物資が充実した防災拠点機能」とも70%台となっています。

満足度で「不満」と「やや不満」の合計は、「③誰もが安全に避難できる避難施設の整備」が30.9%、「①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備」、「②設備や物資が充実した防災拠点機能」が30%弱とほぼ同様となっています。



図表 2-54 重要度と満足度（都市防災）

『その他』の回答

- ・他地域が被災することによりも、物流が停止することへの準備が必要。
- ・自然災害だけではなく、もし戦争が始まった時のシェルターのような施設が必要。

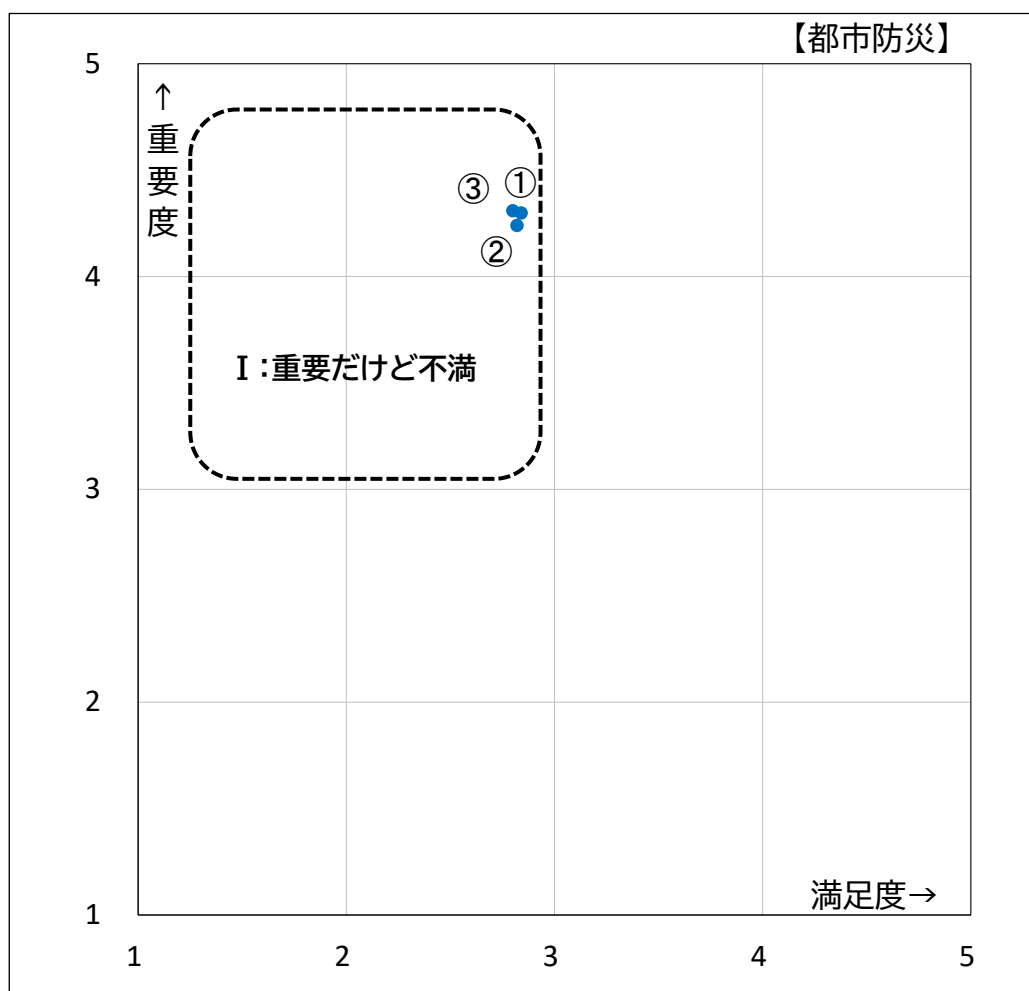
【分布図による分析】

都市防災に関する3つの施策については、重要度と満足度の平均値から全て「I：重要だけど不満」となります。

「I：重要だけど不満」となる施策は「施策の推進」が必要となります。

図表 2-5 5 重要度と満足度による判定（都市防災）

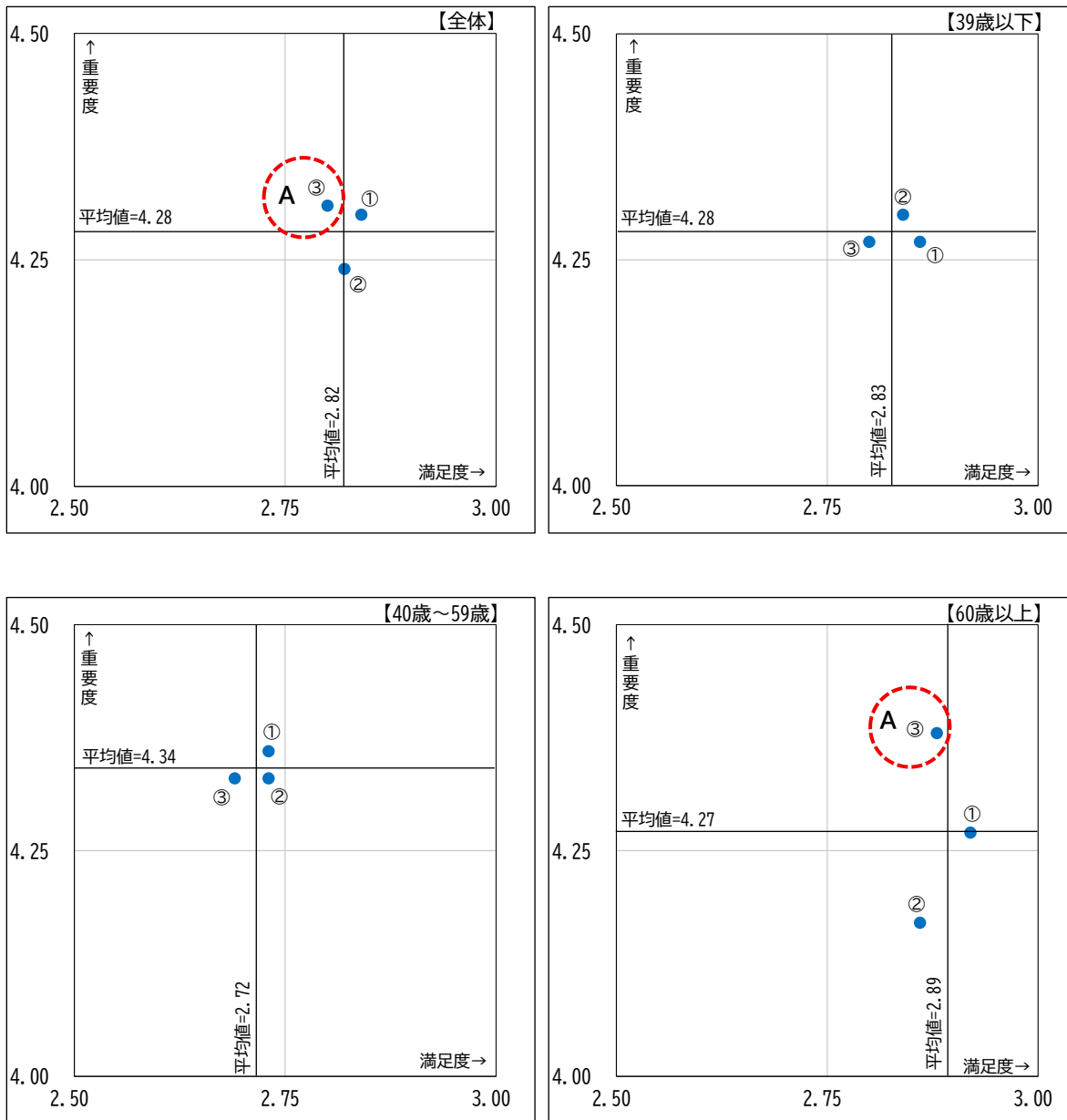
項目	重要度平均値	満足度平均値	判定
①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備	4.30	2.84	I
②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化	4.24	2.82	I
③誰もが安全に避難できる避難施設の整備	4.31	2.80	I



図表 2-5 6 重要度と満足度の分布図（都市防災）

【年齢別】

都市防災について「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を年齢別に見ると、全体及び「60歳以上」で「③誰もが安全に避難できる避難施設の整備」となっています。



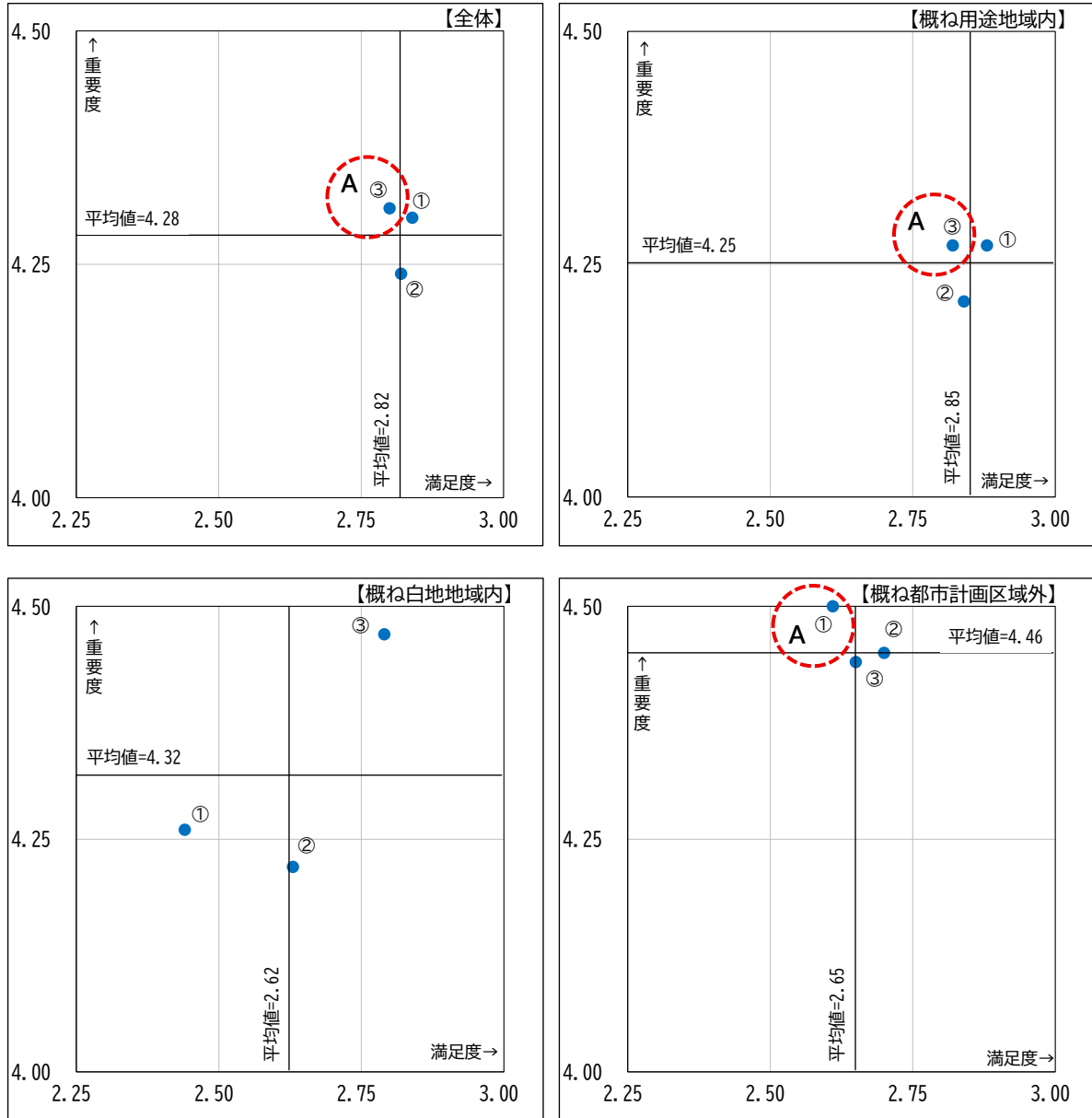
【①～③の選択肢の原文】

- ①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備
- ②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化
- ③誰もが安全に避難できる避難施設の整備

図表 2-57 重要度と満足度による分布状況（都市防災）（年齢層別）

【居住地域別】

「I：重要だけど不満」のうち「A：特に施策の推進が必要なもの」を居住地域別に見ると、全体及び「概ね用途地域内」が「③誰もが安全に避難できる避難施設の整備」となっているほか、「概ね都市計画区域外」は「①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備」となっています。



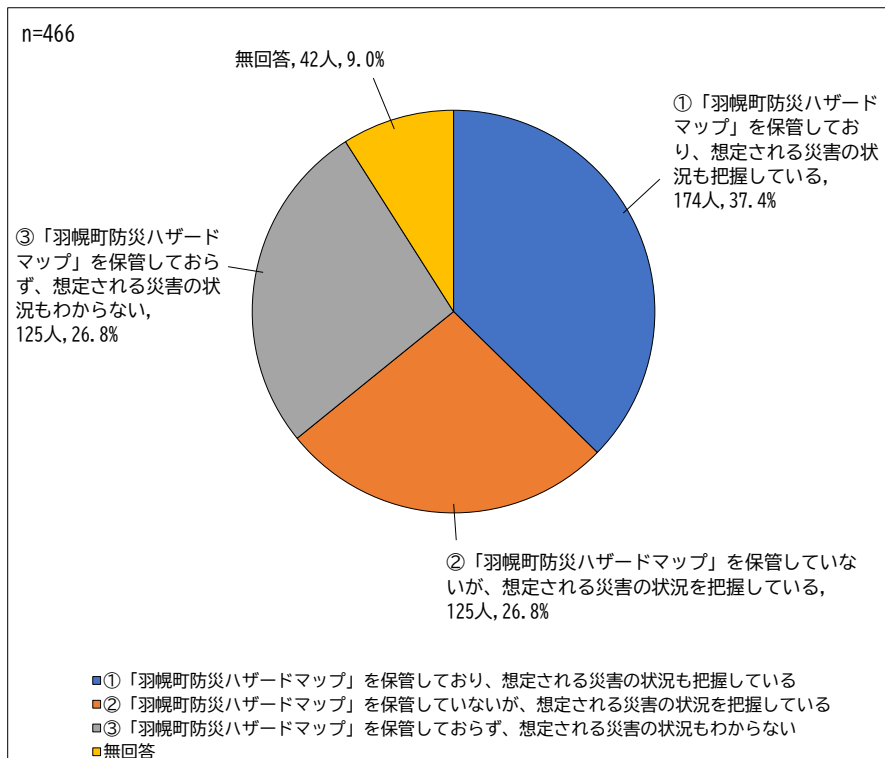
【①～③の選択肢の原文】
 ①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備
 ②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化
 ③誰もが安全に避難できる避難施設の整備

【居住地域の分類】
 概ね用途地域内：①南大通〇丁目、②南〇条〇丁目、③港町〇丁目、④北大通〇丁目、⑤北〇条〇丁目、⑥浜町〇丁目、⑦北町、⑧幸町、⑨南町、⑩栄町、⑪緑町
 概ね白地地域内：⑫寿町、⑬朝日、⑭夕見、⑮築別
 概ね都市計画区域外：⑯中央、⑰平、⑱上羽幌、⑲高台、⑳上築、㉑曙、㉒天売、㉓焼尻

図表 2-58 重要度と満足度による分布状況（都市防災）（居住地域別）

②「羽幌町防災ハザードマップ」にて想定される、自宅の災害状況を把握しているか、該当する事項を1つ選択

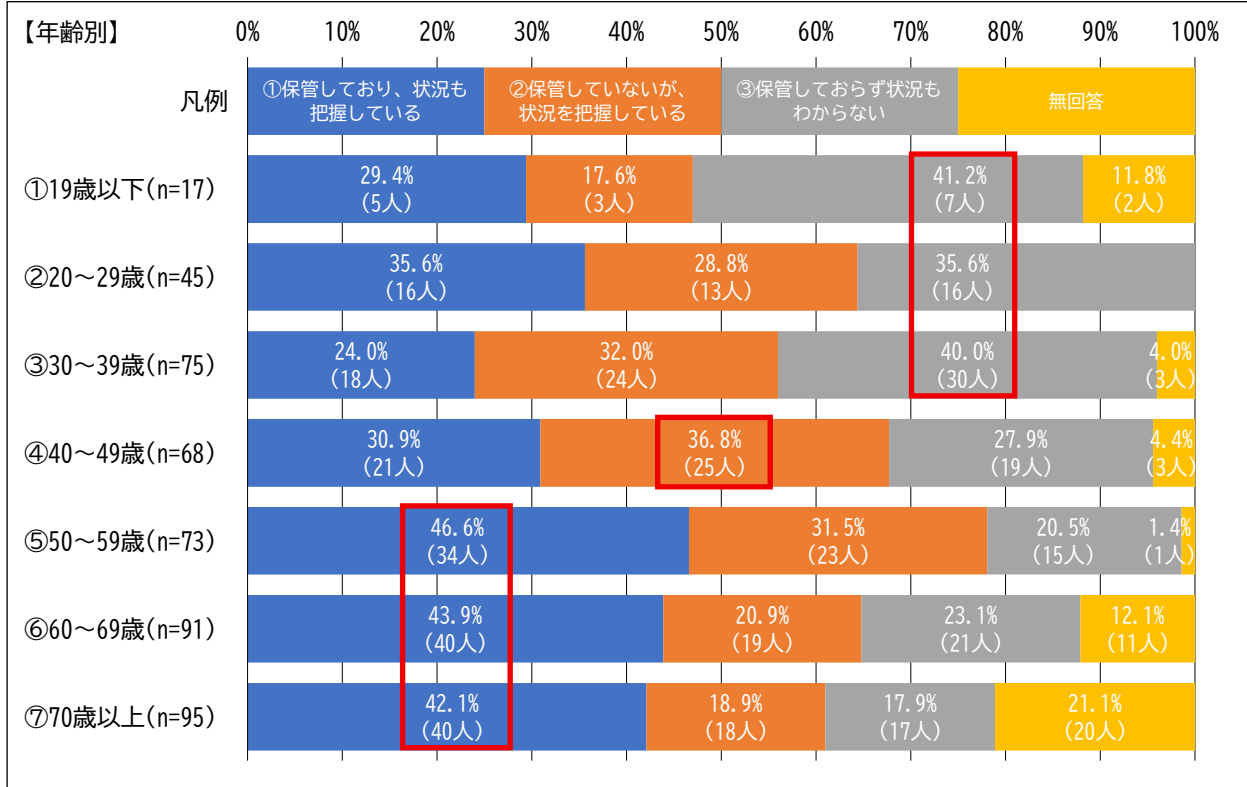
「①「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しており、想定される災害の状況も把握している」が37.4%で最も多く、続いて「②「羽幌町防災ハザードマップ」を保管していないが、想定される災害の状況を把握している」と「③「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しておらず、想定される災害の状況もわからない」が同列で26.8%となっています。



図表 2-5 9 ハザードマップにおける災害の認識状況

【年齢別】

回答者を年齢別に見ると、「①保管しており、状況も把握している」は「⑤50～59歳」以上、「②保管していないが、状況は把握している」は「④40～49歳」、「③保管しておらず、状況も分からない」が「③30～39歳」以下で最も多くなっています。



【①～③の選択肢の原文】

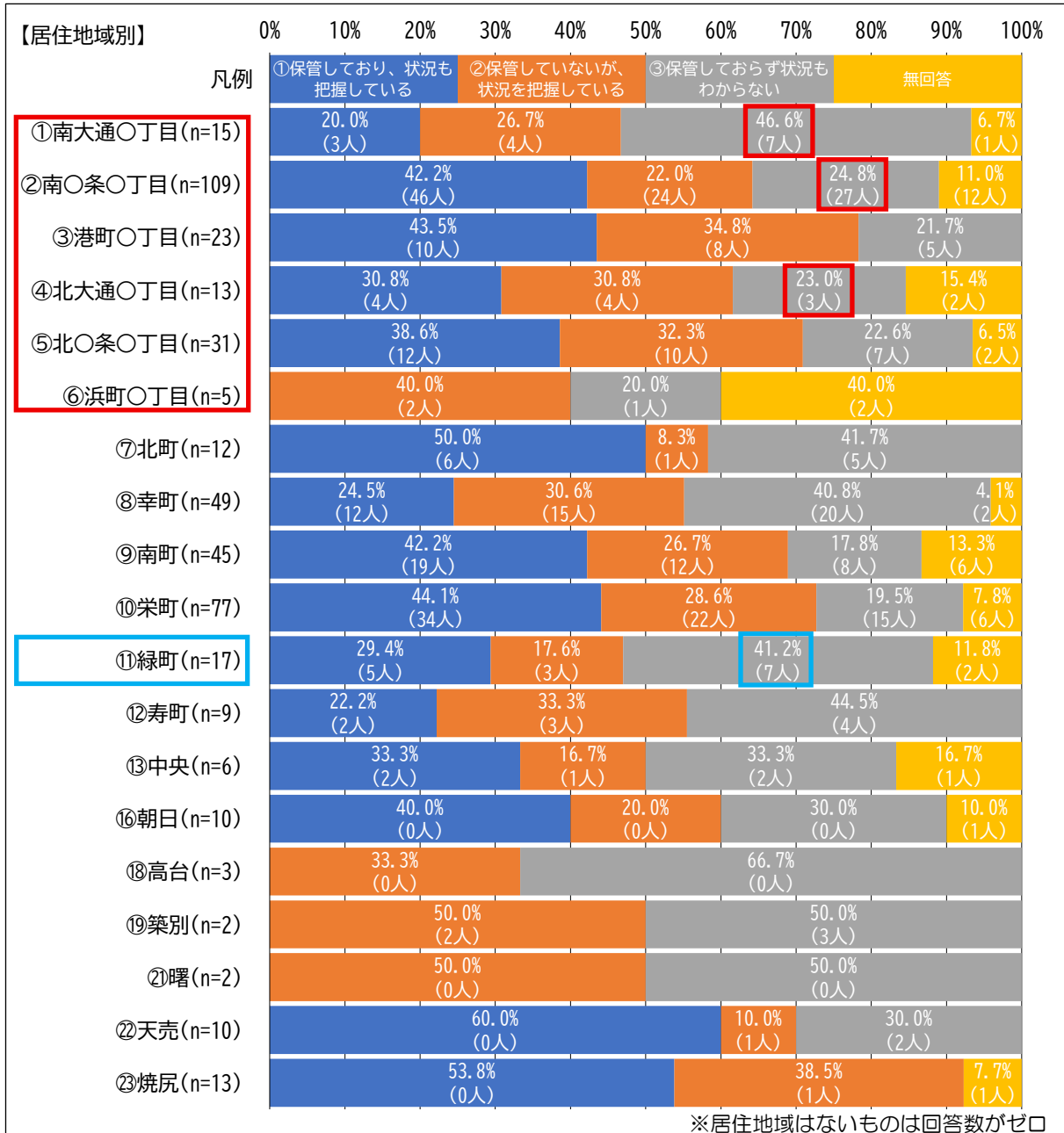
- ① 「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しており、想定される災害の状況も把握している
- ② 「羽幌町防災ハザードマップ」を保管していないが、想定される災害の状況を把握している
- ③ 「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しておらず、想定される災害の状況もわからない

図表 2-60 ハザードマップにおける災害の認識状況（年齢別）

【居住地域別】

「洪水災害」・「津波災害」が想定されている居住地域に着目すると、「③保管しておらず状況も分からない」は「①南大通〇丁目」が46.6%、「②南〇条〇丁目」が24.8%、「④北大通〇丁目」が23.0%となっています。

「土砂災害」が想定される「⑪緑町」は、「③保管しておらず状況も分からない」が41.2%となっています。



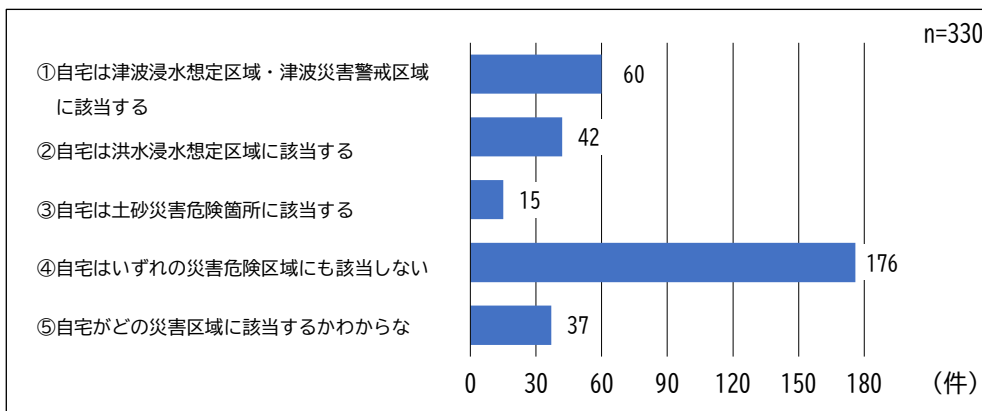
【①～③の選択肢の原文】

- ①「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しており、想定される災害の状況も把握している
- ②「羽幌町防災ハザードマップ」を保管していないが、想定される災害の状況を把握している
- ③「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しておらず、想定される災害の状況もわからない

図表 2-6 1 ハザードマップにおける災害の認識状況（居住地域別）

③自宅はどの災害危険区域に該当しているか、該当する事項を1つ選択

「④自宅はいずれの災害危険区域にも該当しない」が176件で最も多く、続いて「①自宅は津波浸水想定区域・津波災害警戒区域に該当する」が60件、「②自宅は洪水浸水想定区域に該当する」が42件、「⑤自宅がどの災害危険区域に該当するかわからない」が37件、「③自宅は土砂災害危険箇所に該当する（土石流危険渓流、地すべり危険箇所）」が15件となっています。

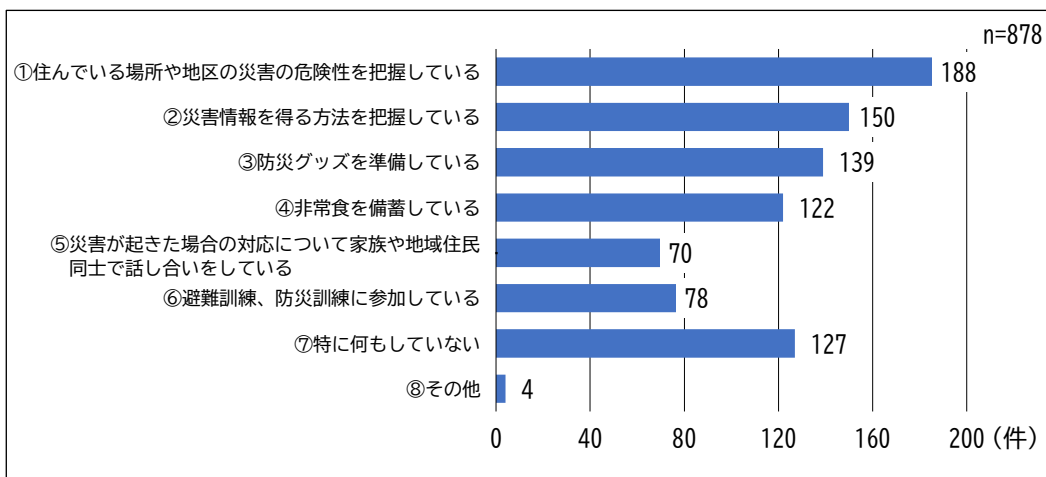


図表 2-6 2 該当する災害危険区域の内容

④災害への備えとして普段どのようなことをしているか、該当する事項を全て選択

「①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している」が188件で最も多く、続いて「②災害情報を得る方法を把握している」が150件、「③防災グッズを準備している」が139件、「④非常食を備蓄している」が122件、「⑥避難訓練、防災訓練に参加している」が78件、「⑤災害が起きた場合の対応について家族や近隣住民同士で話し合いをしている」が70件となっています。

また、「⑦特に何もしていない」は127件の回答となっています。



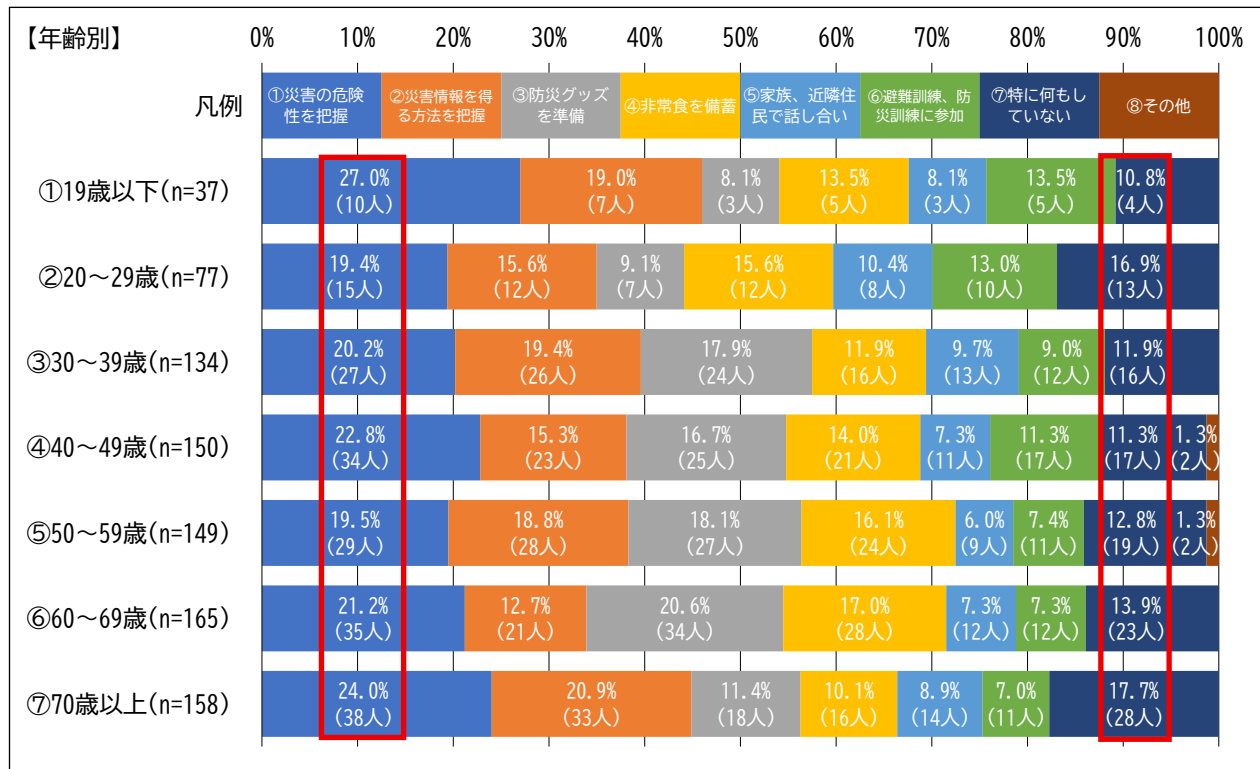
図表 2-6 3 災害への備え

『その他』の回答

- ・子ども達ともしもの事態に応じたシミュレーションを行っている。
- ・非常食や防災グッズではないが、それなりに準備している。
- ・水の保管。
- ・防災連絡アプリの活用。

【年齢別】

回答者を年齢別に見ると、危険性の把握のみにとどまる「①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している」は全ての年齢階層においても最も高くなっているほか、「⑦特に何もしていない」も全ての年齢階層において10%台となっています。



【①～⑧の選択肢の原文】

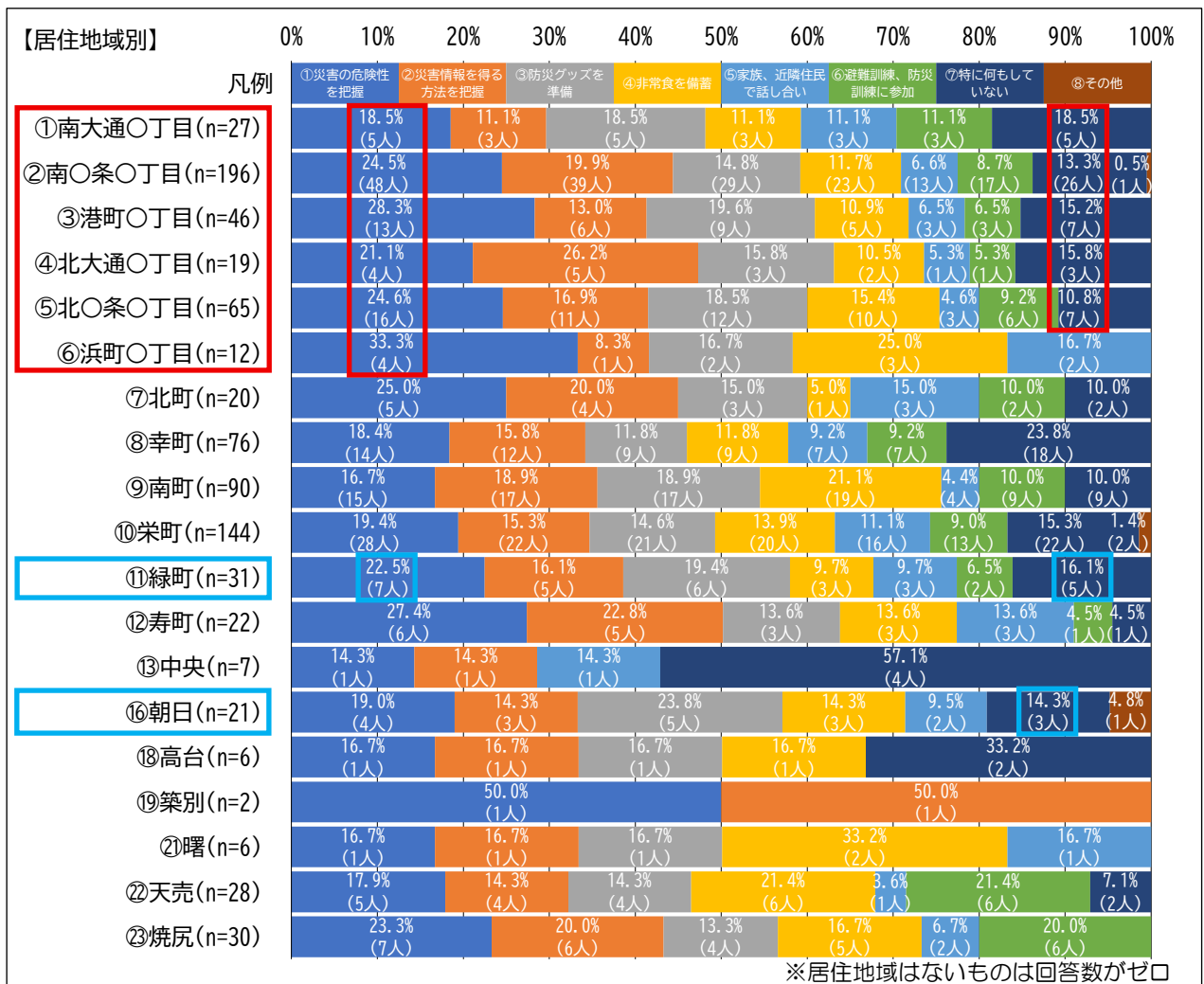
- ①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している
- ②災害情報を得る方法を把握している
- ③防災グッズを準備している
- ④非常食を備蓄している
- ⑤災害が起きた場合の対応について家族や近隣住民同士で話し合いをしている
- ⑥避難訓練、防災訓練に参加している
- ⑦特に何もしていない
- ⑧その他

図表 2-64 災害への備え（年齢別）

【居住地域別】

「洪水災害」・「津波災害」が想定されている居住地域に着目すると、危険性の把握のみにとどまる「①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している」は「⑥浜町〇丁目」が33.3%、「③港町〇丁目」が28.3%と高いほか、「①大通〇丁目」、「②南〇条〇丁目」、「④北大通〇丁目」及び「⑤北〇条〇丁目」において20%前後となっています。また「⑦特に何もしていない」は「①大通〇丁目」が18.5%のほか、「②南〇条〇丁目」「③港町〇丁目」「④北大通〇丁目」及び「⑤北〇条〇丁目」において10%台となっています。

「土砂災害」が想定されている「⑪緑町」に着目すると、危険性の把握のみにとどまる「①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している」は22.5%、「⑦特に何もしていない」は16.1%となっています。



【①～⑧の選択肢の原文】

- ①住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している
- ②災害情報を得る方法を把握している
- ③防災グッズを準備している
- ④非常食を備蓄している
- ⑤災害が起きた場合の対応について家族や近隣住民同士で話し合いをしている
- ⑥避難訓練、防災訓練に参加している
- ⑦特に何もしていない
- ⑧その他

図表 2-65 災害への備え（居住地域別）

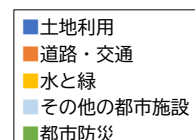
(6)まちづくり全分野について

全分野から見て重要度が高い項目は、「13③誰もが安全に避難できる避難施設の整備」が 4.30 と最も高く、続いて「13①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備」が 4.29、「13②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化」が 4.24、「12①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備」が 4.18 及び「10④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」が 3.92 の順となっています。

一方、重要度が最も低い項目は「10②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間」が 3.00 となっています。



図表 2-66 重要度（まちづくり全分野）



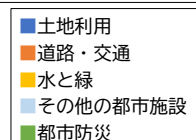
【満足度】

全分野から見て満足度が低い項目は、「9③街なかに点在する空き地の活用」が2.32と最も低く、続いて「9②商店街の活性化と街なかの魅力が向上」が2.41、「9①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用」が2.62、「12④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用」が2.69、「10④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関」が2.75の順となっている。

一方、満足度が高い項目は「12①上水道、下水道、ごみ処理姿勢の計画的な供給・処理施設の整備」が3.22となっています。



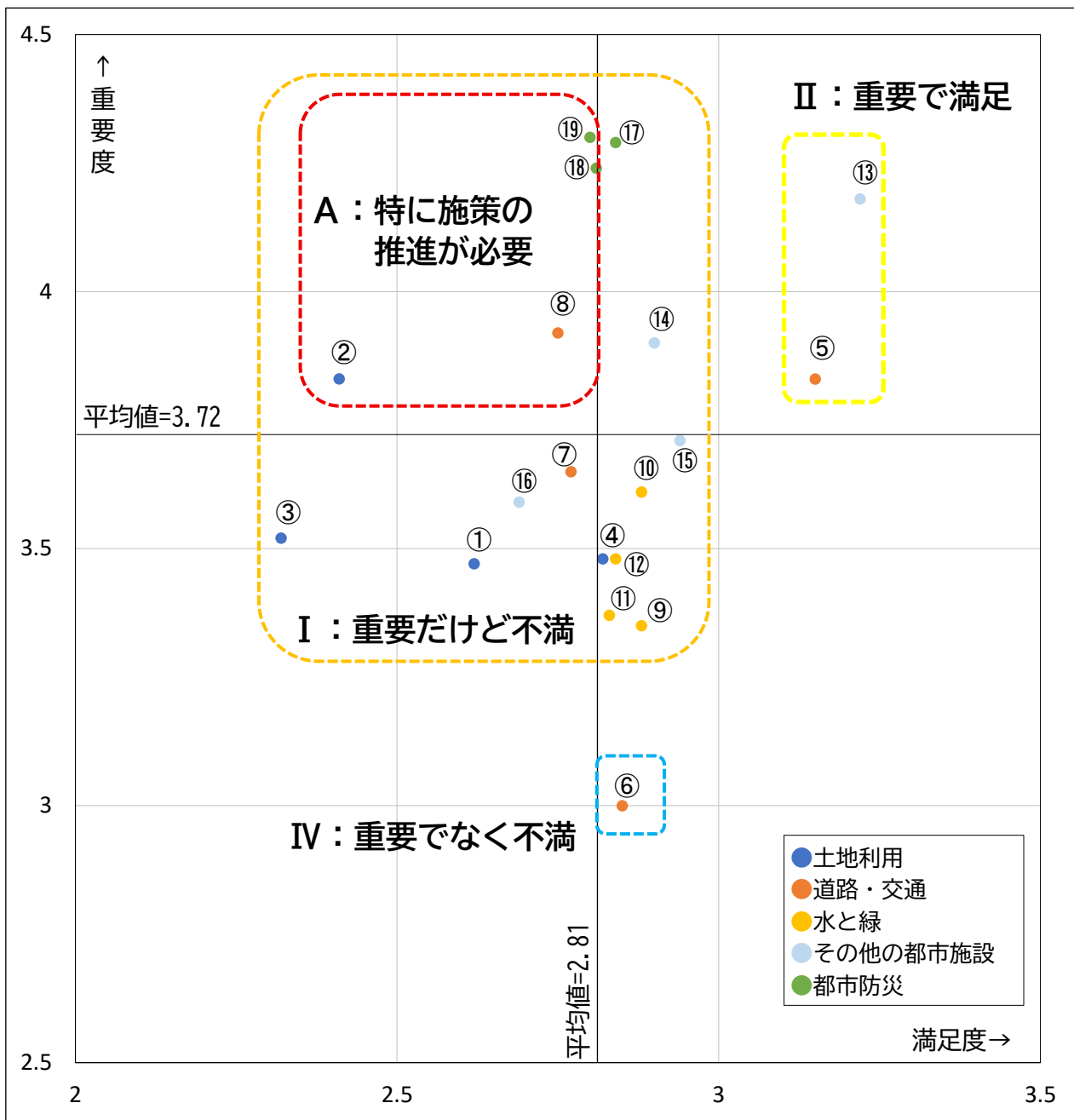
図表 2-67 満足度（まちづくり全分野）



【重要度・満足度】

まちづくり全分野の重要度と満足度の傾向を見ると、特に施策の推進が必要な「A」は「都市防災」が2項目、「土地利用」と「道路・交通」が1項目となっています。

また、重要で満足「II」は「その他の都市施設」が2項目、「道路・交通」と「都市防災」が1項目、重要でなく不満「IV」は1項目となっています。



図表 2-68 重要度と満足度による分布状況 (まちづくり全分野)

【Ⅰ 重要だけど不満】特に施策の推進が必要(A)

土地利用	② (9)②商店街の活性化と街なかの魅力が向上
道路・交通	⑧ (10)④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関
都市防災	⑱ (13)②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化 ⑲ (13)③誰もが安全に避難できる避難施設の整備

【Ⅰ 重要だけど不満】施策の推進が必要

土地利用	① (9)①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用 ③ (9)③街なかに点在する空き地の活用 ④ (9)④良好な自然環境の保全と活用
道路・交通	⑦ (10)③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備
水と緑	⑨ (11)①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり ⑩ (11)②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備 ⑪ (11)③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成 ⑫ (11)④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成
その他の都市施設	⑭ (12)②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置 ⑮ (12)③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理 ⑯ (12)④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用
都市防災	⑰ (13)①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備

【Ⅱ 重要で満足】現状の維持が必要

道路・交通	⑤ (10)①国道、道道及び主要町道などの道路交通網
その他の都市施設	⑬ (12)①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備

【Ⅳ 重要でなく不満】住民ニーズに合う施策の見直しと推進が必要

道路・交通	⑥ (10)②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間
-------	-------------------------------

3. アンケート調査結果(自由記述)

分類	自由意見の要約（件数）
行政	<ul style="list-style-type: none"> • 行政施設（役場庁舎、中央公民館等）の建替えを進めるべき（6件） • 人口減少対策を行うべき（5件） • 住宅建築費や医療費、交通費等に対する補助を検討して欲しい（4件） • 役場職員の専門知識を向上して欲しい（3件） • 新たな公営住宅の設置や入居体制の整備を検討して欲しい（3件） • 行政施設の利便性を良くして欲しい（2件） • 水道の基本料金を見直して欲しい（2件） • 広報誌の配布体制を見直して欲しい（1件） • 税金を減額して欲しい（1件）
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 飲食店や町内で買い物ができる店を増やして欲しい（11件） • 町の資源を活用したまちづくりを進めるべき（6件） • 誰もが快適に暮らせる環境を整備すべき（6件） • 町の魅力を向上させるべき（4件） • 単身者向けの住居をもっと増やすべき（2件） • 図書館を新設して欲しい（1件） • 景観を向上させるため、国道や旧駅前通を無電柱化してはどうか（1件） • 小学校と中学校を統合し、跡地にスポーツ公園を整備してはどうか（1件） • 役場主導で施設を整備する際には駐車場を多めに確保して欲しい（1件） • 栄町地区への大型施設誘導のために規制緩和すべき（1件）
移住	<ul style="list-style-type: none"> • 移住しやすい環境や支援を整備すべき（4件） • 天売島、焼尻島の住民を本土に移住させることを視野にいれてはどうか（1件）
医療	<ul style="list-style-type: none"> • 医療施設や体制を充実させるべき（11件） • 町内で出産ができるような設備を整備して欲しい（1件）
福祉	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者福祉施設を充実して欲しい（4件） • 高齢者や障がい者が安心して働ける環境を整備すべき（3件） • 高齢者や高齢者と同居する世帯への支援を検討して欲しい（2件）
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが安全・安心して遊べる場所を整備して欲しい（8件） • 子育て世帯への支援など、子育て環境を充実すべき（5件） • 小学校、中学校を統合して学校を集約してはどうか（2件） • 子ども用品店を誘致して欲しい（1件）
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 公共交通機関等の交通手段を充実すべき（3件） • 鉄道を復活して欲しい（1件） • 冬季のフェリーの欠航率が高く感じるため、改善して欲しい（1件） • 高齢者や子ども向けのデマンドバスやあいのりタクシーを導入すべき（1件）
観光	<ul style="list-style-type: none"> • 道の駅の魅力を向上させるため、温泉を含めた設備等を改善すべき（16件） • イベントをもっと増やして欲しい（9件） • 天売島、焼尻島に観光客を呼び込むためにPRすべき（2件） • 魚釣りが楽しめる場所を整備して欲しい（2件） • 外国人観光客向けの体験型観光施設を整備してはどうか（1件）

分類	自由意見の要約（件数）
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪を充実して欲しい（4件） ・安全・安心に利用できるよう、道路の維持管理や補修を行って欲しい（4件） ・街灯の増設やLED化を検討して欲しい（3件） ・壊れた道路標識が放置されているので対応して欲しい（1件） ・情報通信基盤の整備が不十分に感じる（1件）
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの危険空き家を撤去・解体すべき（4件） ・空き家・空き地を有効活用すべき（4件） ・空き家を外国人実習生向けの住居に活用してはどうか（1件）
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・安定して働ける環境を整備すべき（9件） ・若年者が離職して転出することへの対策を検討すべき（3件） ・漁業、農業への支援を行うべき（3件） ・工業団地などに企業の誘致を行うべき（2件） ・第一次産業の後継者への支援を行ってはどうか（1件） ・物流改善のため、羽幌漁港を大型船に対応させてはどうか（1件） ・地域振興券の配布よりも、直接的に商店街の振興を行うべき（1件） ・高校生がアルバイトしやすい環境を作ってほしい（1件） ・中年や高齢者がサービスの受け手でなく担い手として意識を持つべき（1件） ・羽幌町に空港を整備したら地域が活性化するのは（1件）
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・川南への転居促進や川北に高台の避難所設置など、津波対策をすべき（1件） ・川北の住宅地を海拔の高い地域に移転すべき（1件）
緑	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季に水遊びができる公園を整備して欲しい（2件） ・公園の設備を充実して欲しい（2件） ・オロちゃんランドの遊具の充実（2件） ・街路樹の雑草処理など管理を充実して欲しい（2件） ・ドッグランを整備して欲しい（1件） ・大通や六条通の景観が良くないため改善して欲しい（1件） ・町内会による花壇の維持管理が高齢になり大変である（1件）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士で意見を言い合える場を設けて欲しい（2件） ・バラ園周辺をキャンプ場として活用してはどうか（1件） ・バラ園の設備（トイレ、案内板、ゴミ箱）を改善して欲しい（1件） ・海鳥センターを道の駅として利用してはどうか（1件） ・スポーツ公園と総合体育館は近い方が便利だと思われる（1件）

4. 参考(アンケート調査票)

◆羽幌町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定のための まちづくりアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在羽幌町では、「羽幌町都市計画マスタープラン」と「羽幌町立地適正化計画」の策定作業を進めています。

「羽幌町都市計画マスタープラン」は、快適で暮らしやすいまちづくりを推進するため、おおむね20年後の「都市」*の将来像を明らかにし、土地利用や道路、公園等の整備の方向性を示すものであり、羽幌町の都市計画の基本となる計画です。

また、人口減少に伴う市街地の空洞化等への対策として、居住や医療、福祉、商業などの都市機能の立地誘導などコンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、新たに「羽幌町立地適正化計画」を策定します。

これら計画の策定にあたって、多くの町民の皆様のご意見をいただき計画に反映させるため、アンケート調査を実施することとなりました。

皆様におかれましてはご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月 羽幌町長 森 淳

※本アンケートで用いる「都市」とは、医療・福祉・商業施設等がまとまっている羽幌町の中心部と、その周辺の住宅地や港湾地区等をイメージしています。

●ご注意

アンケートの回答は、調査票にて回答いただき、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、右のQRコードから回答いただきますようお願い申し上げます。



なお、アンケートの回収期限は7月31日(木曜日)までとなっています。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌町にお住まいの町民の中から無作為抽出により、2,000名の方々を対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1
羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：山田、小澤
TEL:0164-68-7013(直通) FAX:0164-62-1219
Mail:c-seisaku@town.haboro.lg.jp

2. 現在のあなた自身の暮らしについてお伺いします。

問2. 今後も羽幌町に住み続けたいと思いますか。該当するものを1つお答えください。(1つ〇)

住み続けたい	➡ 問3へお進みください
どちらかといえば住み続けたい	
どちらかといえば住みたくない	➡ 問4へお進みください
住みたくない、他の市町村に移りたい	
わからない、どちらともいえない	➡ 問5へお進みください

問3. 問2で「住み続けたい、どちらかといえば住み続けたい」と答えた方にお伺いします。
住み続けたいと思う理由について、該当するものを全てお答えください。

<input type="checkbox"/> 自然が豊かだから	<input type="checkbox"/> 教育環境がよいから	
<input type="checkbox"/> 通勤や通学が便利だから	<input type="checkbox"/> 医療や福祉が充実しているから	
<input type="checkbox"/> 日常の買い物便利だから	<input type="checkbox"/> 生活する環境が便利だから	
<input type="checkbox"/> 職場があるから	<input type="checkbox"/> 親や親戚がいる住み慣れた土地だから	
<input type="checkbox"/> 友人など人間関係があるから	<input type="checkbox"/> 町の将来に希望がもてるから	<input type="checkbox"/> 特に理由はない
<input type="checkbox"/> その他 ()	

「問5」へお進みください。

問4. 問2で「どちらかといえば住みたくない、住みたくない、他の市町村に移りたい」と答えた方にお伺いします。別の場所に移りたいと思う理由について、該当するもの全てをお答えください。

<input type="checkbox"/> 日常の買い物不便	<input type="checkbox"/> 道路事情や交通の便が悪い
<input type="checkbox"/> 地域の行事や近所づきあいが面倒	<input type="checkbox"/> 子どもの保育・教育のことが心配
<input type="checkbox"/> 町内に適当な職場が少ない	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
<input type="checkbox"/> 消防・防災・防犯体制に不安を感じる	<input type="checkbox"/> スポーツ施設や文化施設が不十分
<input type="checkbox"/> 生活環境施設の整備が遅れている	<input type="checkbox"/> コミュニティ活動など住民の交流がない
<input type="checkbox"/> 情報通信基盤が整っていない	
<input type="checkbox"/> その他（	）

3. 今後のまちづくりについてお伺いします。

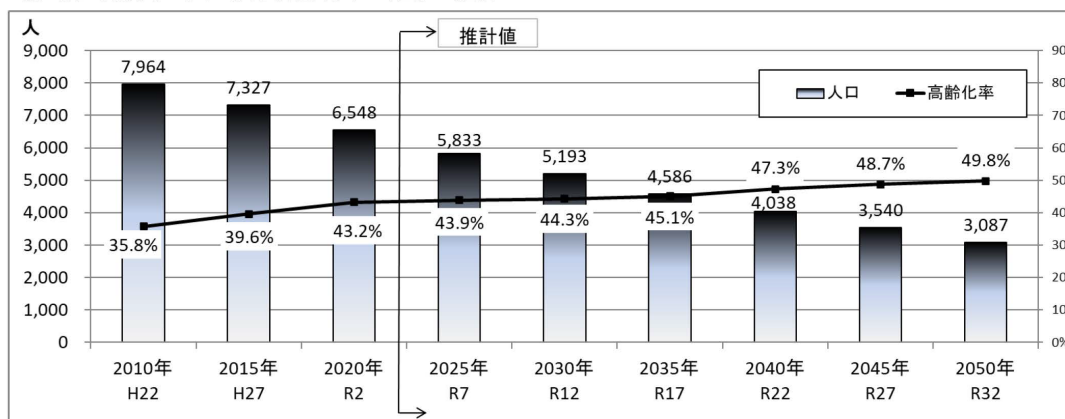
問5. あなたが考える羽幌町の将来像について、該当するものを3つまでお答えください。
(3つまで〇)

<input type="checkbox"/> 住環境が整ったまち	<input type="checkbox"/> 歩いて暮らせるまち
<input type="checkbox"/> 活気に満ちた商店街のあるまち	<input type="checkbox"/> 教育の内容や施設が充実したまち
<input type="checkbox"/> 高齢者が安心して暮らせる福祉のまち	<input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援サービスが充実したまち
<input type="checkbox"/> 自然・歴史・文化を活かした魅力あるまち	<input type="checkbox"/> コンパクトでまとまったまち
<input type="checkbox"/> ゴミの減量化が図られたきれいなまち	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の施設が充実したまち
<input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない自然共生型のまち	<input type="checkbox"/> スポーツや文化活動が充実したまち
<input type="checkbox"/> 災害に強い安全・安心なまち	<input type="checkbox"/> 美しい景観や街並みを大切にするまち
<input type="checkbox"/> 自家用車がなくても暮らせる公共交通が整ったまち	
<input type="checkbox"/> 多様な産業の活性化や雇用の確保を促進するまち	
<input type="checkbox"/> その他（	）
<input type="checkbox"/> わからない	

問6. 将来的な人口減少や少子高齢化を想定した場合、「生活する上で不安と思われること」について、あなたの考えに近いと思われるものを2つお答えください。(2つ〇)

<input type="checkbox"/>	自治会活動などのコミュニティの維持が困難となることへの不安
<input type="checkbox"/>	空き家等が増え、景観や防犯上の問題が生じることへの不安
<input type="checkbox"/>	道路や上下水道、公共施設などの維持・更新による町民負担が増加することへの不安
<input type="checkbox"/>	医療・福祉制度を支える人の減少により、サービスの提供を受けづらくなることへの不安
<input type="checkbox"/>	利用者が減少することにより、日常生活に必要な商業施設が減少することへの不安
<input type="checkbox"/>	利用者が減少することにより、施設が統廃合して使用が制限されることへの不安
<input type="checkbox"/>	バスやフェリー等の運行便数の縮小や廃止により、移動手段が制限されることへの不安
<input type="checkbox"/>	その他 ()

【参考】羽幌町の人口及び高齢化率の推移・推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所

問7. あなたのお住まいの地域で、「これからも住み続けるために必要となる施設」の必要性について、あなたの考えに最も近いと思われるものを事項ごとに1つお答えください。



事 項	各施設の必要性				
	自宅周辺 に必要 (徒歩圏内)	地域内に あればよい	町内の中 心部にあ ればよい	町内にあ ればよい	なくても よい
○回答例		○			
(1) 高齢者、障がい者などの福祉施設					
(2) 幼稚園、小中学校などの教育施設					
(3) 保育所、児童館などの子育て支援施設					
(4) 文化会館やコミュニティセンターなどの 集会施設					
(5) 公園・広場や緑豊かな緑地施設					
(6) 病院、歯科などの医療施設					
(7) 銀行、郵便局などの金融施設					
(8) コンビニ、日用品などの物販施設					
(9) スーパーなどの商業施設					
(10) 飲食店や美容院などのサービス施設					
(11) 身近に乗車できるバス停留所施設					
(12) 公営住宅やアパートなど居住施設					
(13) 災害時の避難施設					
(14) その他 ()					

問8. 仮に、町内の別の場所に移り住むとしたら、どのような場所に移りますか。あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。

	役場を中心とした公共施設及び医療・福祉施設等の利便性が良いエリア
	バスなどの交通の利便性が良い道路沿線エリア
	多少不便さはあるが、閑静とした郊外エリア
	現在の場所以外には考えられない

問9. 土地利用について

- ① 羽幌町の都市計画では、市街地において大きく住居系、商業系及び工業系の土地利用を定め、各土地利用に沿った建物を誘導しています。
土地利用の以下の事項について、重要度と満足度をお答えください。

事 項	重要度（一つに○）					満足度（一つに○）				
	重要 でない				重要	不満				満足
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①良好な住環境や地域交流を創出する適正な土地利用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②商店街の活性化と街なかの魅力が向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③街なかに点在する空き地の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④良好な自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤その他（ ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ② 将来的な人口減少や少子高齢化を想定した「コンパクトなまちづくり」の必要性について、あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。

<input type="checkbox"/>	中心市街地に住宅や店舗が集まるように誘導する必要がある
<input type="checkbox"/>	空き家の有効活用や公営住宅などの移転・集約を推進する必要がある
<input type="checkbox"/>	公共施設の維持管理の合理化や集約・統合を図る必要がある
<input type="checkbox"/>	居住地の移転集約により公共交通の再編を行い、利便性の向上を図る必要がある
<input type="checkbox"/>	公共施設等の維持負担の増加が想定されるが、現在の市街地規模を維持すべきで、コンパクト化には反対である (具体的な反対理由：)
<input type="checkbox"/>	※上記以外にありましたら記入してください。 その他（)

問10. 道路・交通について

- ① 羽幌町の都市計画では、市街地等の主要な道路（幹線道路）を都市計画道路として指定しており、歩道や車道について一定の幅員を定めた上で道路整備を行っています。
道路・交通の以下の事項について、重要度と満足度をお答えください。

事 項	重要度（一つに○）					満足度（一つに○）				
	重要 でない				重要	不満				満足
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①国道、道道及び主要町道などの道路交通網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②ウォーキングルートにより楽しく歩ける歩行空間	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③交通安全やバリアフリー化による安全・安心のための道路整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④町内や町外への暮らしを支える公共交通機関	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤その他（ ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



- ② あなた自身が感じる「現在の移動手段の重要性」と「将来の移動手段の重要性」をお答えください。

事 項	現在の移動手段の重要性（一つに○）					将来の移動手段の重要性（一つに○）				
	重要 でない				重要	重要 でない				重要
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①自家用車による移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②バスによる移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③タクシーによる移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④自転車による移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤徒歩による移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥フェリーによる移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問11. 水と緑について

羽幌町の都市計画では、市街地及び周辺の公園・緑地について都市計画公園として指定し、町内外の利用がある大きな公園・緑地から比較的規模が小さい身近な公園・緑地まで、目的に合わせ整備を進めてきました。



公園・緑地の以下の事項について、重要度と満足度をお答えください。

事 項	重要度（一つに○）					満足度（一つに○）				
	重要 でない				重要	不満				満足
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①街路樹や河川敷など花や木による居心地の良い場所づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②羽幌公園（スポーツ公園）やひばり公園（レストパーク）など特色のある公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③河川や海岸線など緑のネットワークによる水と緑の環境保全と育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④緑を活用した羽幌らしい美しい街並み景観の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤その他（ ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問12. その他の都市施設について



町民の生活を支える上下水道、ゴミ処理施設などの供給・処理施設の計画的な整備や、公営住宅など人々の住まいや行政施設、学校施設など公共公益施設の適正配置を進める必要があります。

その他都市施設の以下の事項について、重要度と満足度をお答えください。



事 項	重要度（一つに○）					満足度（一つに○）				
	重要 でない				重要	不満				満足
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①上水道、下水道、ごみ処理施設の計画的な供給・処理施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②公営住宅や老朽化した学校など公共公益施設の建替えに向けた施設の適正な配置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③公共公益施設のバリアフリー化などの充実に向けた整備と維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④集会施設など利用が低下している施設の統廃合や再活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤その他（ ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問13. 都市防災について

①東日本大震災、胆振東部地震などの大災害や、毎年各地で起こる集中豪雨などの災害は、私たちの生活を一瞬にして破壊することとなります。
都市防災の以下の事項について、重要度と満足度をお答えください。

事 項	重要度（一つに○）					満足度（一つに○）				
	重要 でない				重要	不満				満足
○回答例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
①津波や浸水など想定される災害に強い都市基盤の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②設備や物資が充実した防災拠点機能の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③誰もが安全に避難できる避難施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④その他（ ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

②あなたは、「羽幌町防災ハザードマップ」にて想定される、自宅の災害の状況を把握していますか。該当するものを1つお答えください。

<input type="checkbox"/>	「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しており、 想定される災害の状況も把握している		下記の③と次ページの④を お答えください
<input type="checkbox"/>	「羽幌町防災ハザードマップ」を保管していないが、 想定される災害の状況を把握している		
<input type="checkbox"/>	「羽幌町防災ハザードマップ」を保管しておらず、 想定される災害の状況もわからない		次ページの④を お答えください

③現在、あなたのご自宅はどの災害危険区域に該当していますか。該当するものを全てお答えください。

- 自宅は津波浸水想定区域・津波災害警戒区域に該当する
- 自宅は洪水浸水想定区域に該当する
- 自宅は土砂災害危険箇所該当する（土石流危険渓流、地すべり危険箇所）
- 自宅はいずれの災害危険区域にも該当しない
- 自宅がどの災害危険区域に該当するかわからない

「④」へお進みください。

